

福知山市
地域福祉に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和5年3月

福 知 山 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果.....	4
1	回答者属性	4
2	お住まいの地域について	24
3	地域福祉を支える組織や制度について	52
4	地域での手助け・助け合い・ボランティア活動について	57
5	「こころの健康づくり」・「いのち支える」まちづくりについて	72
6	災害について	77
7	福知山市の地域福祉の取組について	88
III	参考資料.....	105
1	アンケート調査用紙	105
2	福知山市地域社計画策定委員会設置要綱	120
3	福知山市地域福祉計画策定委員会委員名簿	121

I 調査の概要

1 調査の目的

第3次地域福祉計画の策定に先立ち、市民の方に地域福祉について、日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関する意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

福知山市在住の18歳以上の人の中から、年代別に合計2,000人を無作為抽出

※ 配布数について

本調査を実施するにあたり、高精度の調査を実施するための必要なサンプリング数を導き出しました。高精度の調査を実施するためには、一般的に標本誤差率は1～10%、信頼水準は90～99%の範囲で設定されます。

本調査では、標本誤差率5%以内、信頼水準95%以上とし、サンプリング数を算出すると、概ね600標本の回収が必要となります。有効回収率を本市で実施している調査の傾向からみると、概ね30%となっていることから、600標本を回収するために必要な配布数を2,000としました。

3 調査期間

2022（令和4）年8月25日から9月16日まで

4 調査方法

郵送による配布・回収／ウェブによる回答

5 回収状況

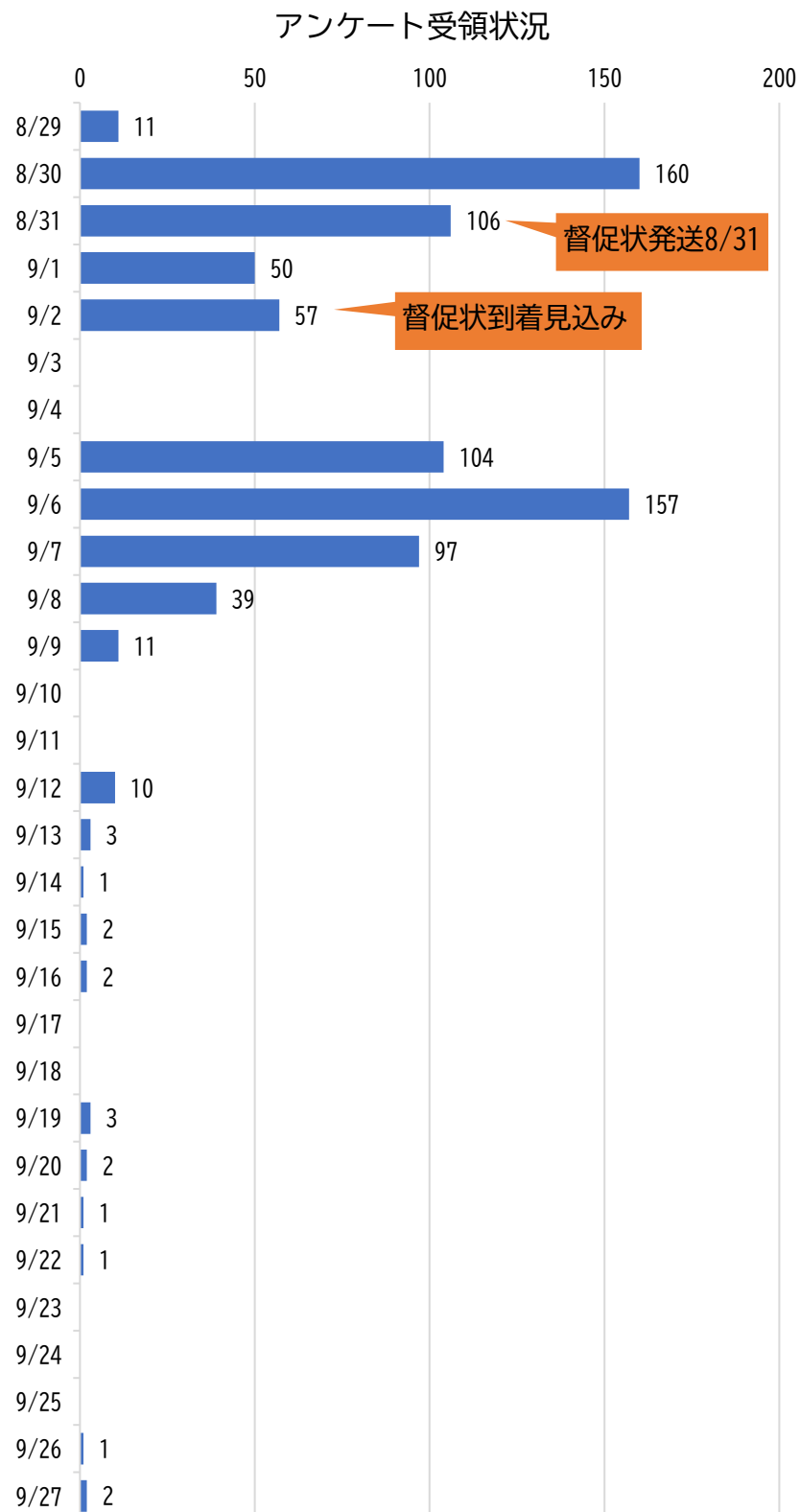
配 布 数	有効回答数	有効回答率
2,000 通	971 通 (うちウェブ回答 164 通)	48.6%

【年代別】

	旧市内	三和	夜久野	大江	配布数	有効回答数	有効回答率
①18・19 歳	70	3	3	4	80 通	16 通	20.0%
②20～29 歳	200	9	9	12	230 通	45 通	19.6%
③30～39 歳	227	10	10	13	260 通	88 通	33.8%
④40～49 歳	277	13	29	1	320 通	133 通	41.6%
⑤50～59 歳	243	11	11	15	280 通	136 通	48.6%
⑥60～69 歳	251	12	12	251	290 通	190 通	65.5%
⑦70 歳以上	469	22	21	28	540 通	363 通	67.2%
総合計	1,737	80	95	88	2,000 通	971 通	48.6%

【アンケートの受領状況と督促件お礼状葉書の効果】

郵便受領日		数量 (通)
2022年8月29日	月	11
8月30日	火	160
8月31日	水	106
9月1日	木	50
9月2日	金	57
9月3日	土	
9月4日	日	
9月5日	月	104
9月6日	火	157
9月7日	水	97
9月8日	木	39
9月9日	金	11
9月10日	土	
9月11日	日	
9月12日	月	10
9月13日	火	3
9月14日	水	1
9月15日	木	2
9月16日	金	2
9月17日	土	
9月18日	日	
9月19日	月	3
9月20日	火	2
9月21日	水	1
9月22日	木	1
9月23日	金	
9月24日	土	
9月25日	日	
9月26日	月	1
9月27日	火	2



6 調査結果の表示方法

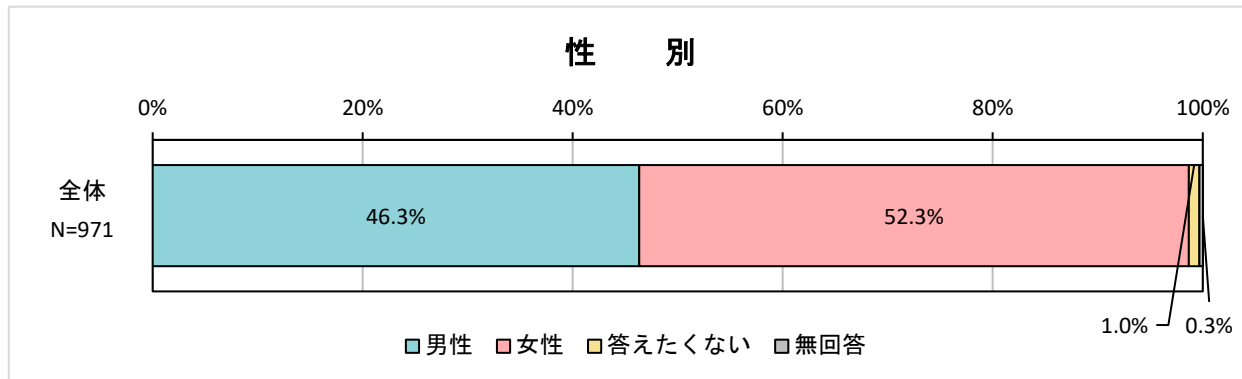
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています（無回答を除く）。
また、まとまった傾向がみられるものを  で網かけをしています。
- ・「前回調査との比較」で用いた「前回調査」は、2016（平成28）年度実施の市民意識調査のことをいいます。
- ・設問や選択肢の文言は、簡略化している場合があります。

Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

F 1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

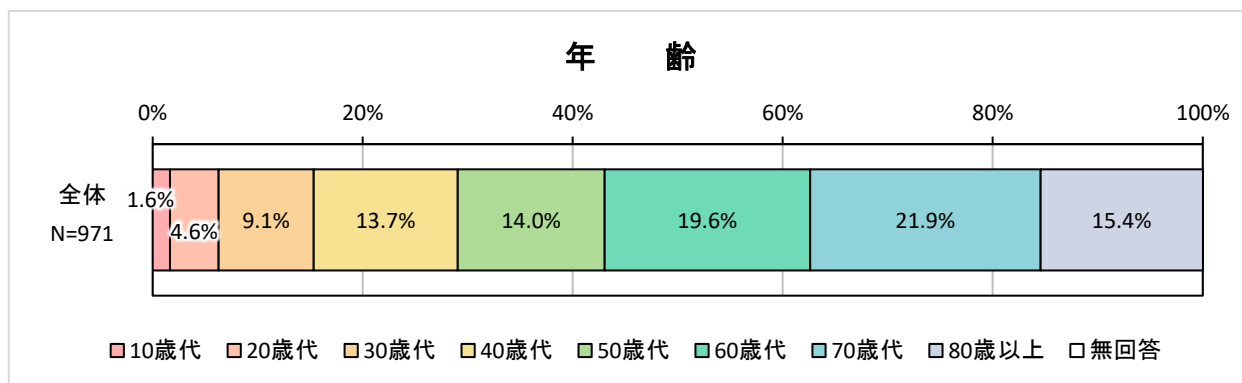
「男性」の割合が46.3%、「女性」の割合が52.3%、「答えたくない」が1.0%となっています。



F 2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

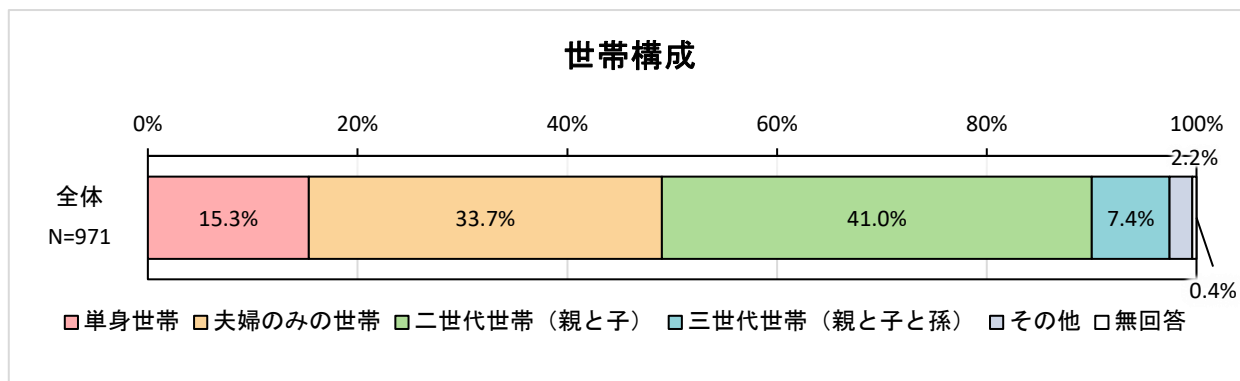
「70歳代」の割合が21.9%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が19.6%、「80歳以上」の割合が15.4%となっています。

60歳以上の割合が56.9%となっています。



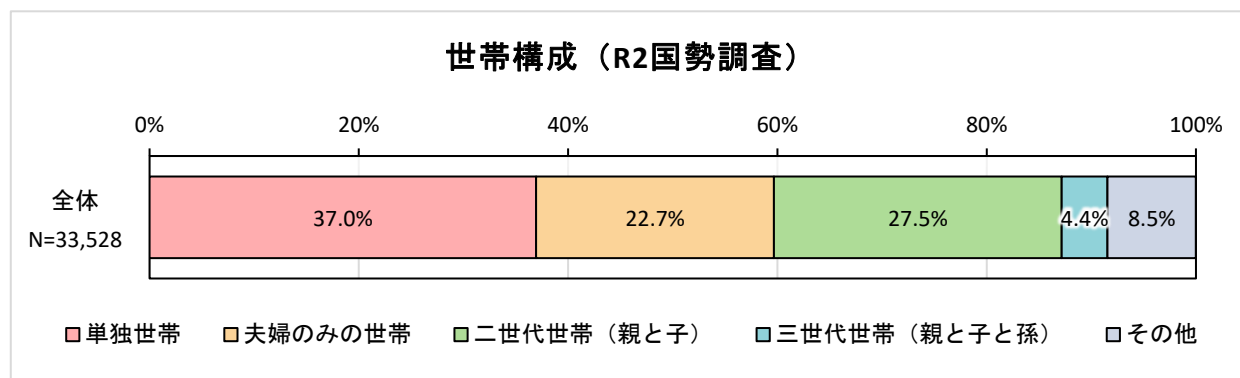
F 3 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。(○は1つ)

「二世帯世帯（親と子）」の割合が41.0%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が33.7%、「単身世帯」の割合が15.3%となっています。



【国勢調査（令和2年）】

令和2年国勢調査の結果をみると、「単独世帯」の割合が37.0%と最も高く、次いで「二世帯世帯（親と子）（※1）」の割合が27.5%、「夫婦のみの世帯（※2）」の割合が22.7%となっています。

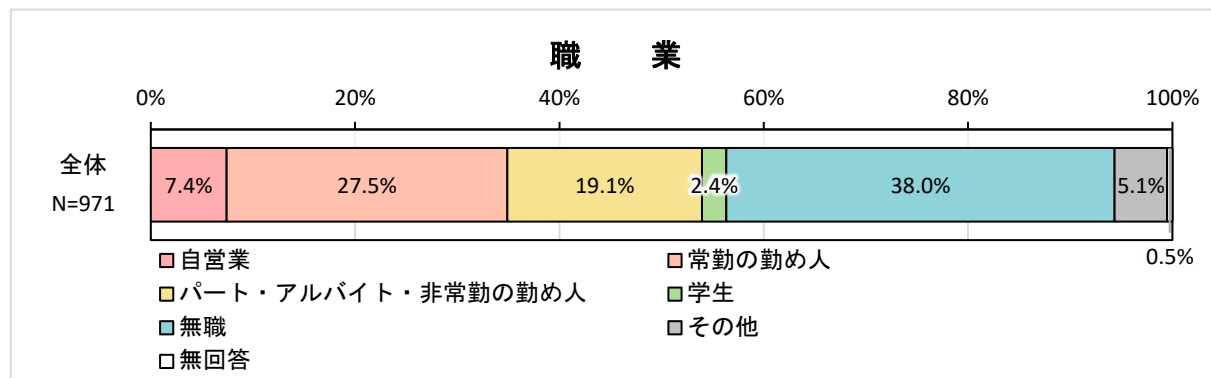


※1 二世帯世帯（親と子）：核家族世帯のうち夫婦と子供から成る世帯＋ひとり親と子ども世帯数

※2 夫婦のみの世帯：核家族世帯のうち夫婦のみの世帯

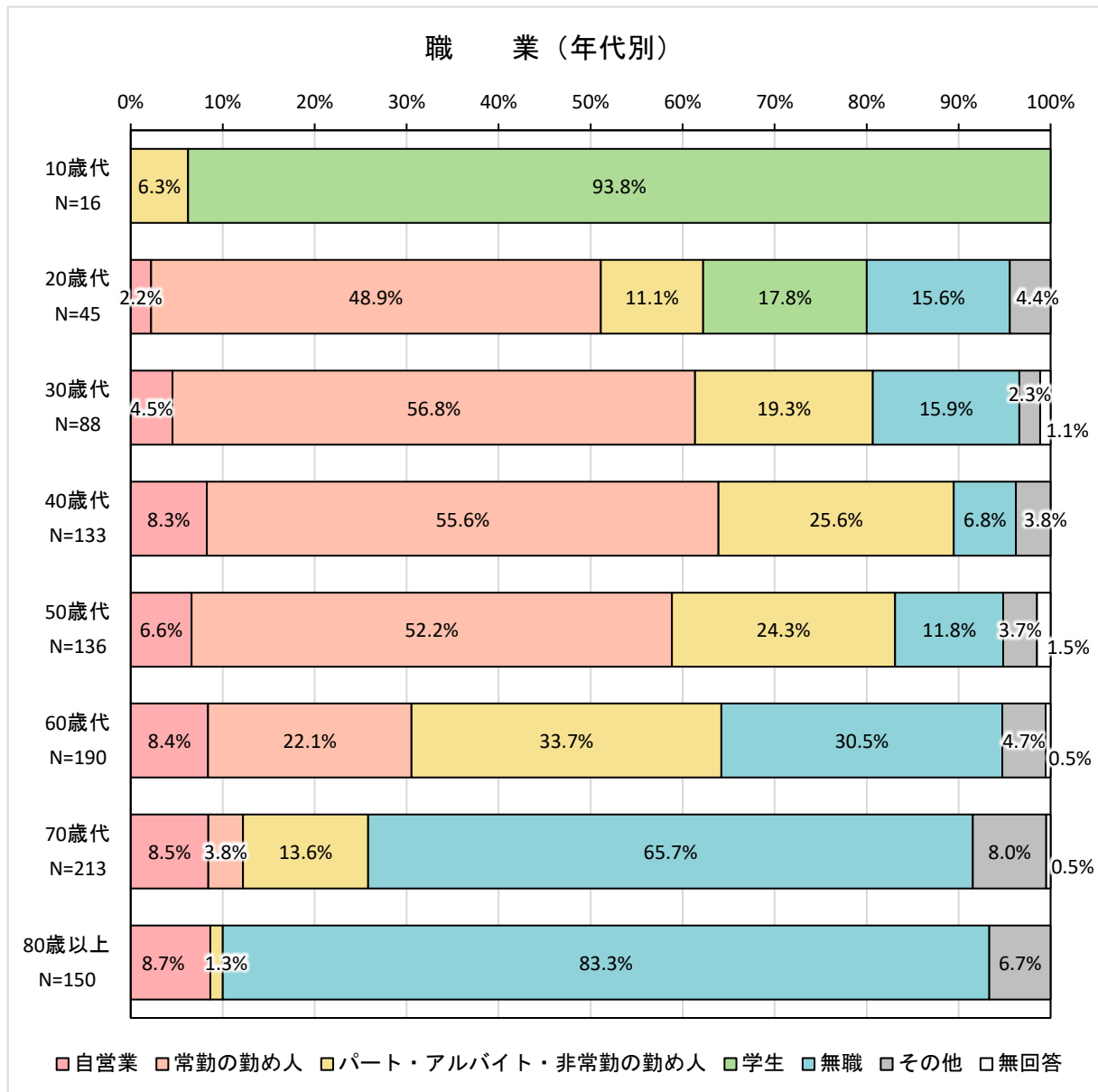
F 4 あなたの職業は次のうちどれですか。(○は1つ)

「無職」の割合が38.0%と最も高く、次いで「常勤の勤め人」の割合が27.5%、「パート・アルバイト・臨時の勤め人」の割合が19.1%となっています。



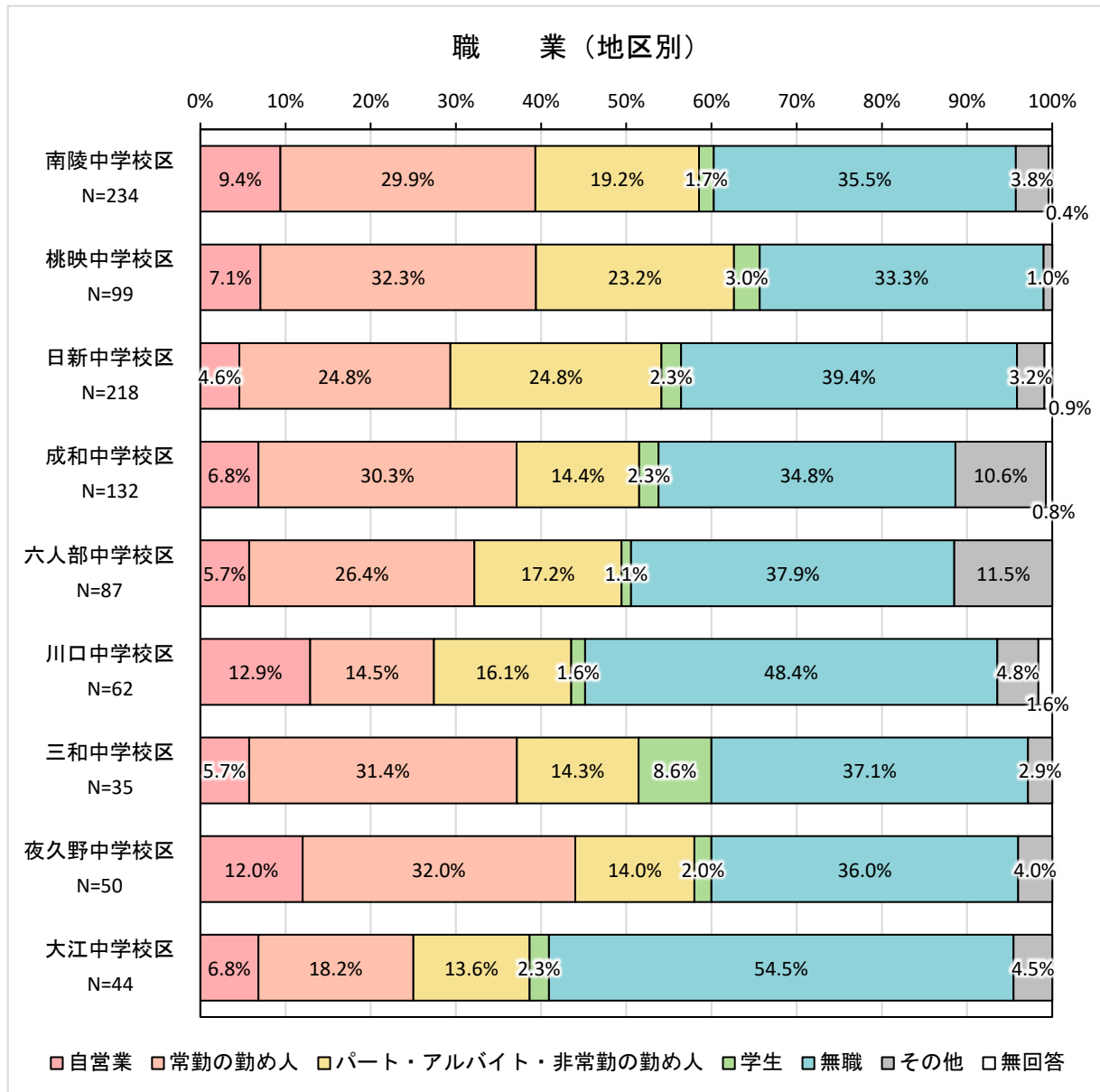
【年代別】

年代別でみると、10 歳代では「学生」、20 歳代～50 歳代では「常勤の勤め人」、60 歳代では「パート・アルバイト・非常勤の勤め人」、70 歳以上では「無職」の割合が高くなっています。



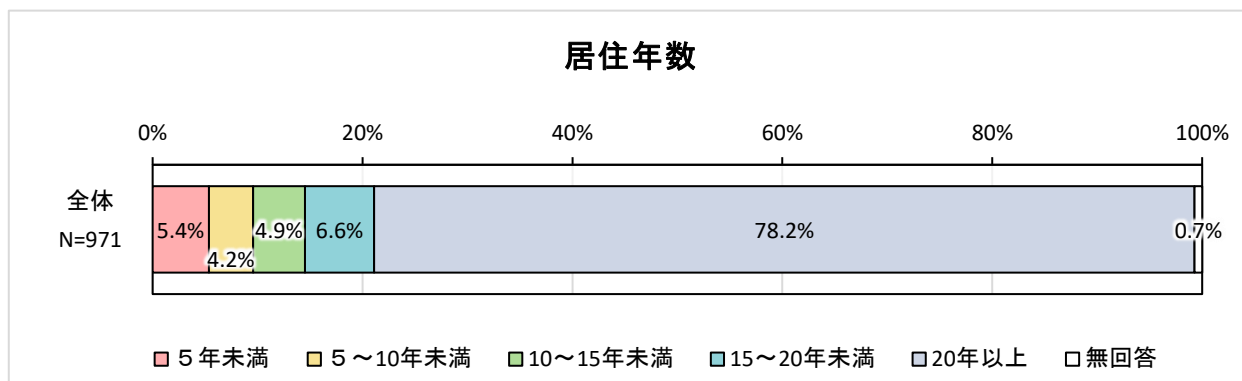
【居住地区別】

居住地区別でみると、ほとんどの中学校区では「無職」が最も高くなっています。



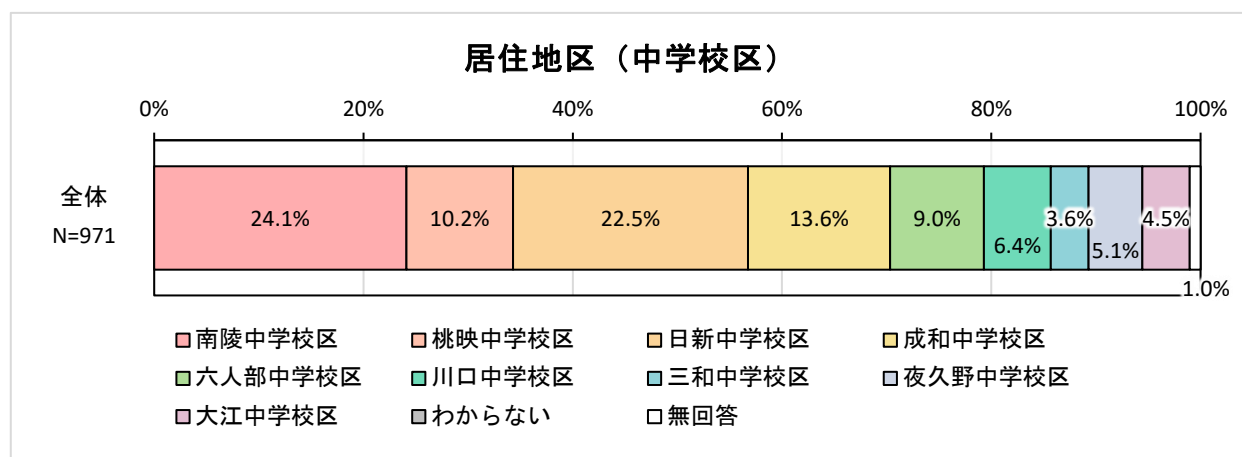
F 5 あなたの福知山市（旧三和町、旧夜久野町、旧大江町を含む）での居住年数はどのくらいですか。（○は1つ）

「20 年以上」の割合が78.2%と最も高くなっています。



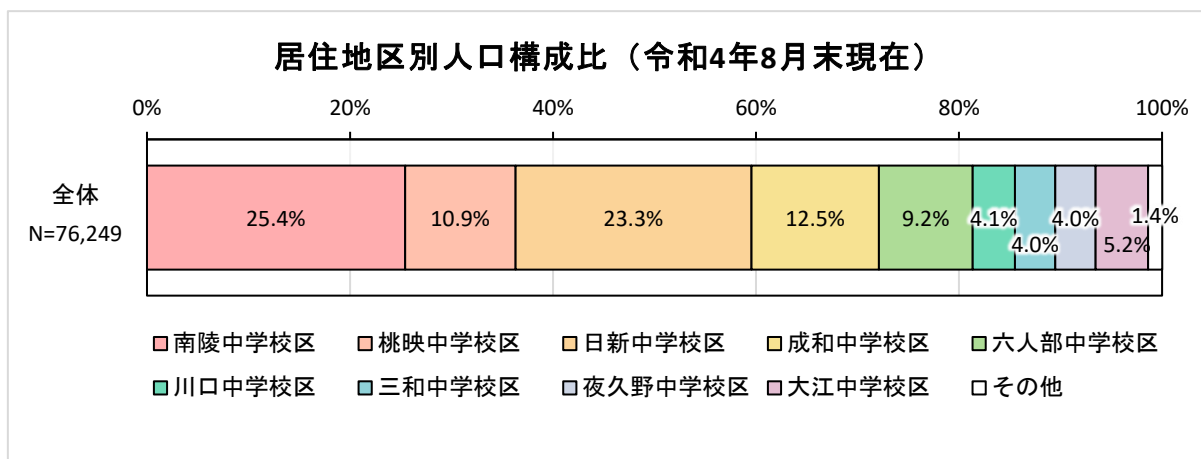
F 6 あなたの居住地区はどちらですか。（○は1つ）

「南陵中学校区」の割合が24.1%と最も高く、次いで「日新中学校区」の割合が22.5%、「成和中学校区」の割合が13.6%となっています。



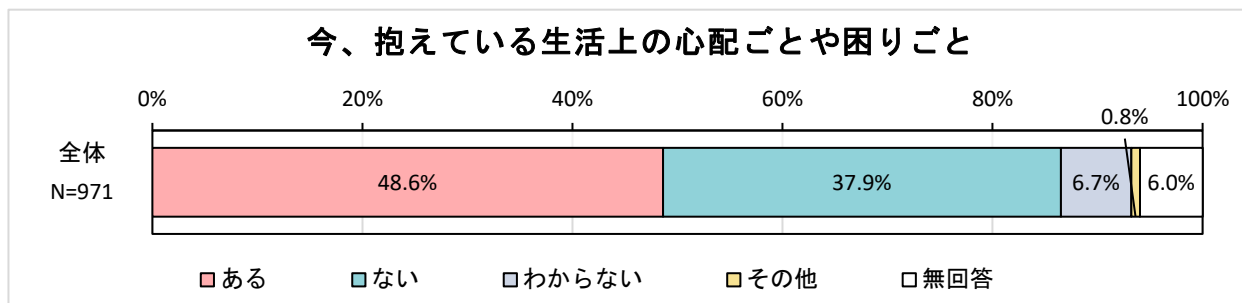
【居住地区別構成比】

市統計（行政区別人口世帯集計表）による居住地区別構成比は、以下のとおりです。



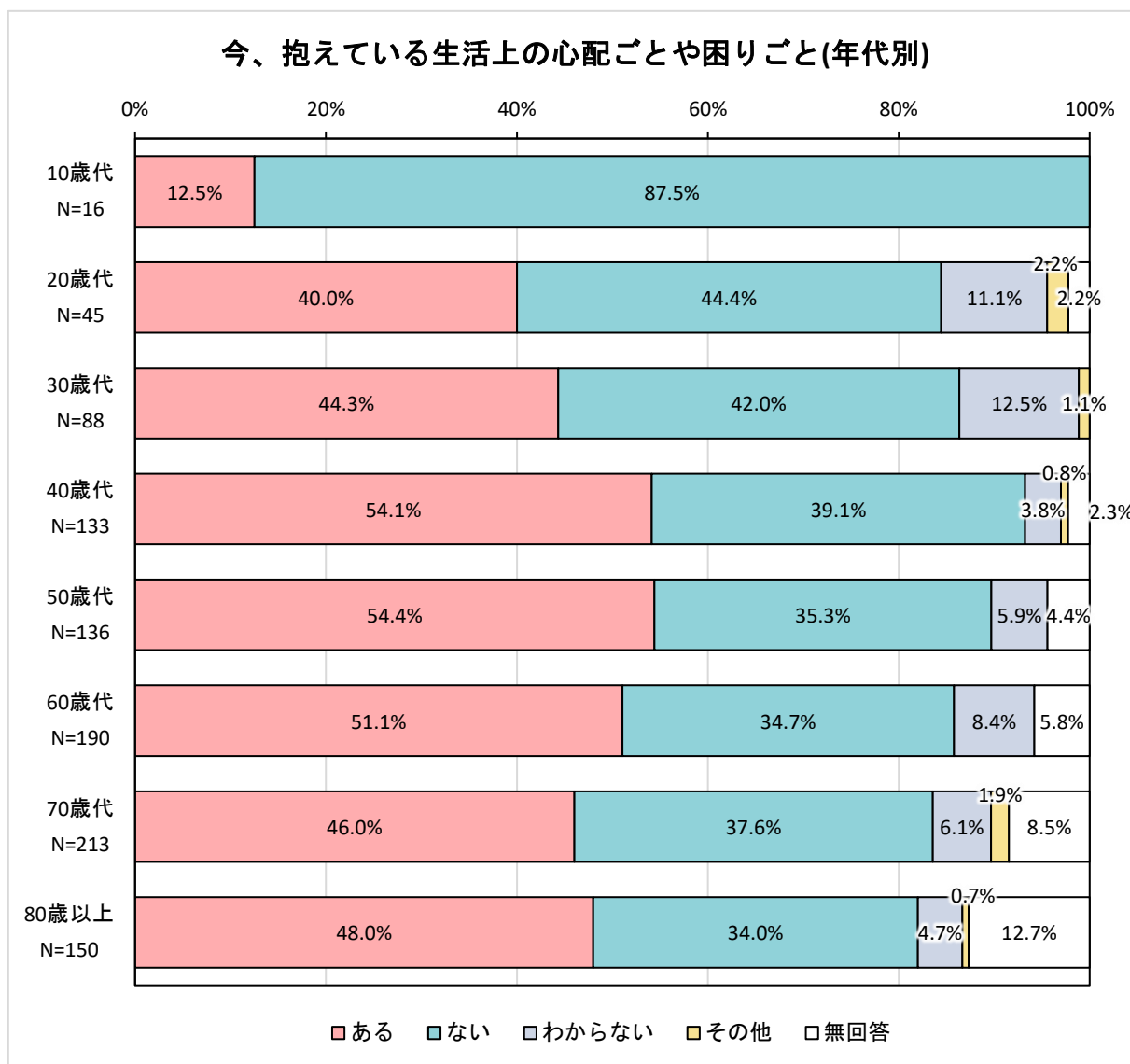
F 7 あなたには、今、抱えておられる生活上の心配ごとや困りごとはありますか。(〇は1つ)

今、抱えておられる生活上の心配ごとや困りごとが「ある」の割合が48.6%と最も高く、次いで「ない」の割合が37.9%、「わからない」の割合が6.7%となっています。



【年代別】

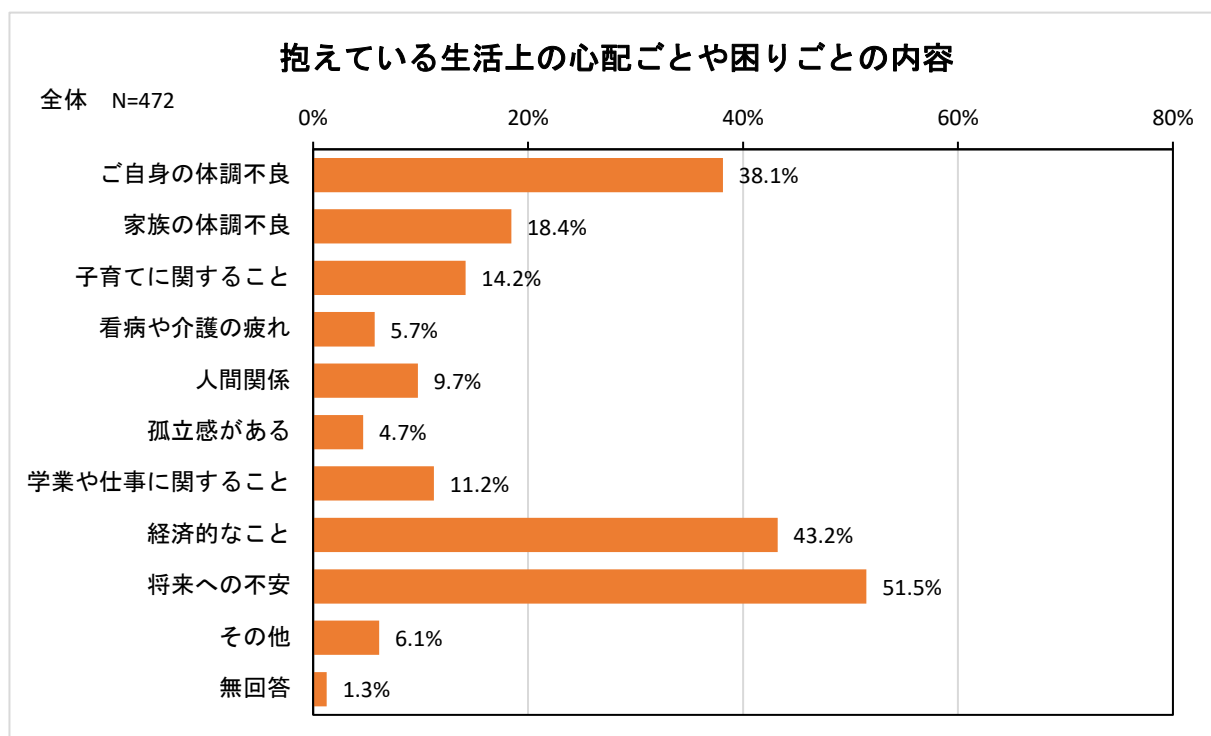
年代別でみると、10～20 歳代では「ない」、40 歳代以上では「ある」の割合が高くなっています。



◆F8 F7で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

F8-1 抱えておられる心配ごとや困りごとはどんな内容ですか。(〇は3つまで)

「将来への不安」の割合が最も高く 51.5%、次いで「経済的なこと」の割合が 43.2%、「ご自身の体調不良」の割合が 38.1%となっています。

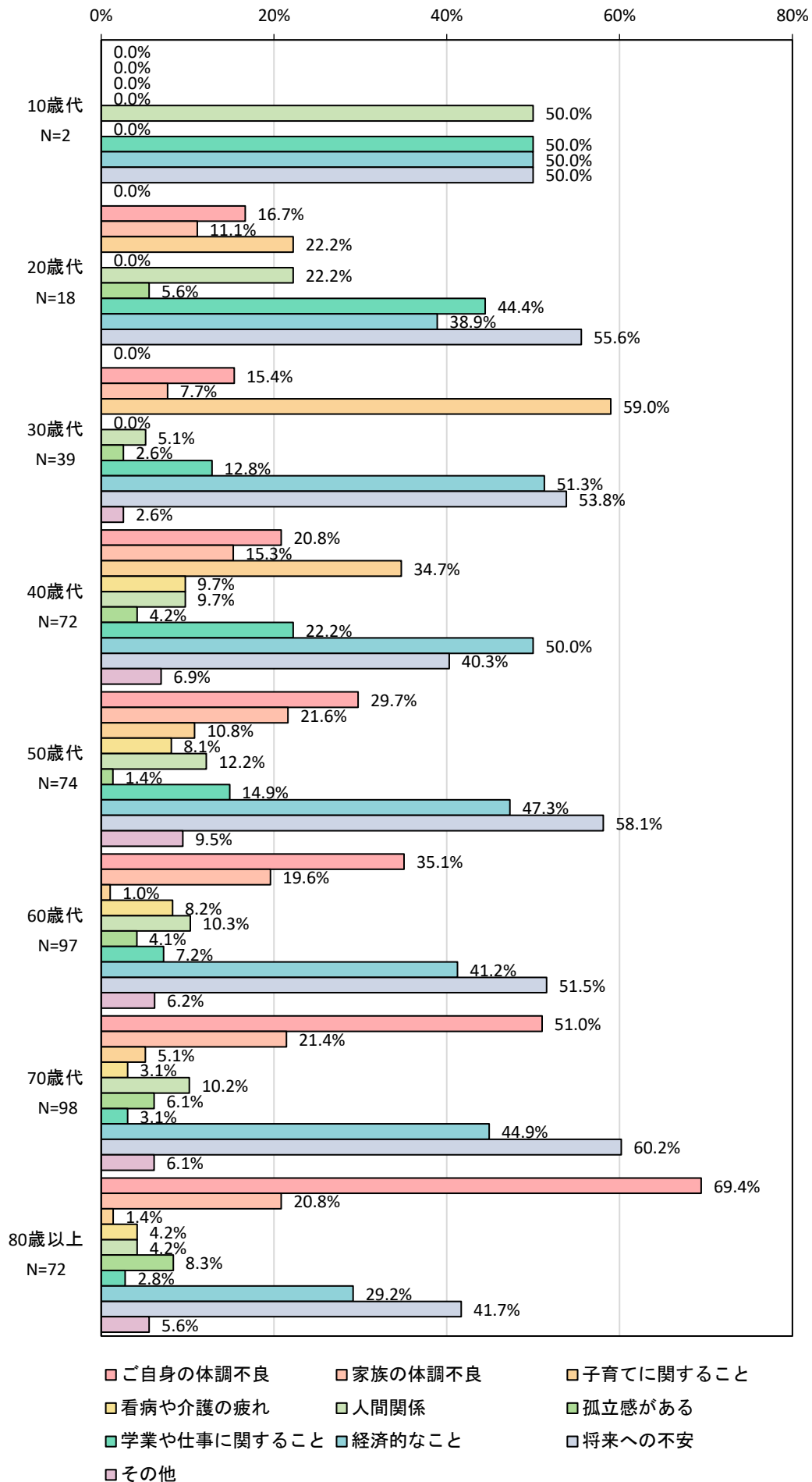


【年代別】

年代別でみると、20 歳代・50 歳代～70 歳代では「将来への不安」が最も高くなっています。また、30 歳代では「子育てに関する事」、40 歳代では「経済的なこと」、80 歳以上では「ご自身の体調不良」が最も高くなっています。

区分	有効回答数 (件)	ご自身の 体調不良	家族の 体調不良	子育てに 関すること	看病や 介護の 疲れ	人間 関係	孤立感 がある	学業や 仕事に 関 すること	経済 的な こと	将来 への 不安	その他	無 回 答
全体	472	38.1%	18.4%	14.2%	5.7%	9.7%	4.7%	11.2%	43.2%	51.5%	6.1%	1.3%
10 歳代	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
20 歳代	18	16.7%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	5.6%	44.4%	38.9%	55.6%	0.0%	0.0%
30 歳代	39	15.4%	7.7%	59.0%	0.0%	5.1%	2.6%	12.8%	51.3%	53.8%	2.6%	2.6%
40 歳代	72	20.8%	15.3%	34.7%	9.7%	9.7%	4.2%	22.2%	50.0%	40.3%	6.9%	2.8%
50 歳代	74	29.7%	21.6%	10.8%	8.1%	12.2%	1.4%	14.9%	47.3%	58.1%	9.5%	1.4%
60 歳代	97	35.1%	19.6%	1.0%	8.2%	10.3%	4.1%	7.2%	41.2%	51.5%	6.2%	1.0%
70 歳代	98	51.0%	21.4%	5.1%	3.1%	10.2%	6.1%	3.1%	44.9%	60.2%	6.1%	0.0%
80 歳以上	72	69.4%	20.8%	1.4%	4.2%	4.2%	8.3%	2.8%	29.2%	41.7%	5.6%	1.4%

抱えている生活上の心配ごとや困りごとの内容（年代別）

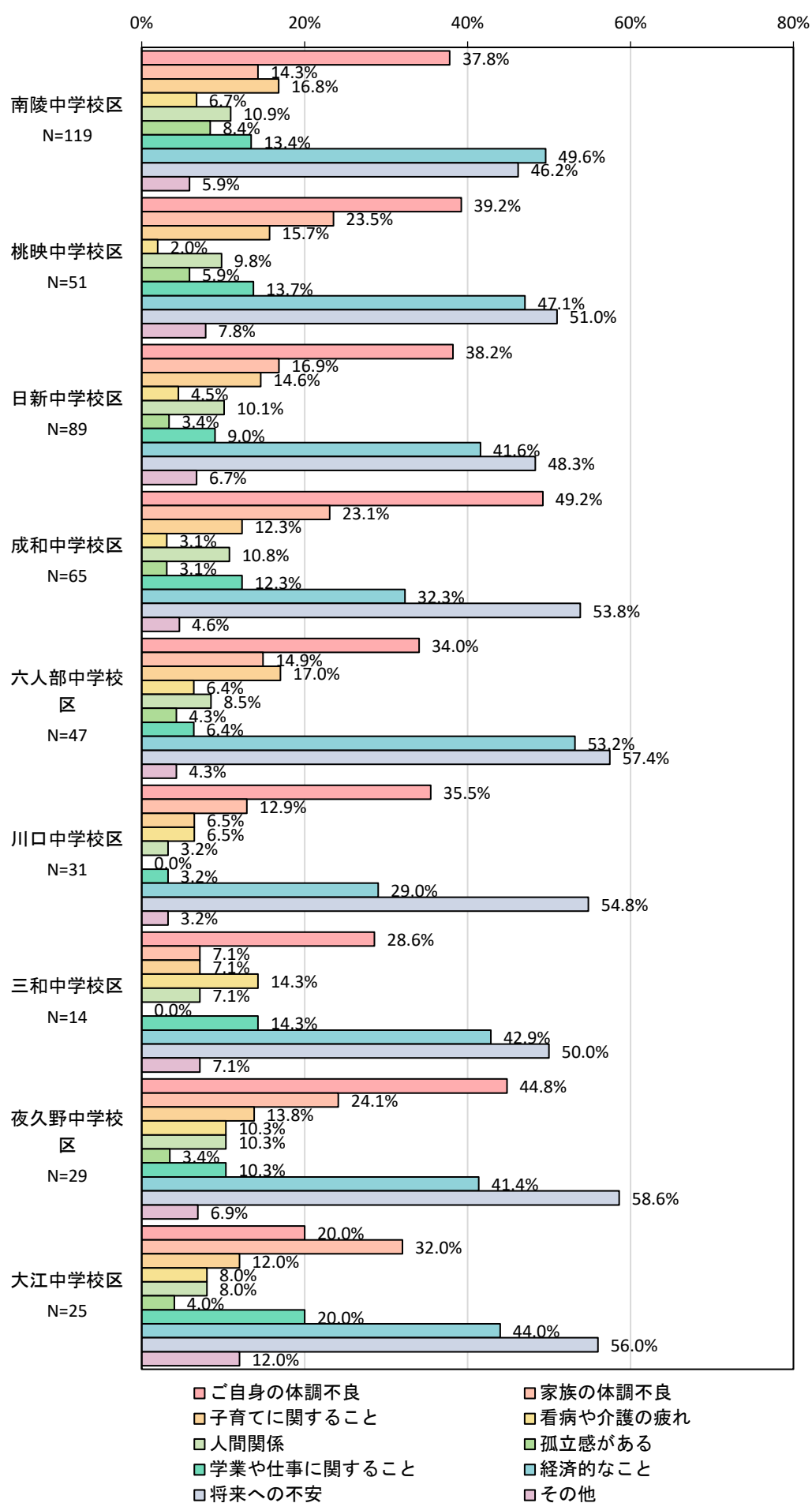


【居住地区別】

居住地区別でみると、ほとんどの中学校区では「将来への不安」が最も高くなっています。また、南陵中学校地区では「経済的なこと」が最も高くなっています。

区分	有効回答数 (件)	体調不良 ご自身の	家族の 体調不良	子育てに 関すること	看病や 介護の疲れ	人間関係	孤立感がある	学業や仕事に 関すること	経済的なこと	将来への不安	その他	無回答
全体	472	38.1%	18.4%	14.2%	5.7%	9.7%	4.7%	11.2%	43.2%	51.5%	6.1%	1.3%
南陵中学校地区	119	37.8%	14.3%	16.8%	6.7%	10.9%	8.4%	13.4%	49.6%	46.2%	5.9%	0.8%
桃映中学校地区	51	39.2%	23.5%	15.7%	2.0%	9.8%	5.9%	13.7%	47.1%	51.0%	7.8%	2.0%
日新中学校地区	89	38.2%	16.9%	14.6%	4.5%	10.1%	3.4%	9.0%	41.6%	48.3%	6.7%	1.1%
成和中学校地区	65	49.2%	23.1%	12.3%	3.1%	10.8%	3.1%	12.3%	32.3%	53.8%	4.6%	0.0%
六人部中学校地区	47	34.0%	14.9%	17.0%	6.4%	8.5%	4.3%	6.4%	53.2%	57.4%	4.3%	0.0%
川口中学校地区	31	35.5%	12.9%	6.5%	6.5%	3.2%	0.0%	3.2%	29.0%	54.8%	3.2%	3.2%
三和中学校地区	14	28.6%	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	14.3%	42.9%	50.0%	7.1%	7.1%
夜久野中学校地区	29	44.8%	24.1%	13.8%	10.3%	10.3%	3.4%	10.3%	41.4%	58.6%	6.9%	3.4%
大江中学校地区	25	20.0%	32.0%	12.0%	8.0%	8.0%	4.0%	20.0%	44.0%	56.0%	12.0%	0.0%

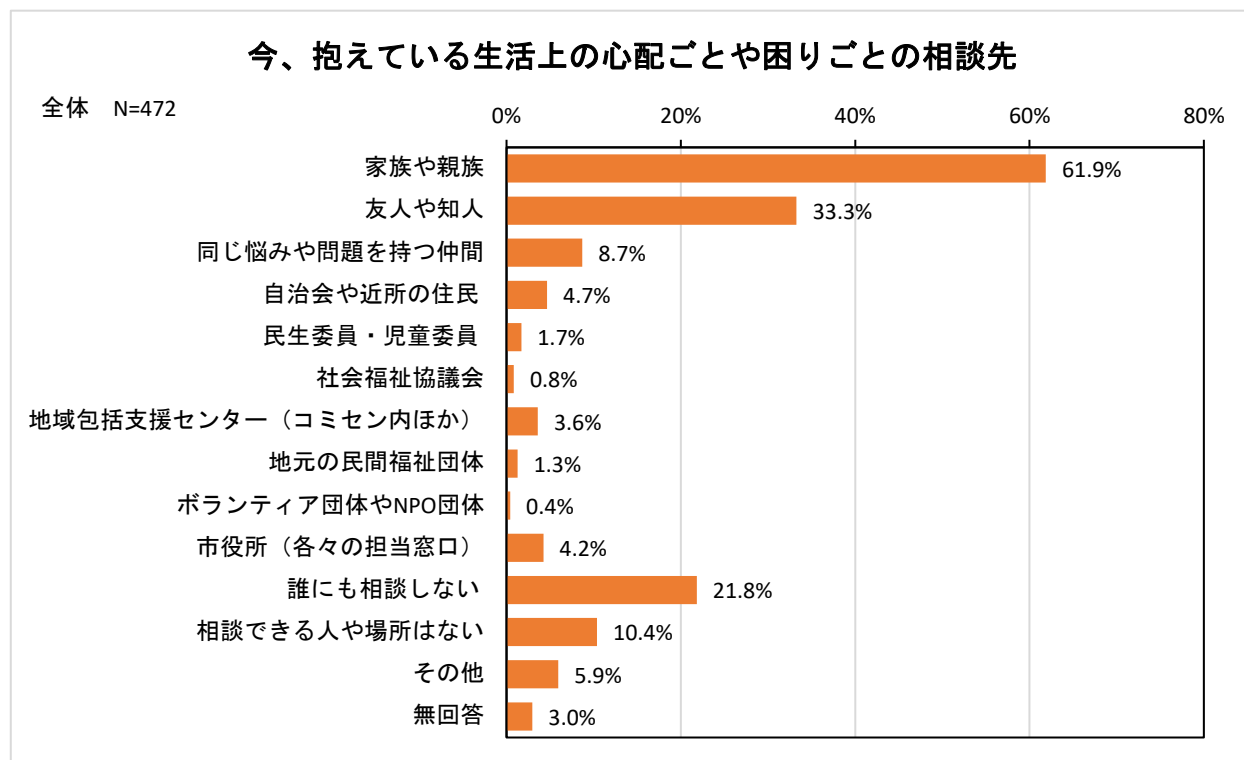
抱えている生活上の心配事や困りごとの内容（地区別）



F 8－2 抱えておられる生活上の心配ごとや困りごとは、誰に（どこに）相談していますか。（〇は3つまで）

※問8（類似）

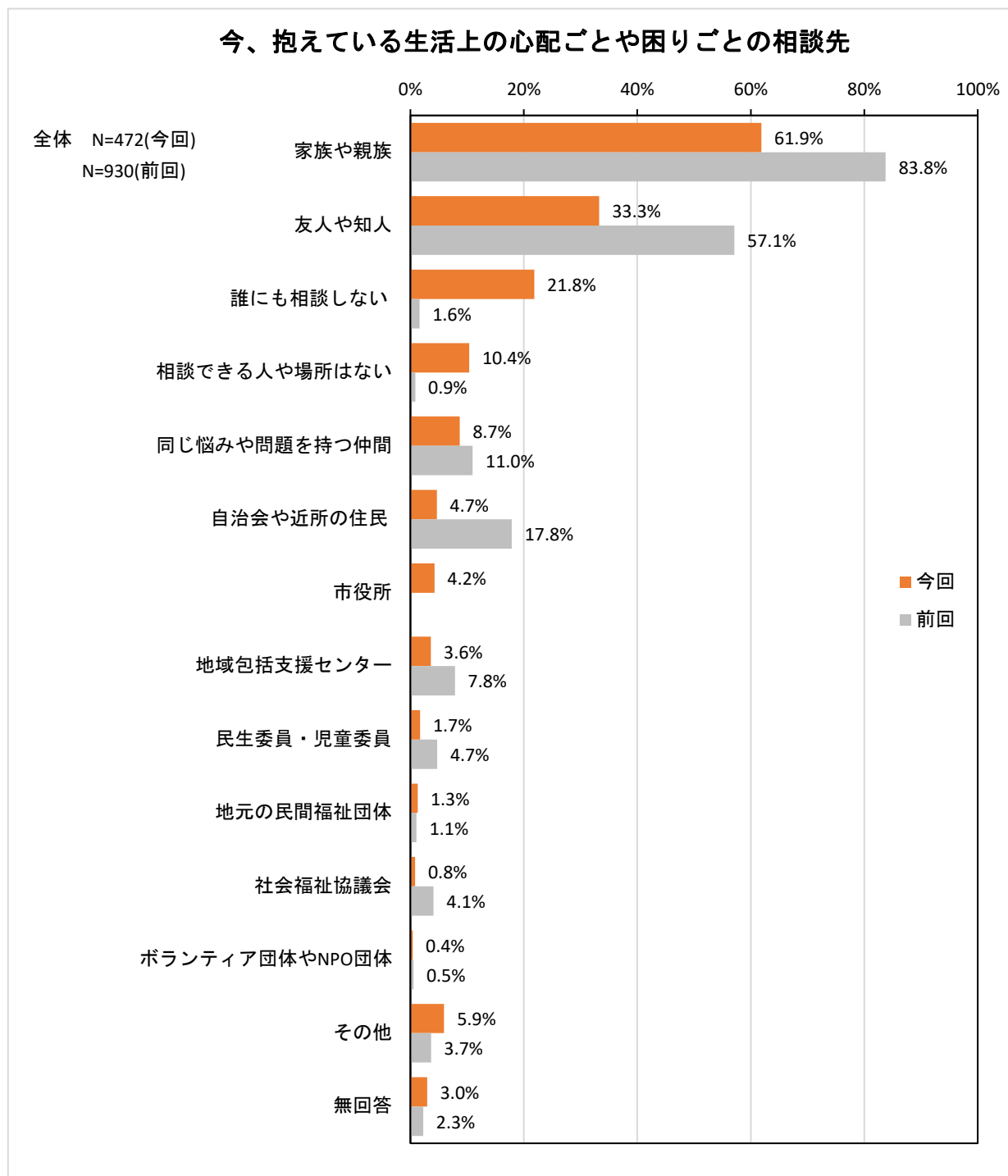
「家族や親族」の割合が最も高く 61.9%、次いで「友人や知人」の割合が 33.3%、「誰にも相談しない」の割合が 21.8%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「誰にも相談しない」は、20.2 ポイント増加しています（1.6%→21.8%）。

また、「家族や親族」の割合は 21.9 ポイント（83.8%→61.9%）、「友人や知人」の割合は 23.8 ポイント（57.1%→33.3%）、「自治会や近所の住民」の割合は 13.1 ポイント（17.8%→4.7%）と減少しています。

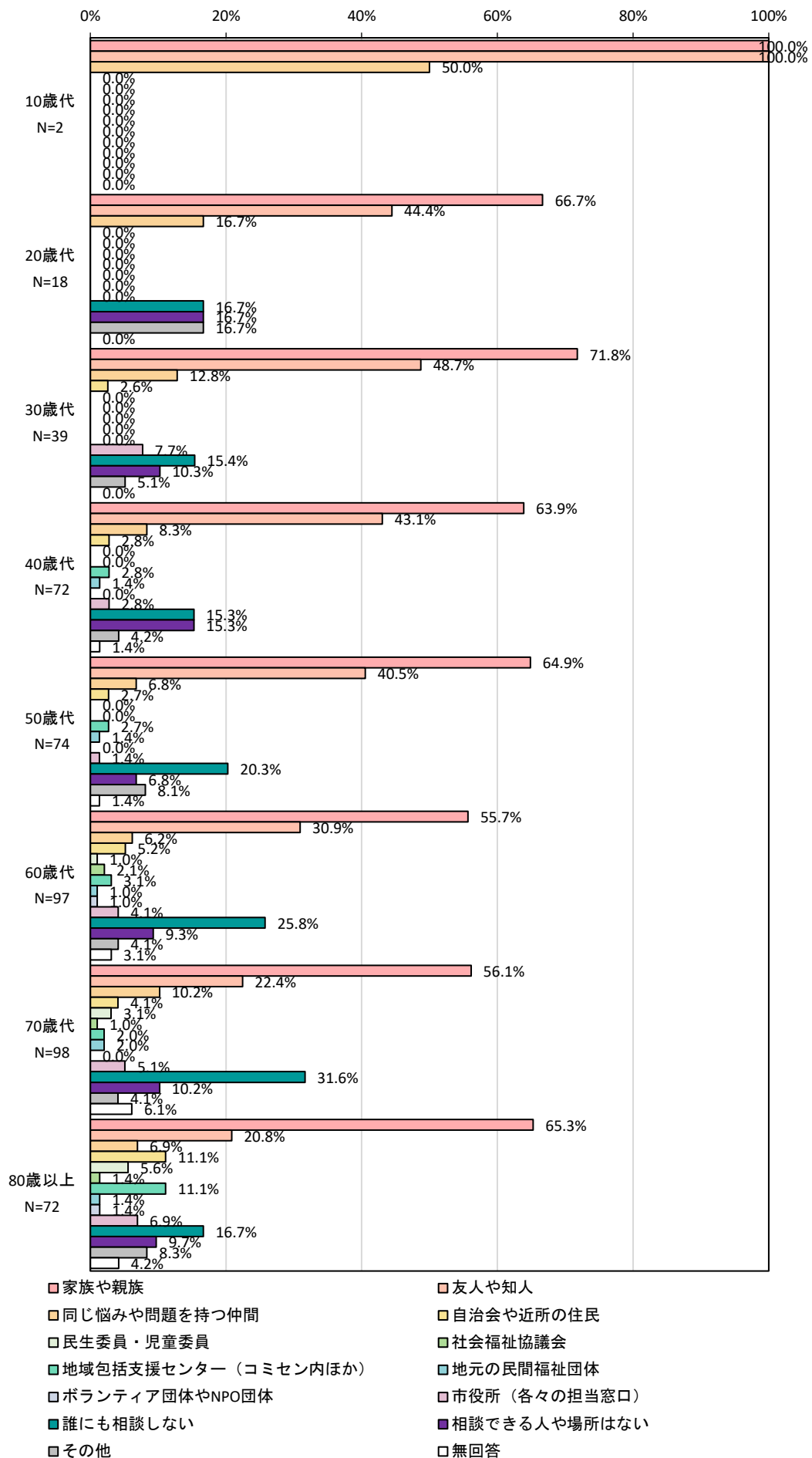


【年代別】

年代別でみると、すべての年代で「家族や親族」の割合が高くなっています。

区分	有効回答数 (件)	家族や親族	友人や知人	同じ悩みや問題を持つ 仲間	自治会や近所の住民	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	地域包括支援センター (コミセン内ほか)	地元の民間福祉団体	ボランティア団体や NPO団体	市役所(各々の担当窓 口)	誰にも相談しない	相談できる人や場所は ない	その他	無回答
全体	472	61.9%	33.3%	8.7%	4.7%	1.7%	0.8%	3.6%	1.3%	0.4%	4.2%	21.8%	10.4%	5.9%	3.0%
10 歳代	2	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20 歳代	18	66.7%	44.4%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%
30 歳代	39	71.8%	48.7%	12.8%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	10.3%	5.1%	0.0%
40 歳代	72	63.9%	43.1%	8.3%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	1.4%	0.0%	2.8%	15.3%	15.3%	4.2%	1.4%
50 歳代	74	64.9%	40.5%	6.8%	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%	1.4%	0.0%	1.4%	20.3%	6.8%	8.1%	1.4%
60 歳代	97	55.7%	30.9%	6.2%	5.2%	1.0%	2.1%	3.1%	1.0%	1.0%	4.1%	25.8%	9.3%	4.1%	3.1%
70 歳代	98	56.1%	22.4%	10.2%	4.1%	3.1%	1.0%	2.0%	2.0%	0.0%	5.1%	31.6%	10.2%	4.1%	6.1%
80 歳以上	72	65.3%	20.8%	6.9%	11.1%	5.6%	1.4%	11.1%	1.4%	1.4%	6.9%	16.7%	9.7%	8.3%	4.2%

今、抱えている生活上の心配ごとや困りごとの相談先 (年代別)

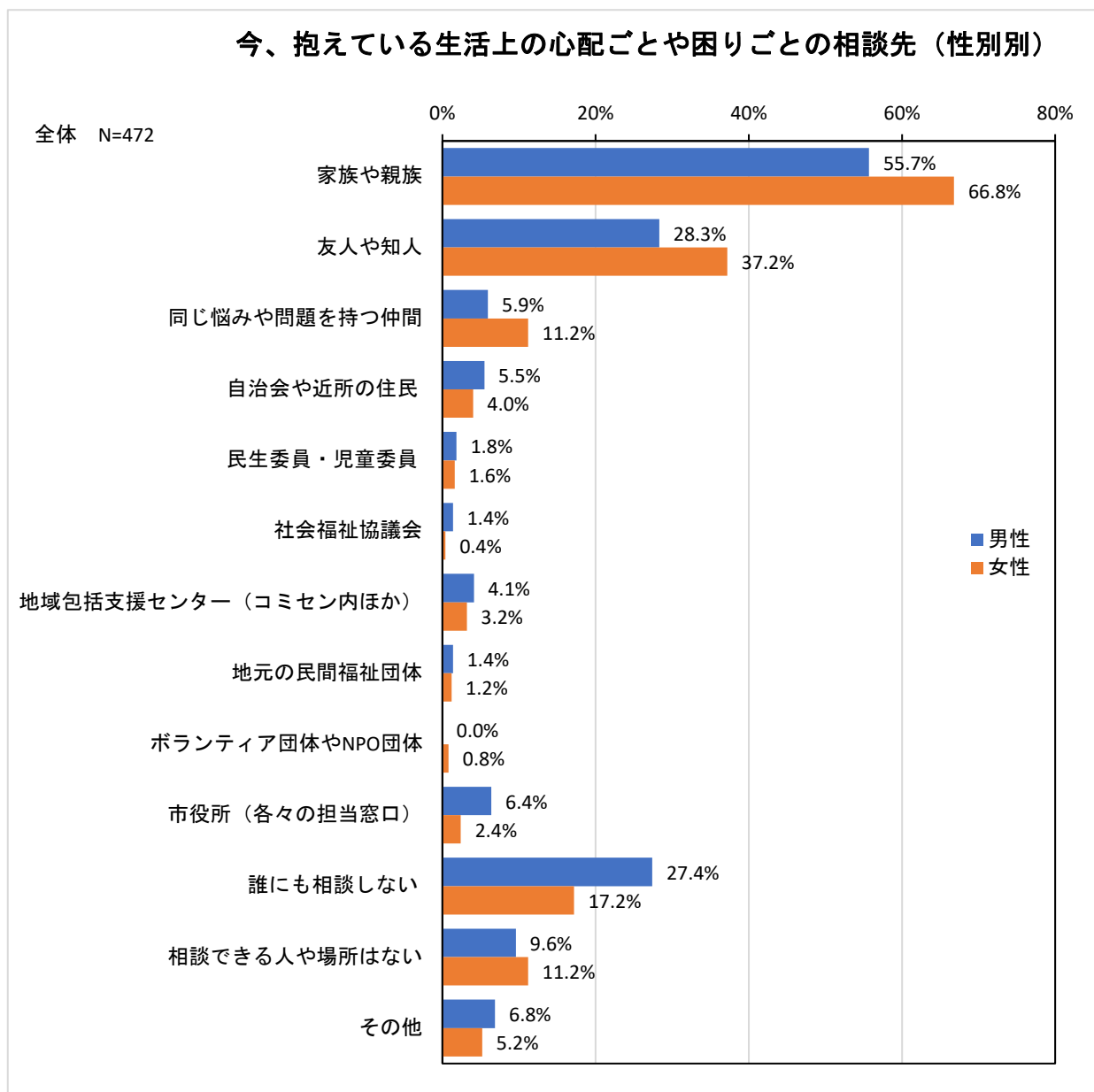


【性別別】

性別別でみると、すべての性別で「家族や親族」の割合が高くなっています。

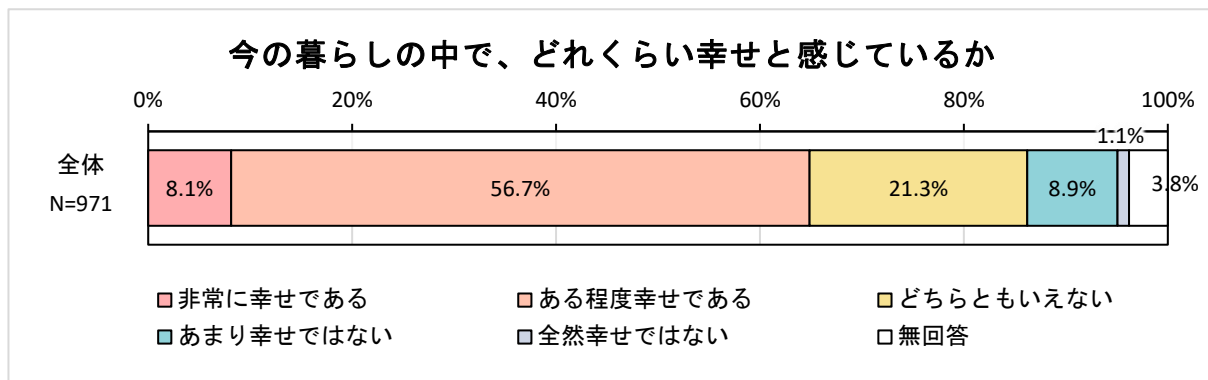
区分	有効回答数 (件)	家族や親族	友人や知人	同じ悩みや問題を持つ 仲間	自治会や近所の住民	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	地域包括支援センター (コミセン内ほか)	地元の民間福祉団体	ボランティア団体や NPO団体	市役所（各々の担当窓 口）	誰にも相談しない	相談できる人や場所は ない	その他	無回答
全体	472	61.9%	33.3%	8.7%	4.7%	1.7%	0.8%	3.6%	1.3%	0.4%	4.2%	21.8%	10.4%	5.9%	3.0%
男性	219	55.7%	28.3%	5.9%	5.5%	1.8%	1.4%	4.1%	1.4%	0.0%	6.4%	27.4%	9.6%	6.8%	2.7%
女性	250	66.8%	37.2%	11.2%	4.0%	1.6%	0.4%	3.2%	1.2%	0.8%	2.4%	17.2%	11.2%	5.2%	3.2%
答えたくない	2	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

今、抱えている生活上の心配ごとや困りごとの相談先（性別別）



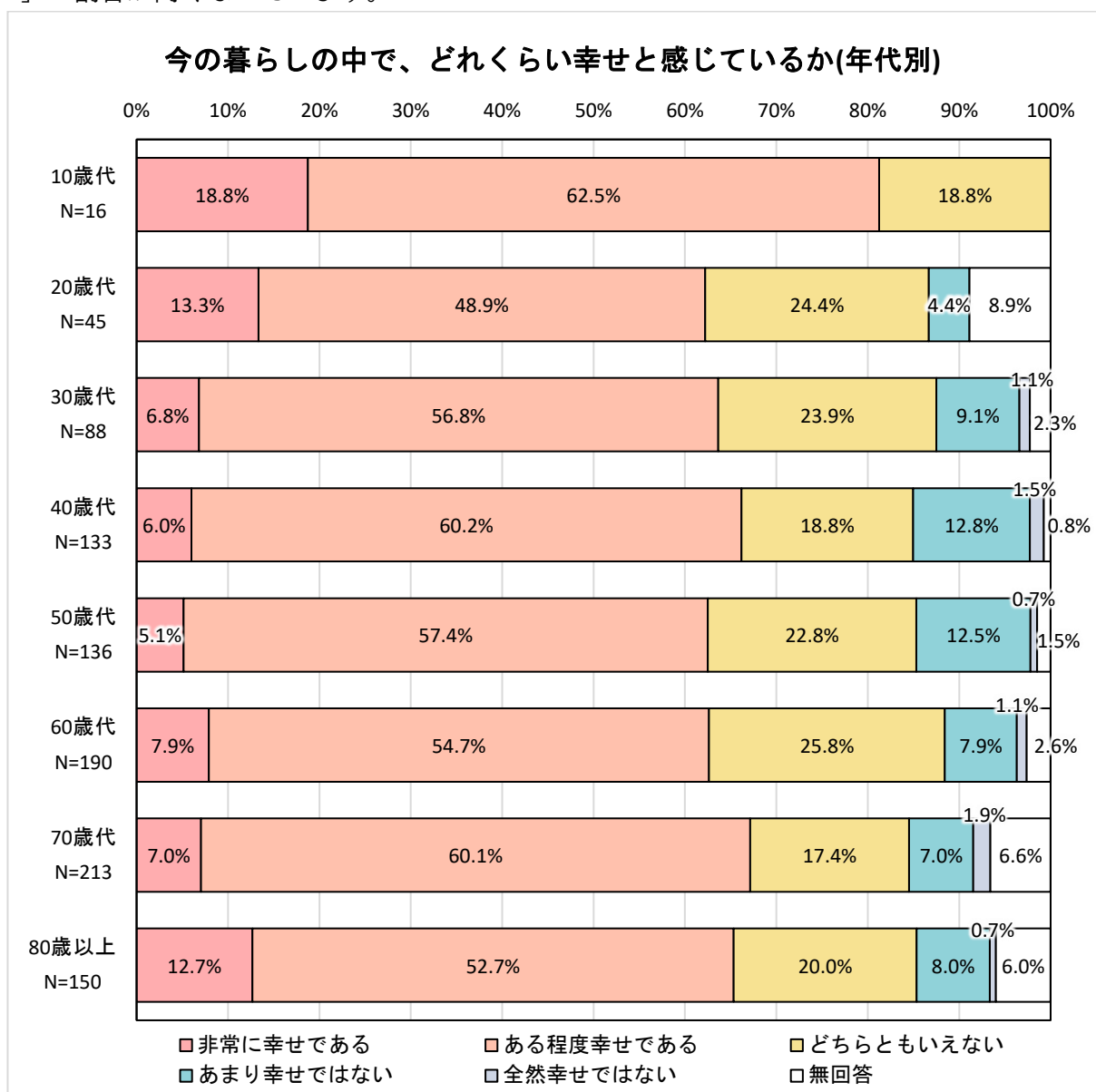
F 9 福知山市では、市民憲章「幸せを生きる」を実現するため、住民の福祉の向上を目指しています。あなたは、今の暮らしの中で、どれくらい幸せと感じていますか。
(○は1つ)

「ある程度幸せである」の割合が最も高く 56.7%、次いで「どちらともいえない」の割合が 21.3%、「あまり幸せではない」の割合が 8.9%となっています。



【年代別】

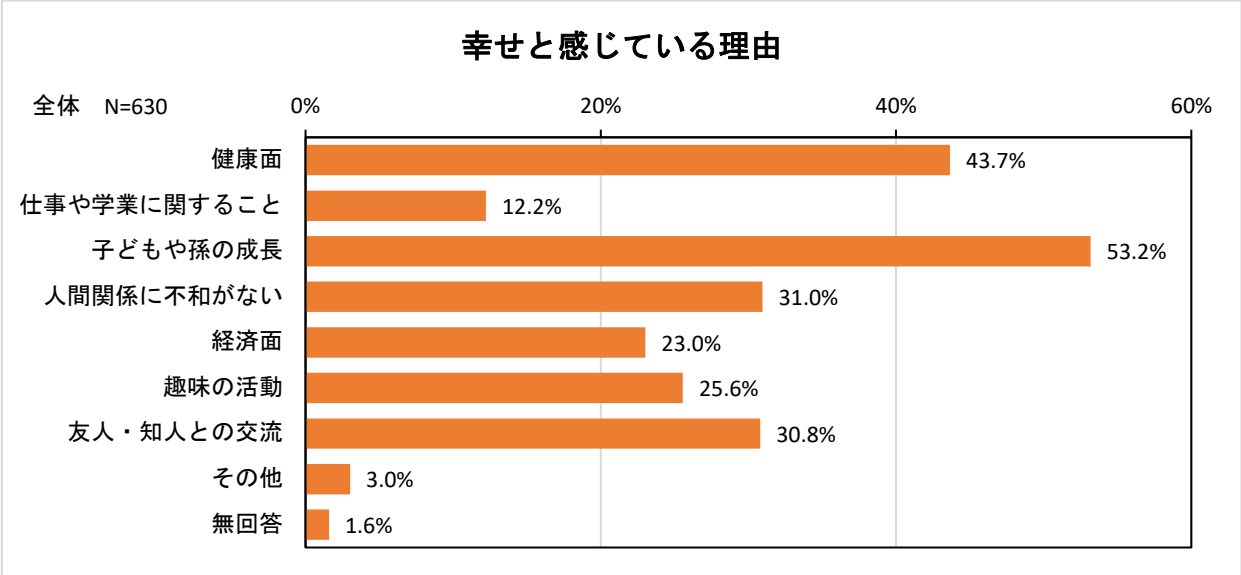
年代別でみると、すべての年代で「ある程度幸せである」の割合が最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



◆ F 9で「1. 非常に幸せである」「2. ある程度幸せである」と回答した方におうかがいします。

F10－1 あなたが幸せと感じている理由は何ですか。(○は3つまで)

「子どもや孫の成長」の割合が最も高く 53.2%、次いで「健康面」の割合が 43.7%、「人間関係に不和がない」の割合が 31.0%となっています。

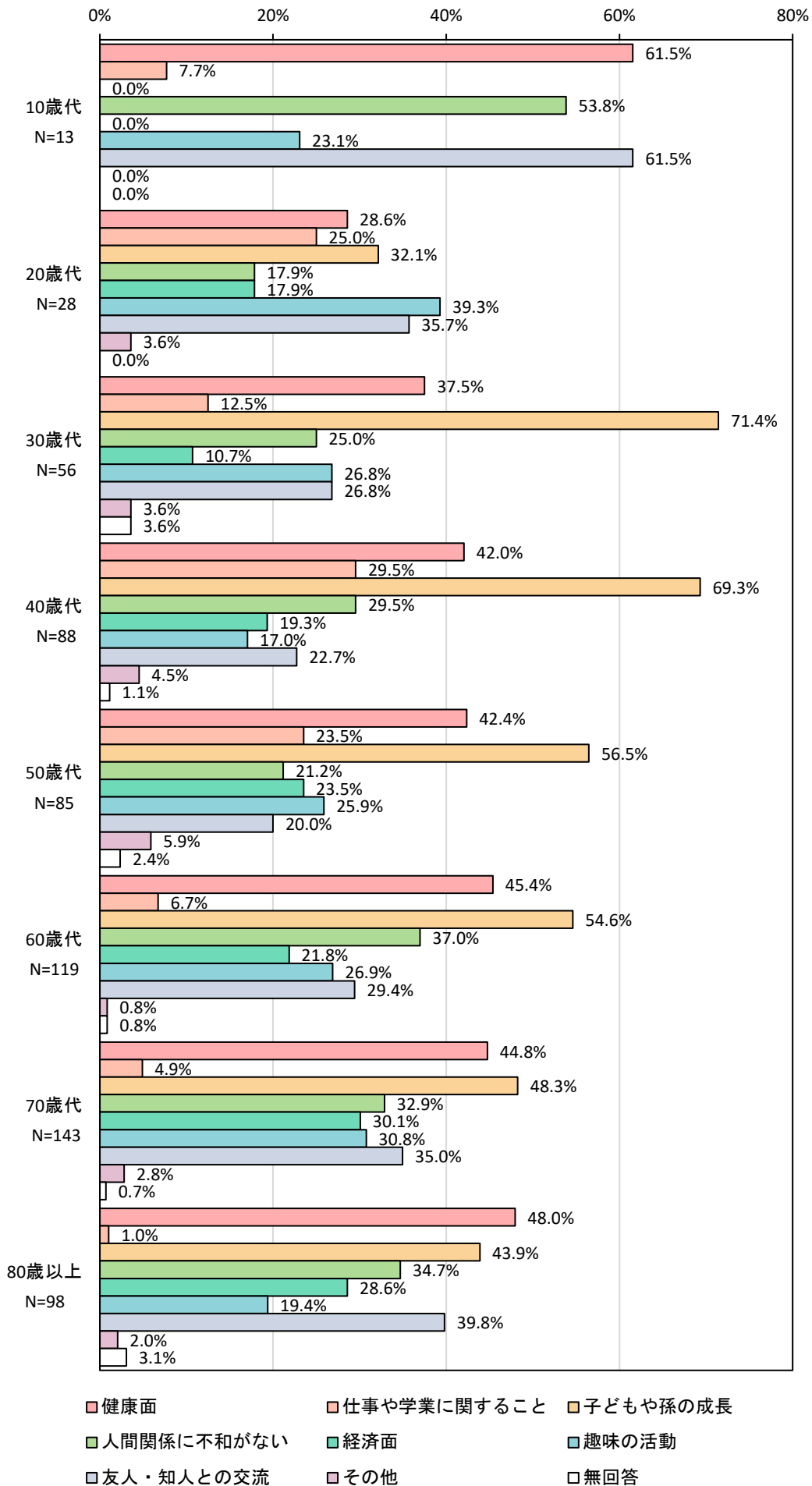


【年代別】

年代別でみると、30 歳代～70 歳代では「子どもや孫の成長」が最も高くなっています。また、10 歳代では「健康面」と「友人・知人との交流」、20 歳代では「趣味の活動」、80 歳以上では「健康面」が最も高くなっています。

区分	有効回答数(件)	健康面	仕事や学業に関すること	子どもや孫の成長	人間関係に不和がない	経済面	趣味の活動	友人・知人との交流	その他	無回答
全体	630	43.7%	12.2%	53.2%	31.0%	23.0%	25.6%	30.8%	3.0%	1.6%
10 歳代	13	61.5%	7.7%	0.0%	53.8%	0.0%	23.1%	61.5%	0.0%	0.0%
20 歳代	28	28.6%	25.0%	32.1%	17.9%	17.9%	39.3%	35.7%	3.6%	0.0%
30 歳代	56	37.5%	12.5%	71.4%	25.0%	10.7%	26.8%	26.8%	3.6%	3.6%
40 歳代	88	42.0%	29.5%	69.3%	29.5%	19.3%	17.0%	22.7%	4.5%	1.1%
50 歳代	85	42.4%	23.5%	56.5%	21.2%	23.5%	25.9%	20.0%	5.9%	2.4%
60 歳代	119	45.4%	6.7%	54.6%	37.0%	21.8%	26.9%	29.4%	0.8%	0.8%
70 歳代	143	44.8%	4.9%	48.3%	32.9%	30.1%	30.8%	35.0%	2.8%	0.7%
80 歳以上	98	48.0%	1.0%	43.9%	34.7%	28.6%	19.4%	39.8%	2.0%	3.1%

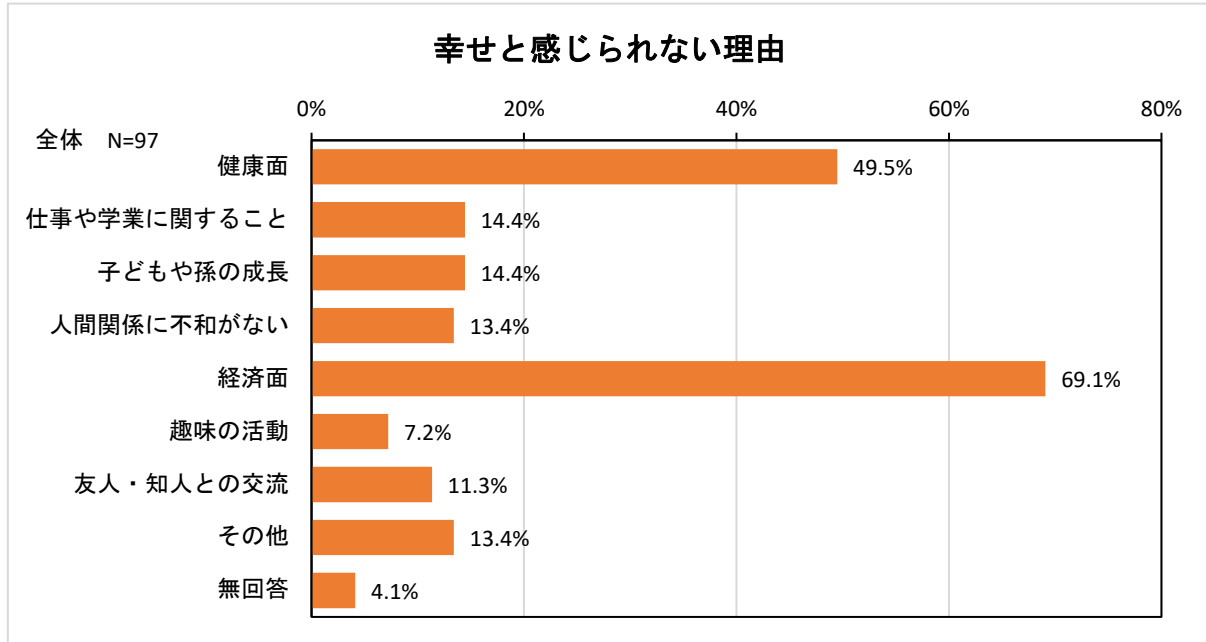
幸せと感じている理由（年代別）



F 9で「4. あまり幸せではない」「5. 全然幸せではない」と回答した方におうかがいします。

F10－2 あなたが幸せと感じられない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「経済面」の割合が最も高く 69.1%、次いで「健康面」の割合が 49.5%、「仕事や学業に関するこ
と」と「子どもや孫の成長」の割合が 14.4%となっています。

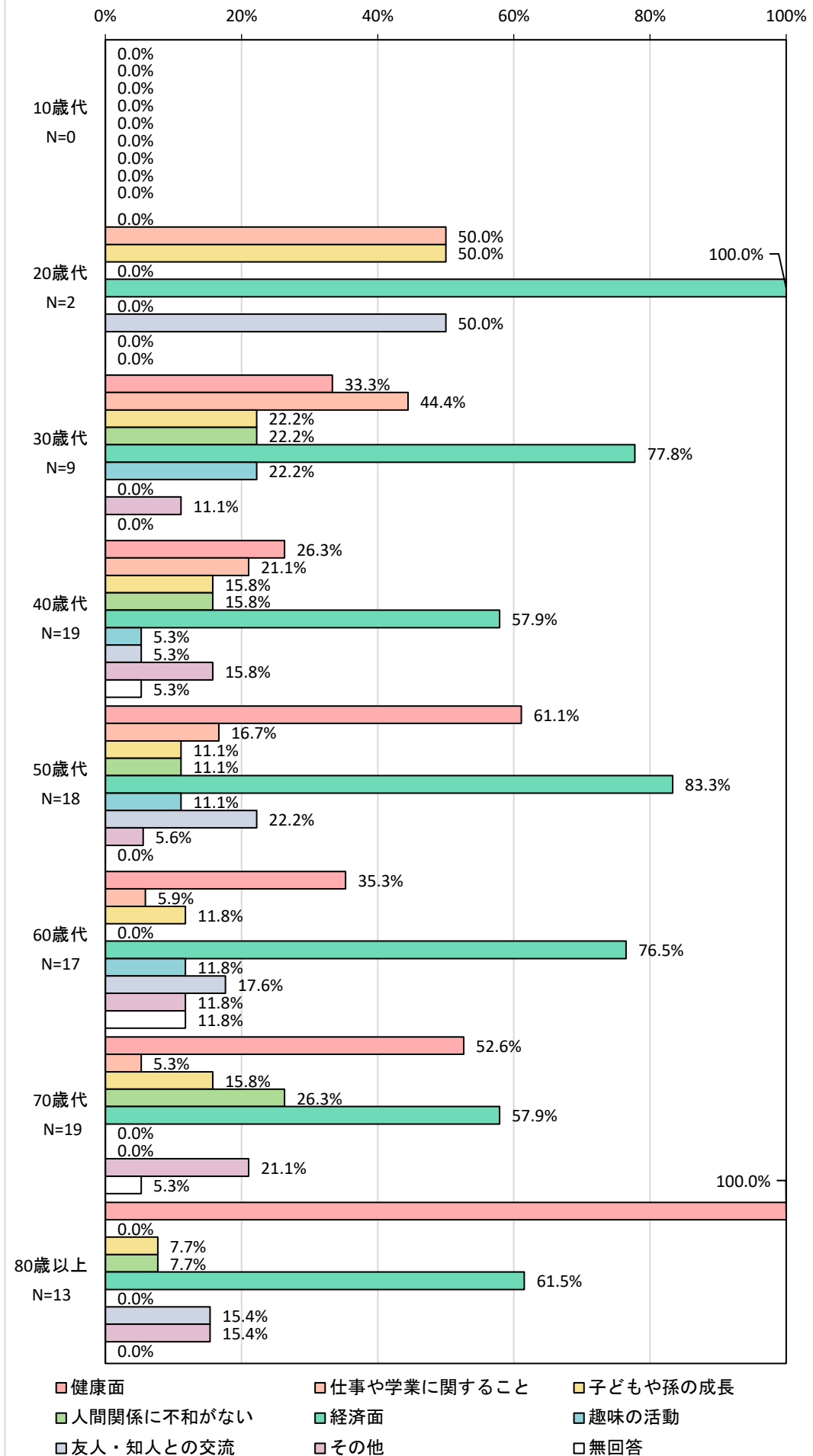


【年代別】

年代別でみると、20 歳代～70 歳代では「経済面」が最も高くなっています。80 歳以上では「健康面」
が最も高くなっています。

区分	有効回答数 (件)	健康面	仕事や学業に関するこ と	子どもや孫の成長	人間関係に不和がない	経済面	趣味の活動	友人・知人との交流	その他	無回答
全体	97	49.5%	14.4%	14.4%	13.4%	69.1%	7.2%	11.3%	13.4%	4.1%
10 歳代	0									
20 歳代	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
30 歳代	9	33.3%	44.4%	22.2%	22.2%	77.8%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%
40 歳代	19	26.3%	21.1%	15.8%	15.8%	57.9%	5.3%	5.3%	15.8%	5.3%
50 歳代	18	61.1%	16.7%	11.1%	11.1%	83.3%	11.1%	22.2%	5.6%	0.0%
60 歳代	17	35.3%	5.9%	11.8%	0.0%	76.5%	11.8%	17.6%	11.8%	11.8%
70 歳代	19	52.6%	5.3%	15.8%	26.3%	57.9%	0.0%	0.0%	21.1%	5.3%
80 歳以上	13	100.0%	0.0%	7.7%	7.7%	61.5%	0.0%	15.4%	15.4%	0.0%

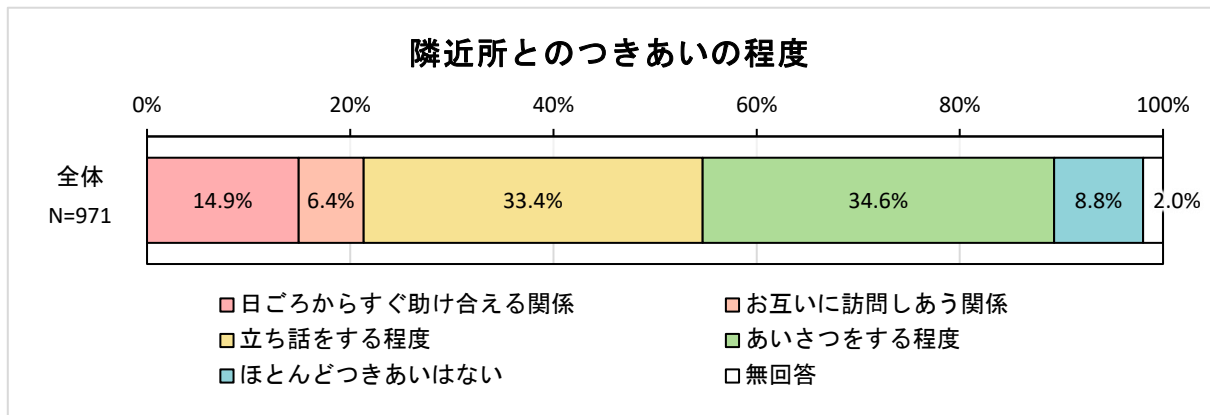
幸せと感じられない理由（年代別）



2 お住まいの地域について

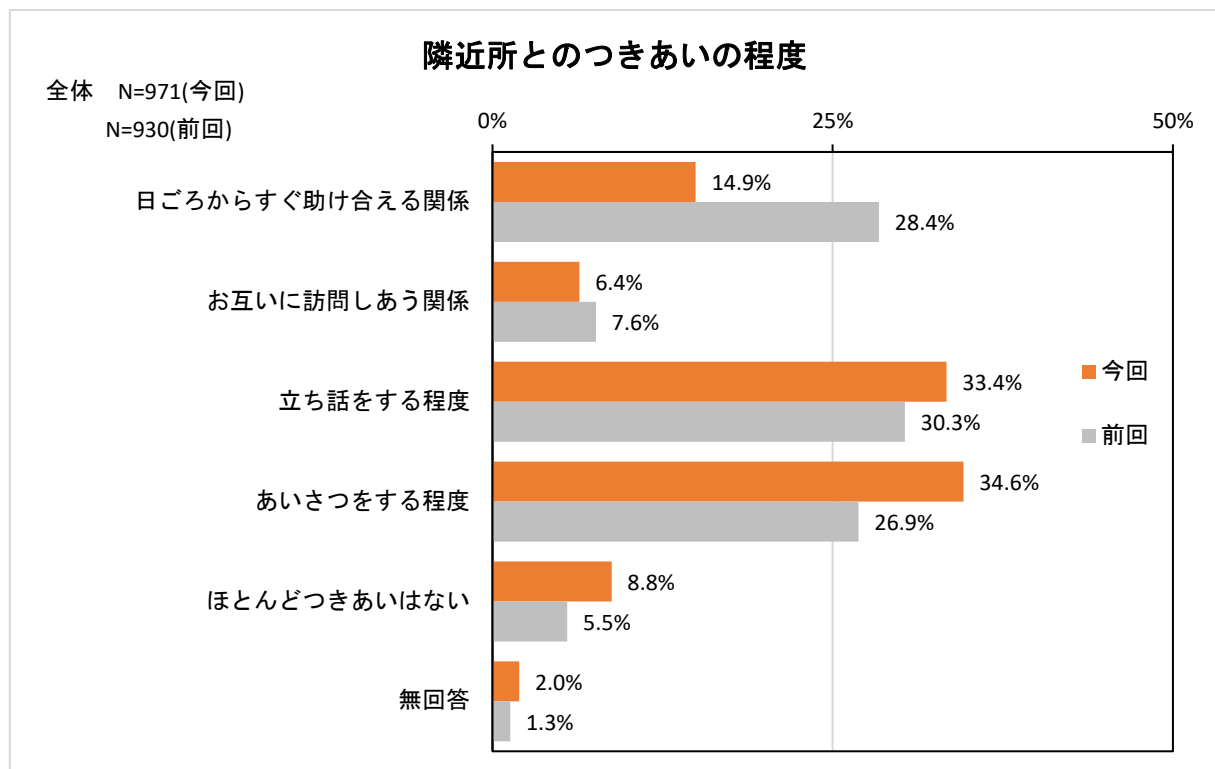
問1 あなたと隣近所とのつきあいはどの程度ですか。(○は1つ)

「あいさつをする程度」の割合が最も高く 34.6%、次いで「立ち話をする程度」の割合が 33.4%、「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が 14.9%となっています。



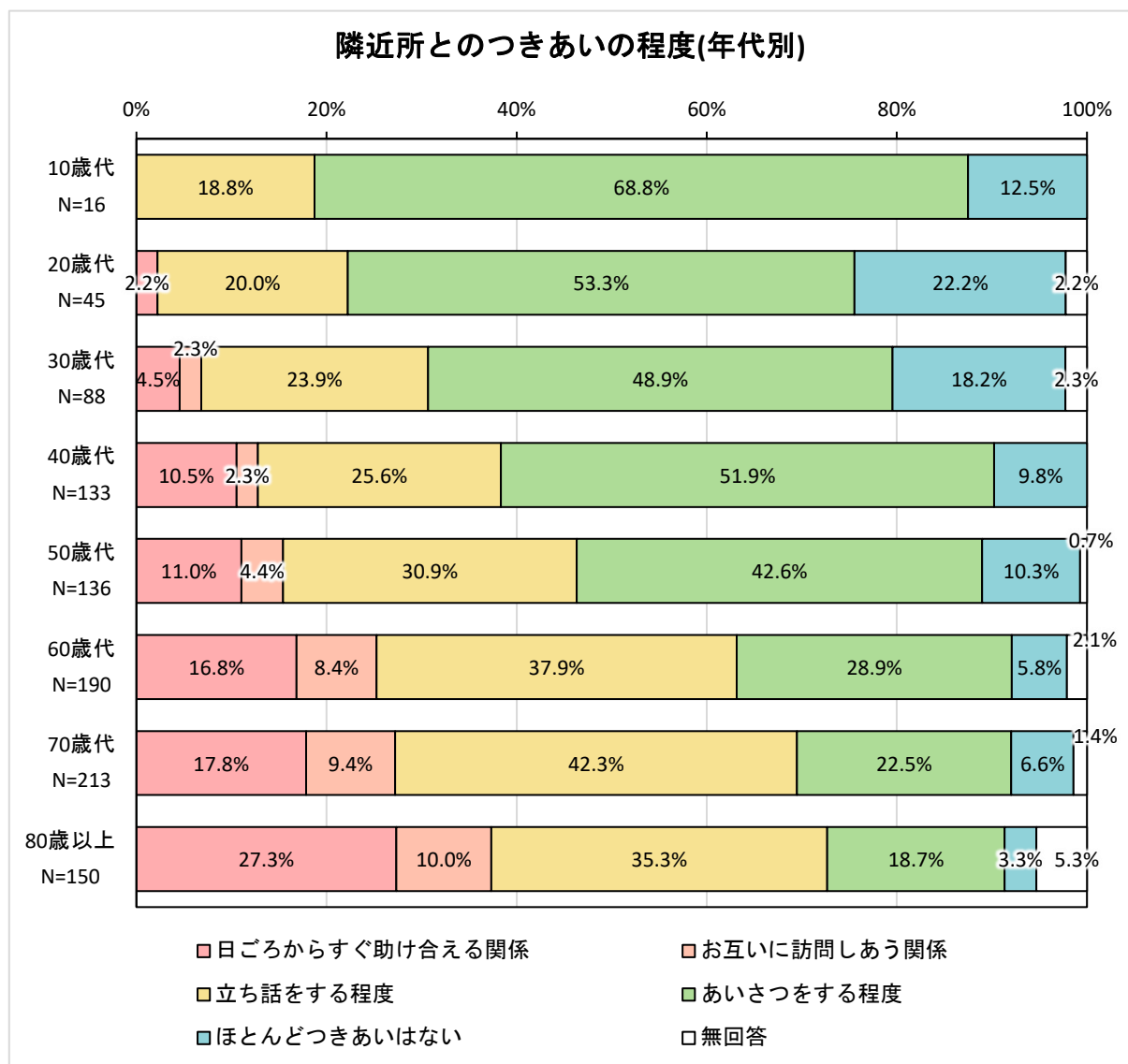
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「日ごろからすぐ助け合える関係」は 13.5 ポイント減少しています (28.4% → 14.9%)。一方、「あいさつをする程度」は 7.7 ポイント増加しています (26.9% → 34.6%)。



【年代別】

年代別でみると、10歳代～50歳代では「あいさつをする程度」が、60歳以上では「立ち話をする程度」が最も高くなっています。また年代が高くなるにつれて「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなっています。

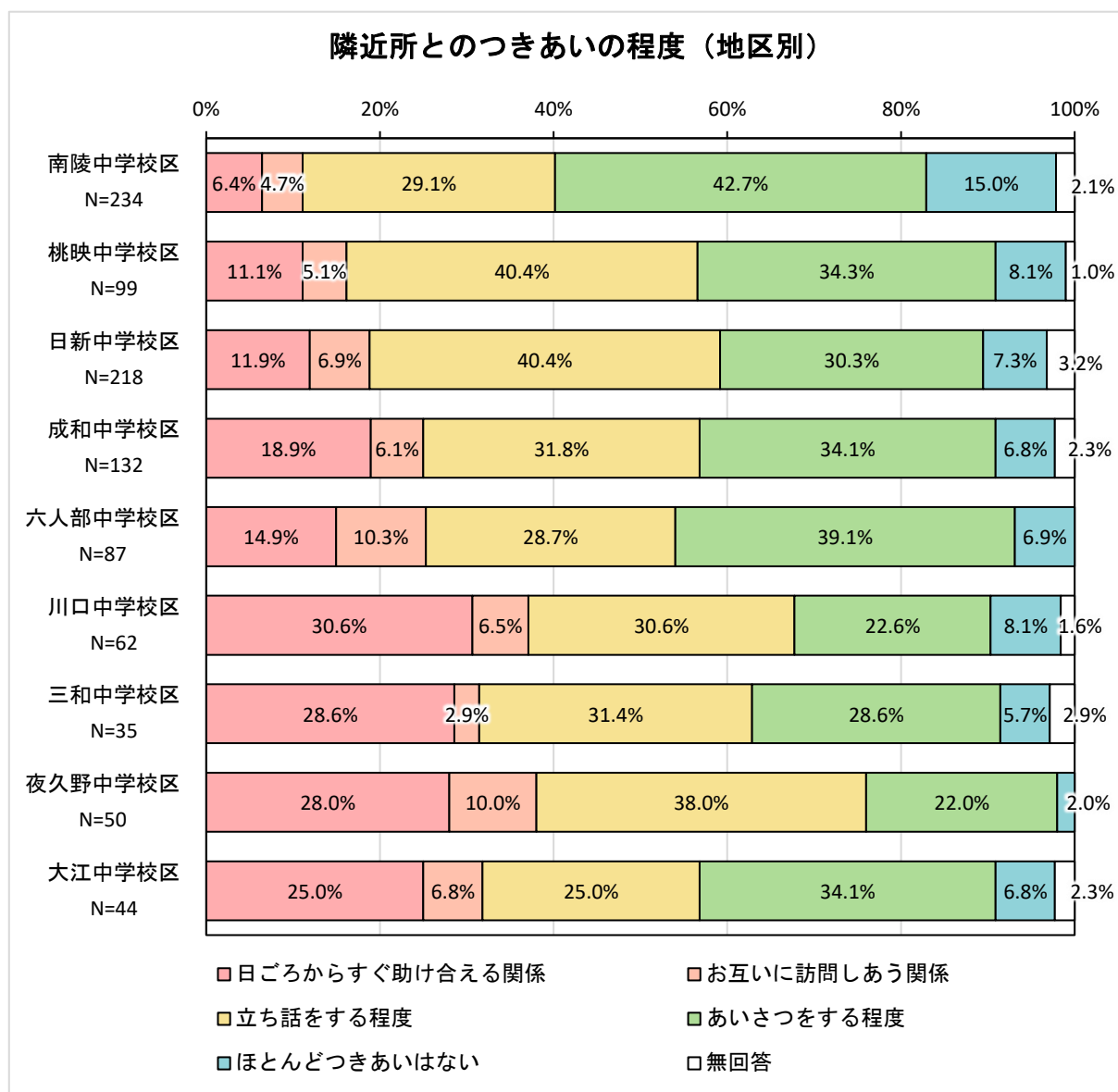


【地区別】

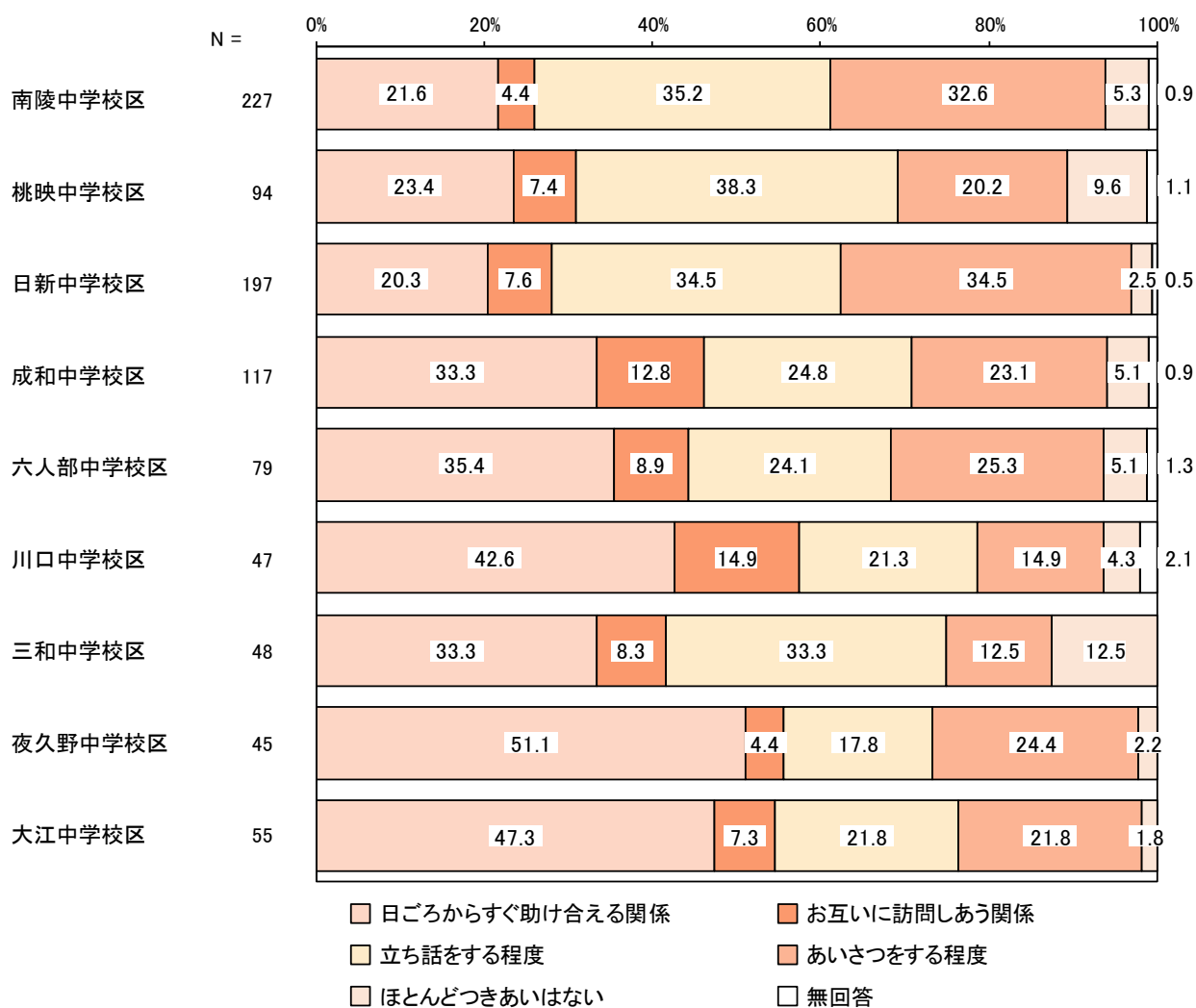
地区別でみると、他に比べ、川口中学校区で「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなっています。また、桃映中学校区、日新中学校区で「立ち話をする程度」、南陵中学校区、六人部中学校区で「あいさつをする程度」の割合が高くなっています。

【地区別にみた前回調査との比較】

前回調査と比較すると、すべての中学校区で「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が減少しています。特に大江中学校区、夜久野中学校区、六人部中学校区では、20 ポイント以上減少しています。

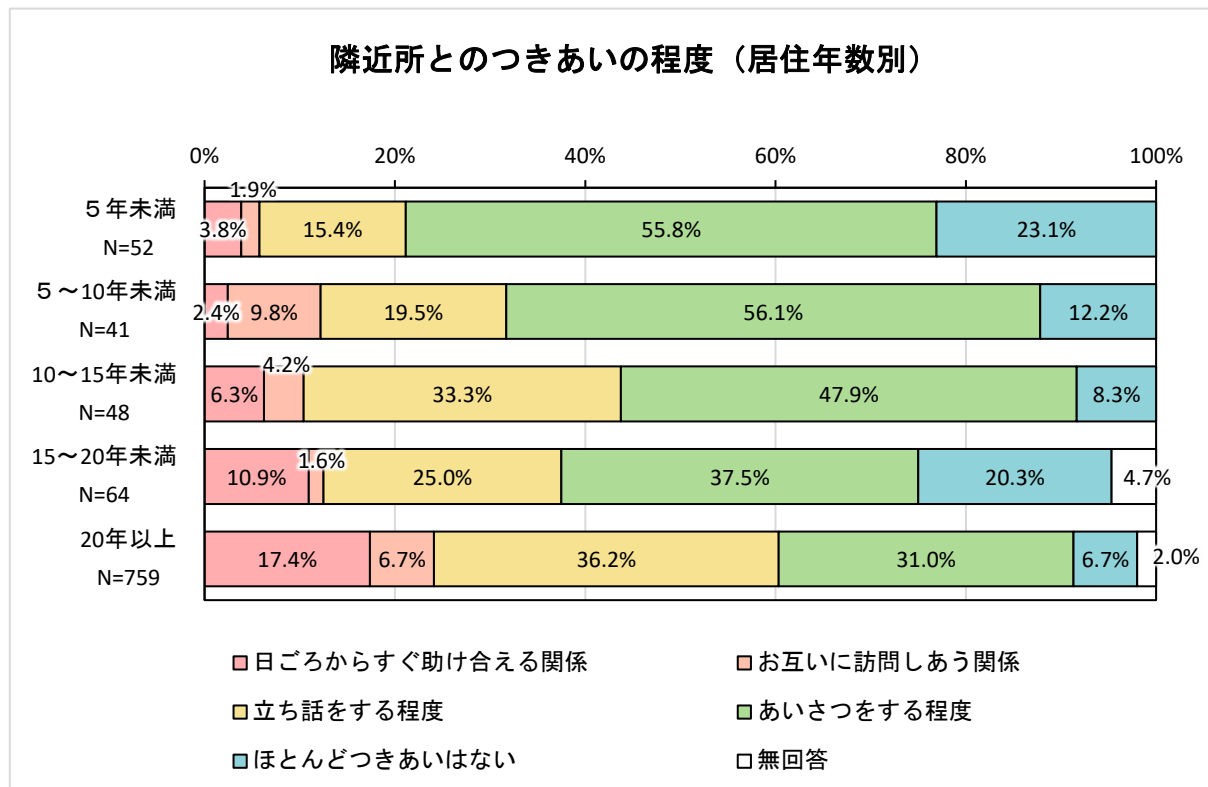


隣近所とのつきあいの程度（地区別 / 前回調査）



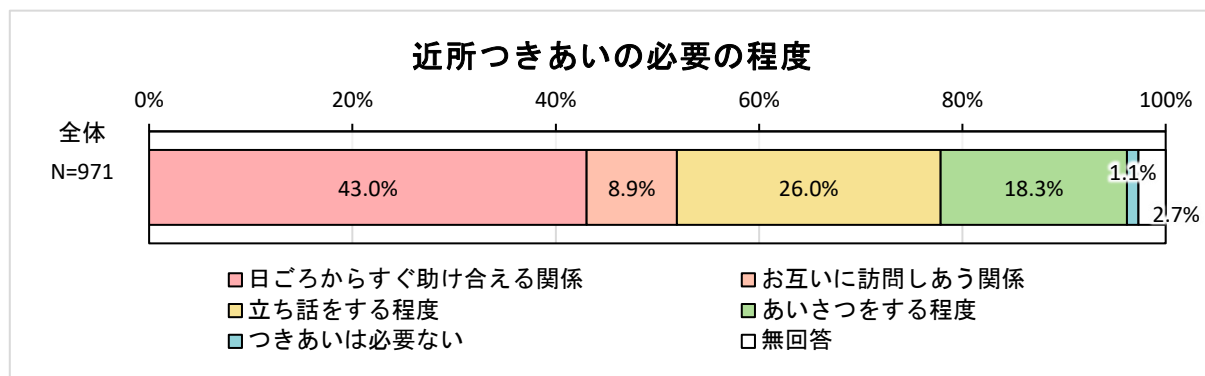
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれて「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなる傾向がみられます。また、5年未満・15～20年未満で「ほとんどつきあいはない」の割合が高くなっています。



問2 住みよいまちづくりに向けて、あなたはどの程度の近所づきあいが必要だと思いますか。(〇は1つ)

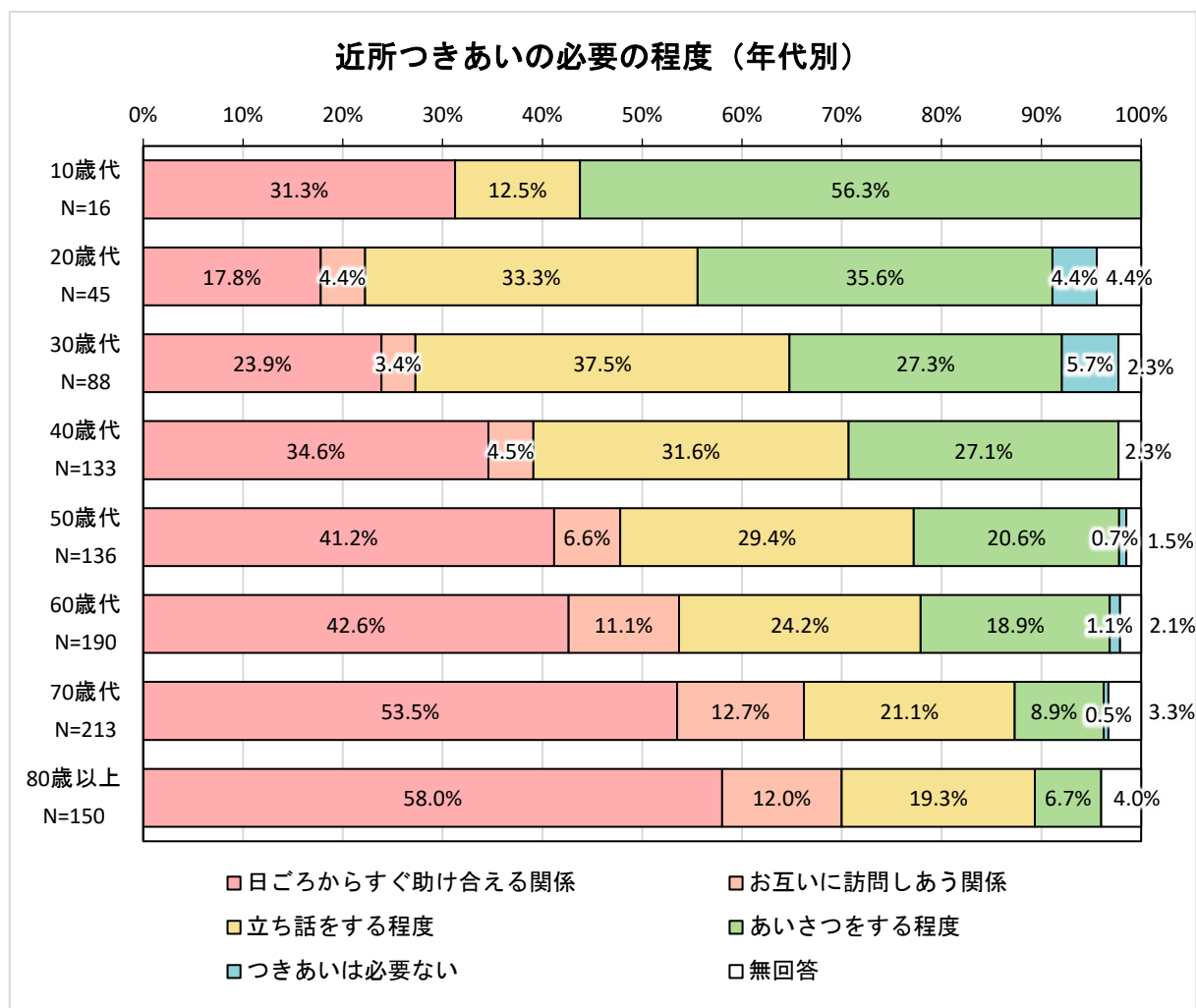
「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が最も高く 43.0%、次いで「立ち話をする程度」の割合が26.0%、「あいさつをする程度」の割合が18.3%となっています。



【年代別】

年代別でみると、10歳代では「あいさつをする程度」の割合が最も多く 56.3%となっています。

20歳代以降では年代が高くなるにつれて「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなる傾向がみられます。

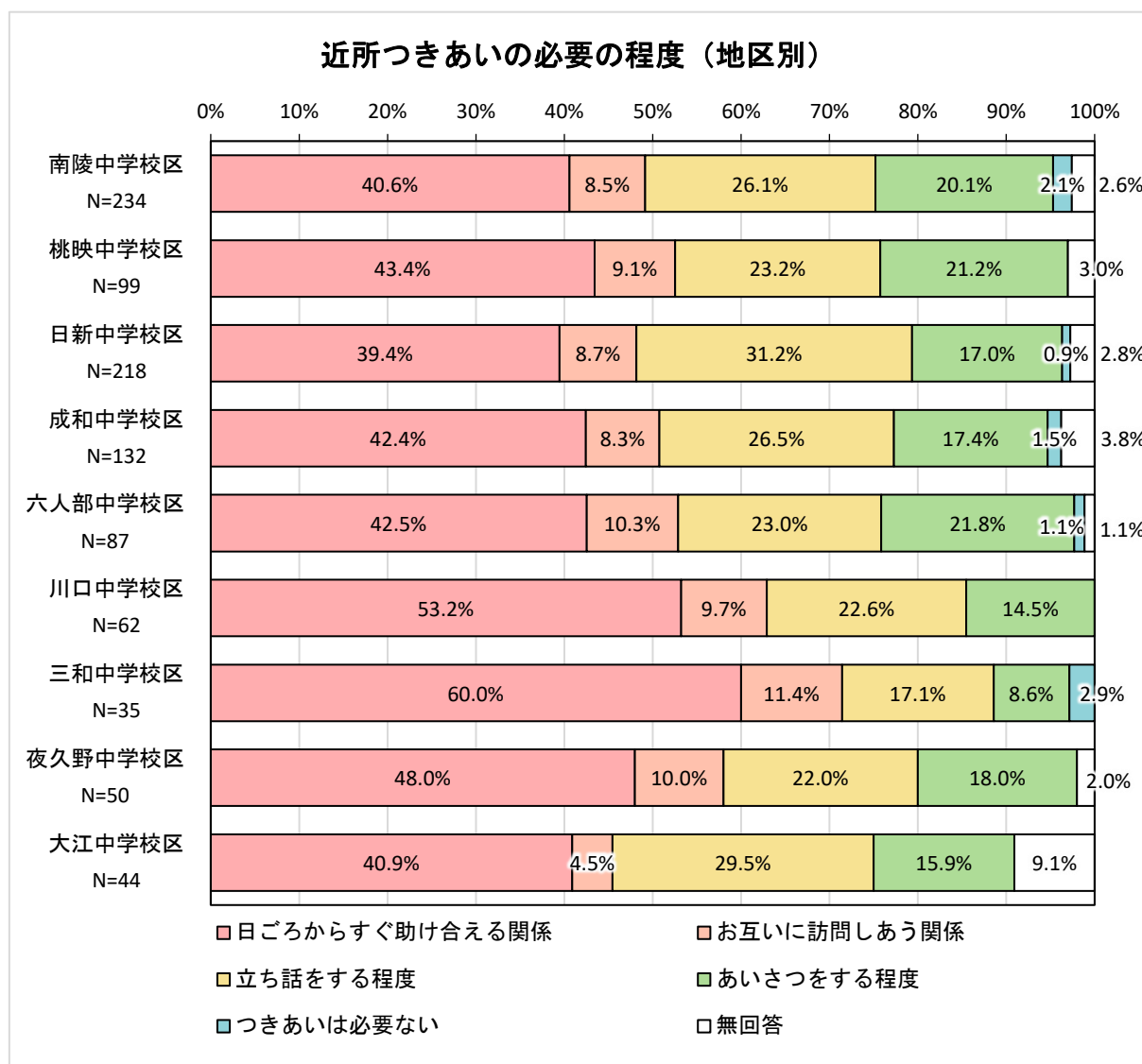


【地区別】

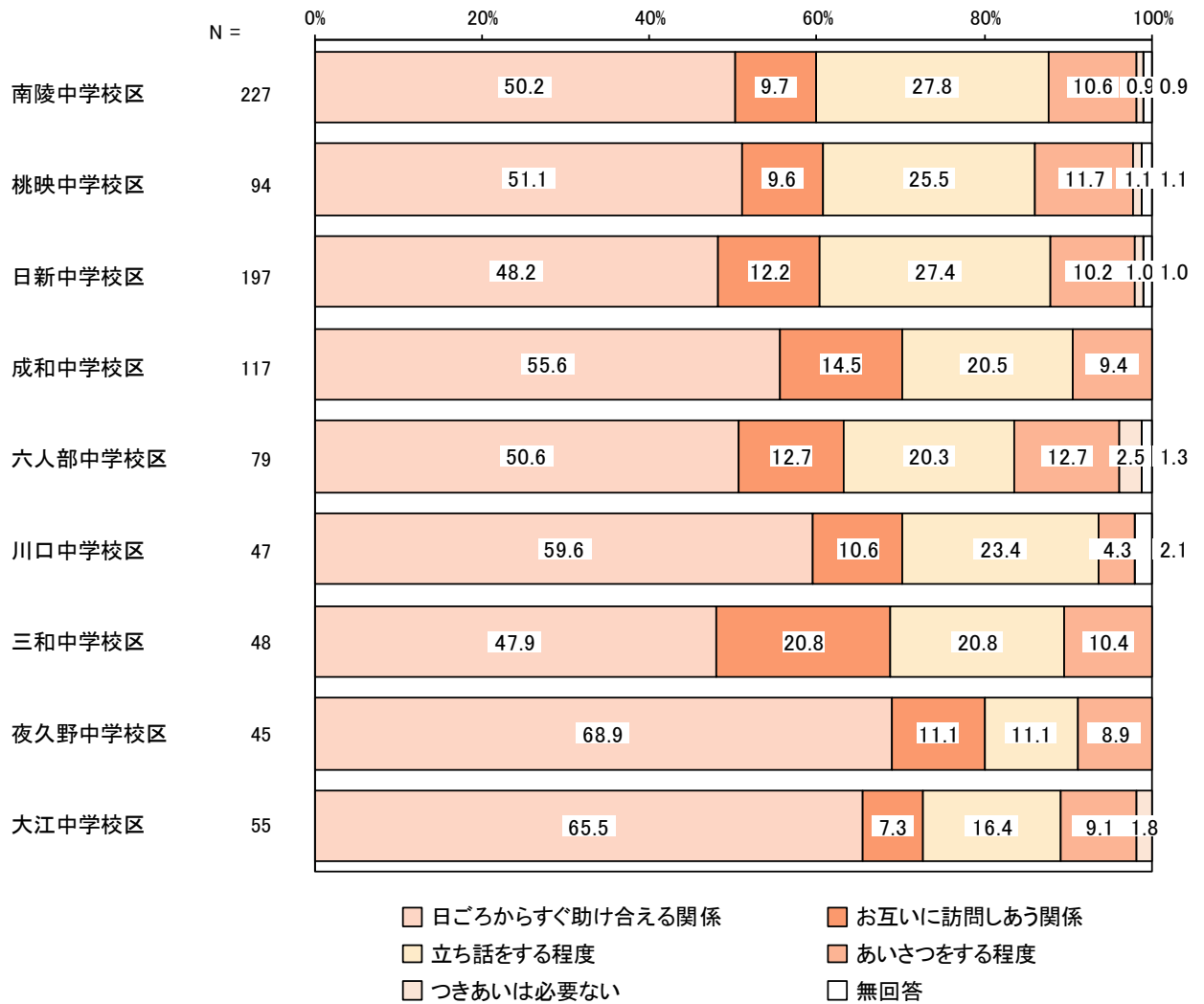
地区別でみると、他に比べ、三和中学校区、川口中学校区で「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなっています。

【地区別にみた前回調査との比較】

前回調査と比較すると、三和中学校区を除くすべての中学校区で「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が減少しています。特に大江中学校区、夜久野中学校区では、20 ポイント以上減少しています。三和中学校区では、10 ポイント以上増加しています。

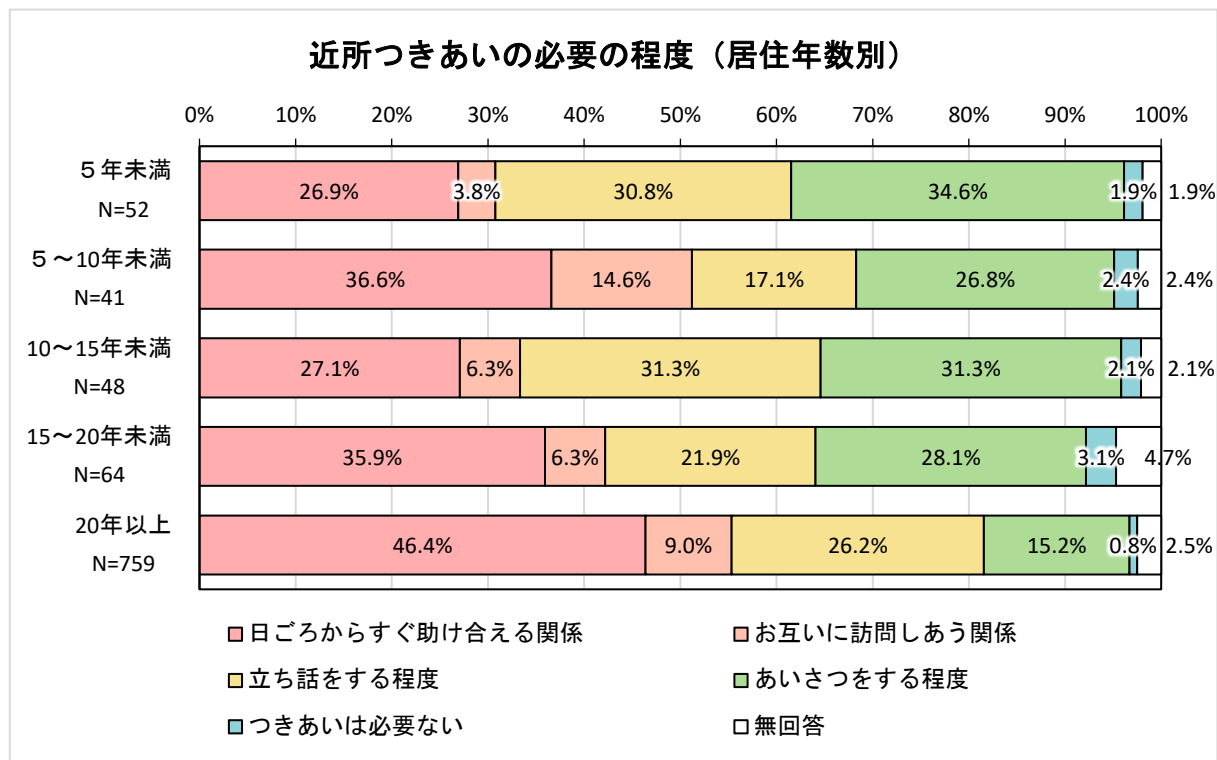


近所つきあいの必要の程度（地区別 / 前回調査）



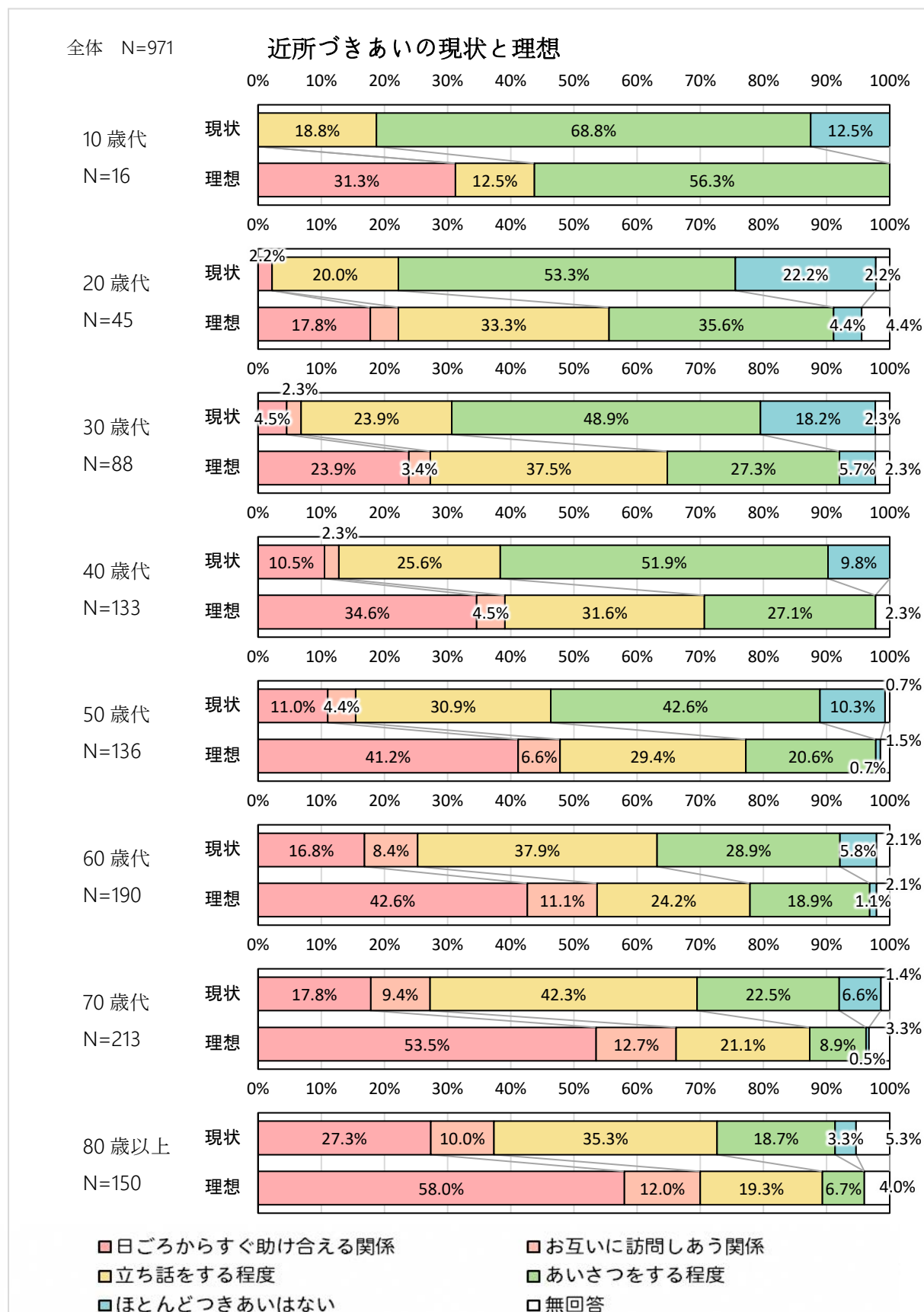
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5～10年未満・20年以上で「日ごろからすぐ助け合える関係」の割合が高くなっています。また、5年未満・10～15年未満で「あいさつをする程度」の割合が高くなっています。



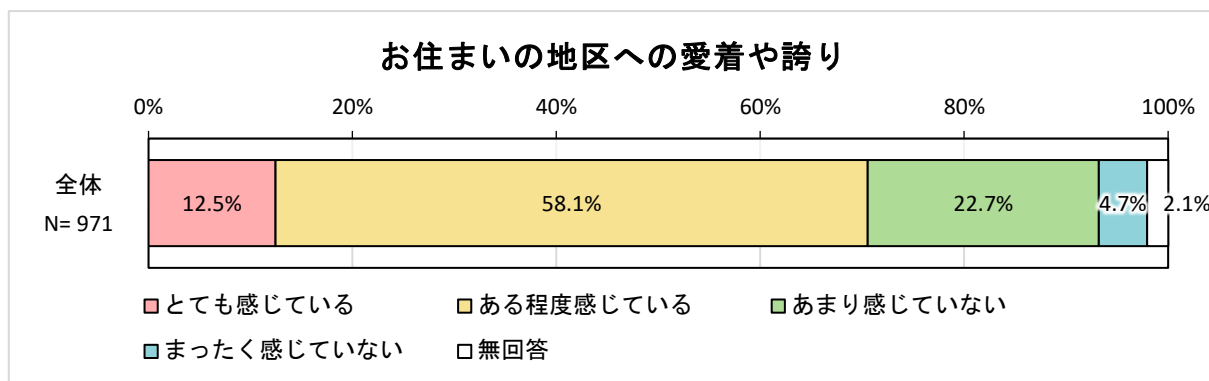
【近所づきあいの現状と理想】

『近所づきあいの現状（隣近所とのつきあいの程度）』と『理想（近所づきあいの必要の程度）』を比較すると、「日ごろからすぐ助け合える関係」については、どの年代でも『現状』より『理想』の割合が高くなっています。



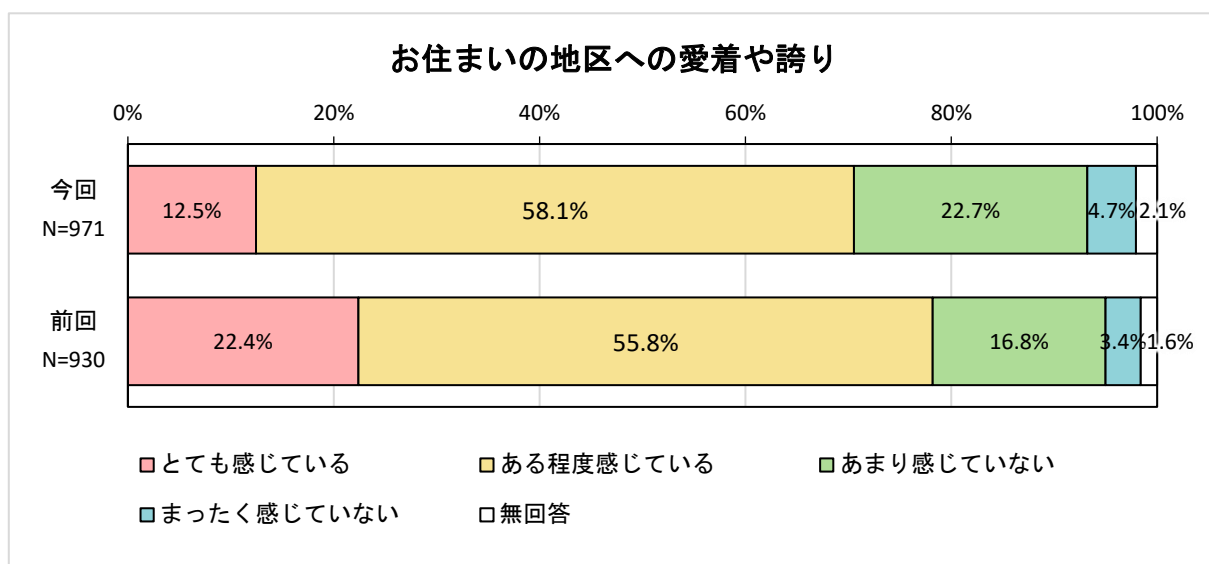
問3 現在お住まいの地区に愛着や誇りを感じていますか。(○は1つ)

「とても感じている (12.5%)」と「ある程度感じている (58.1%)」をあわせた“感じている”の割合が 70.6%、「あまり感じていない (22.7%)」と「まったく感じていない (4.7%)」をあわせた“感じていない”の割合が 27.4%となっています。



【前回調査との比較】

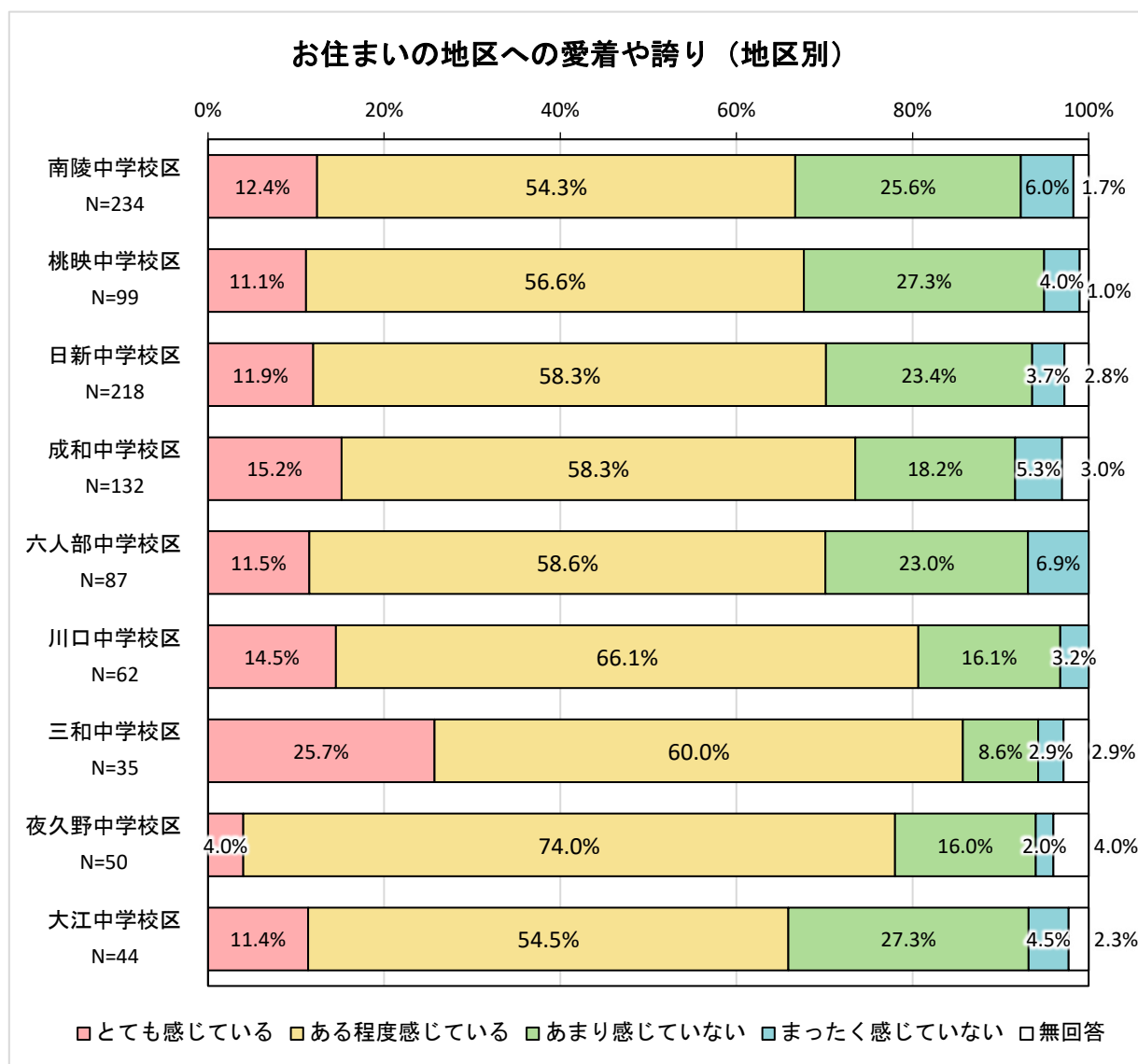
前回調査と比較すると、「とても感じている」が 9.9 ポイント減少 (22.4%→12.5%) しています。また、「あまり感じていない」は、5.9 ポイント増加 (16.8%→22.7%) しています。



【地区別】

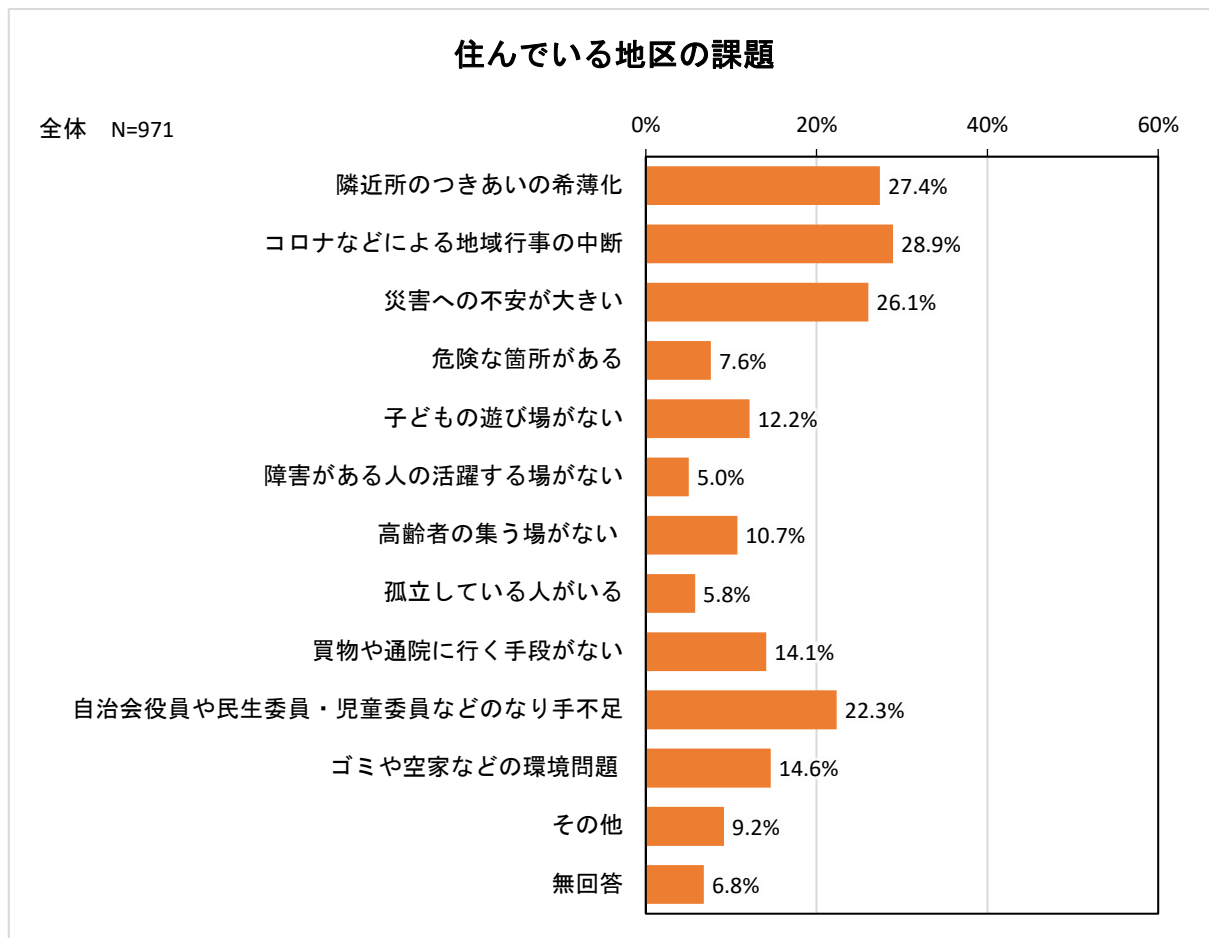
地区別でみると、他に比べ、三和中学校区、川口中学校区では、「とても感じている」と「ある程度感じている」をあわせた“感じている”の割合が高くなっています。

大江中学校区、桃映中学校区、南陵中学校区では、「あまり感じていない」と「まったく感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が高くなっています。



問4 現在お住まいの地域の課題は何だと思いますか。(〇は3つまで)

「コロナなどによる地域行事の中断」の割合が最も高く 28.9%、次いで「隣近所のつきあいの希薄化」の割合が 27.4%、「災害への不安が大きい」の割合が 26.1%となっています。

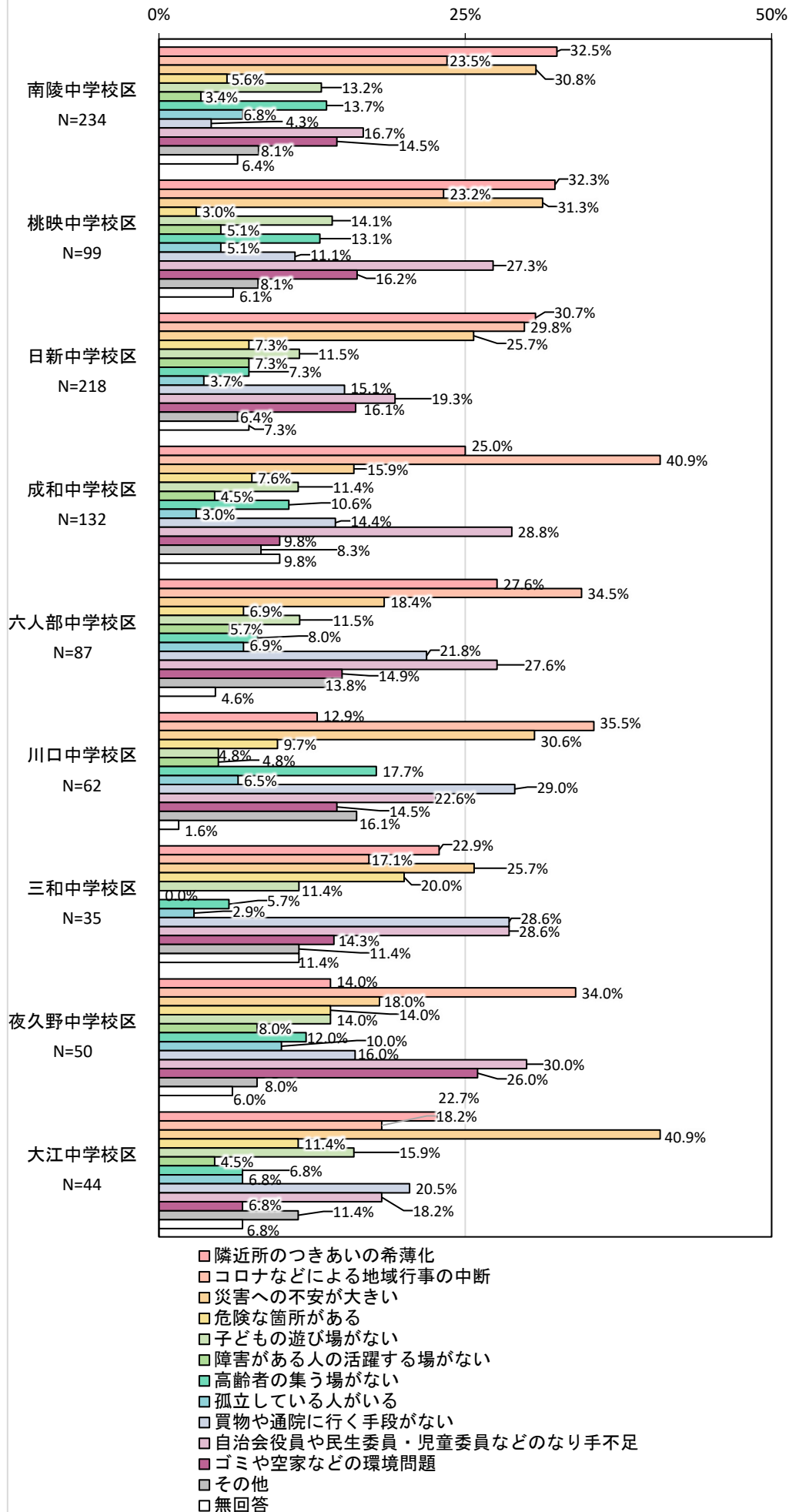


【地区別】

地区別でみると、南陵中学校地区、桃映中学校地区、日新中学校地区では、「隣近所のつきあいの希薄化」の割合が高くなっています。また、成和中学校区、六人部中学校区、川口中学校区、夜久野中学校区では、「コロナなどによる地域行事の中断」の割合が高く、三和中学校地区では、「買物や通院に行く手段がない」、「自治会役員や民生委員・児童委員などのなり手不足」、大江中学校区では、「災害への不安が大きい」の割合が高くなっています。

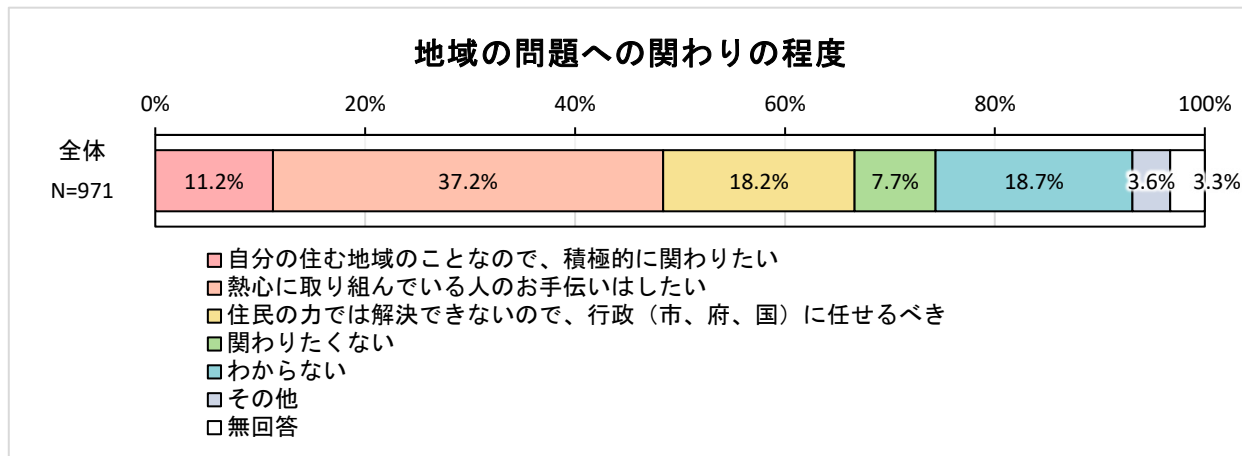
区分	有効回答数(件)	隣近所のつきあいの希薄化	コロナなどによる地域行事の中断	災害への不安が大きい	危険な箇所がある	子どもの遊び場がない	障害がある人の活躍する場がない	高齢者の集う場がない	孤立している人がいる	買物や通院に行く手段がない	自治会役員や民生委員・児童委員などのなり手不足	ゴミや空家などの環境問題	その他	無回答
全体	971	27.4%	28.9%	26.1%	7.6%	12.2%	5.0%	10.7%	5.8%	14.1%	22.3%	14.6%	9.2%	6.8%
南陵中学校地区	234	32.5%	23.5%	30.8%	5.6%	13.2%	3.4%	13.7%	6.8%	4.3%	16.7%	14.5%	8.1%	6.4%
桃映中学校地区	99	32.3%	23.2%	31.3%	3.0%	14.1%	5.1%	13.1%	5.1%	11.1%	27.3%	16.2%	8.1%	6.1%
日新中学校地区	218	30.7%	29.8%	25.7%	7.3%	11.5%	7.3%	7.3%	3.7%	15.1%	19.3%	16.1%	6.4%	7.3%
成和中学校地区	132	25.0%	40.9%	15.9%	7.6%	11.4%	4.5%	10.6%	3.0%	14.4%	28.8%	9.8%	8.3%	9.8%
六人部中学校地区	87	27.6%	34.5%	18.4%	6.9%	11.5%	5.7%	8.0%	6.9%	21.8%	27.6%	14.9%	13.8%	4.6%
川口中学校地区	62	12.9%	35.5%	30.6%	9.7%	4.8%	4.8%	17.7%	6.5%	29.0%	22.6%	14.5%	16.1%	1.6%
三和中学校地区	35	22.9%	17.1%	25.7%	20.0%	11.4%	0.0%	5.7%	2.9%	28.6%	28.6%	14.3%	11.4%	11.4%
夜久野中学校地区	50	14.0%	34.0%	18.0%	14.0%	14.0%	8.0%	12.0%	10.0%	16.0%	30.0%	26.0%	8.0%	6.0%
大江中学校地区	44	22.7%	18.2%	40.9%	11.4%	15.9%	4.5%	6.8%	6.8%	20.5%	18.2%	6.8%	11.4%	6.8%

住んでいる地区の課題（地区別）



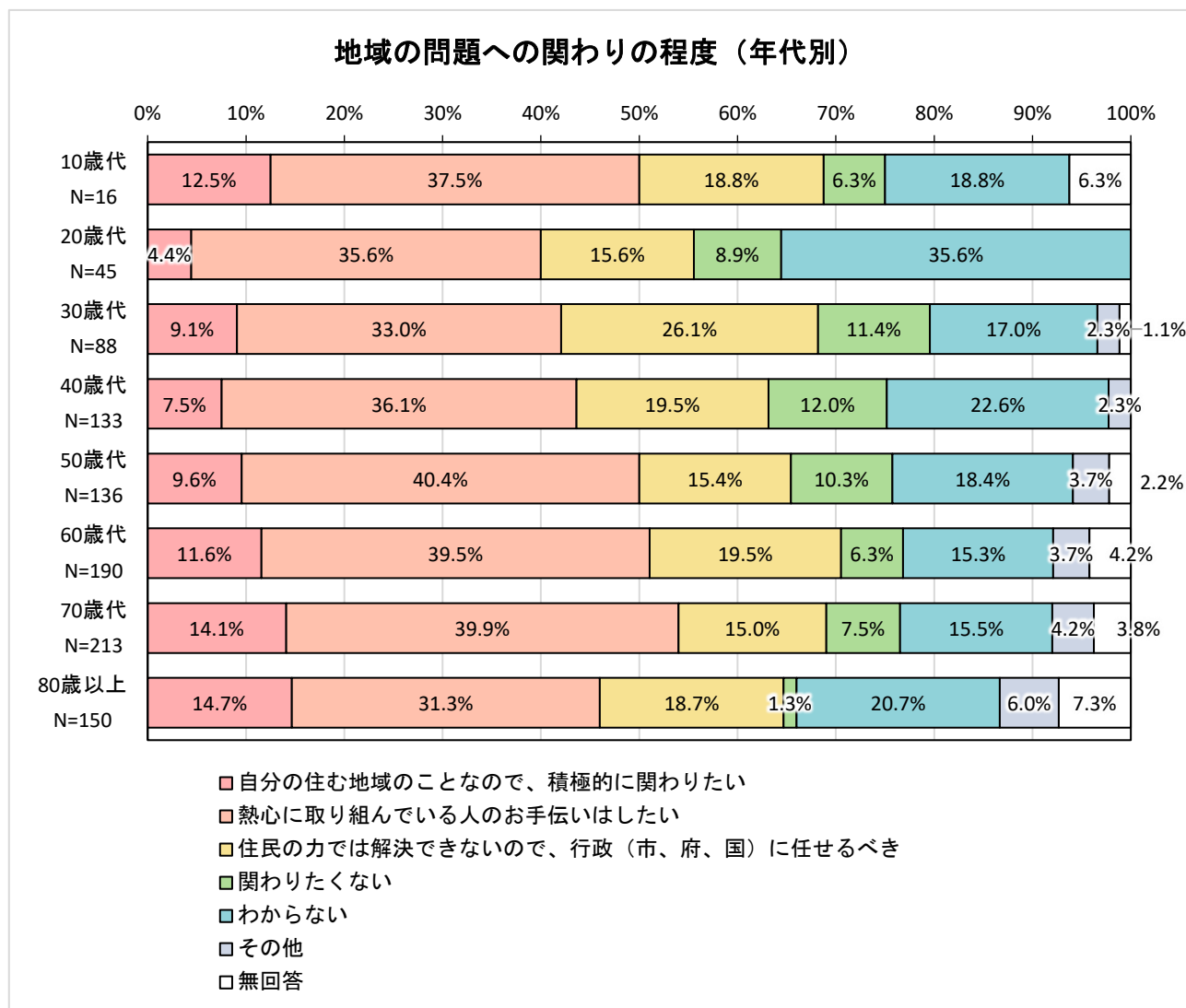
問5 自分たちの生活に関わる地域の問題に、あなた自身はどの程度関わるべきだと思いますか。(〇は1つ)

「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が37.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が18.7%、「住民の力では解決できないので、行政（市、府、国）に任せるべき」の割合が18.2%となっています。



【年代別】

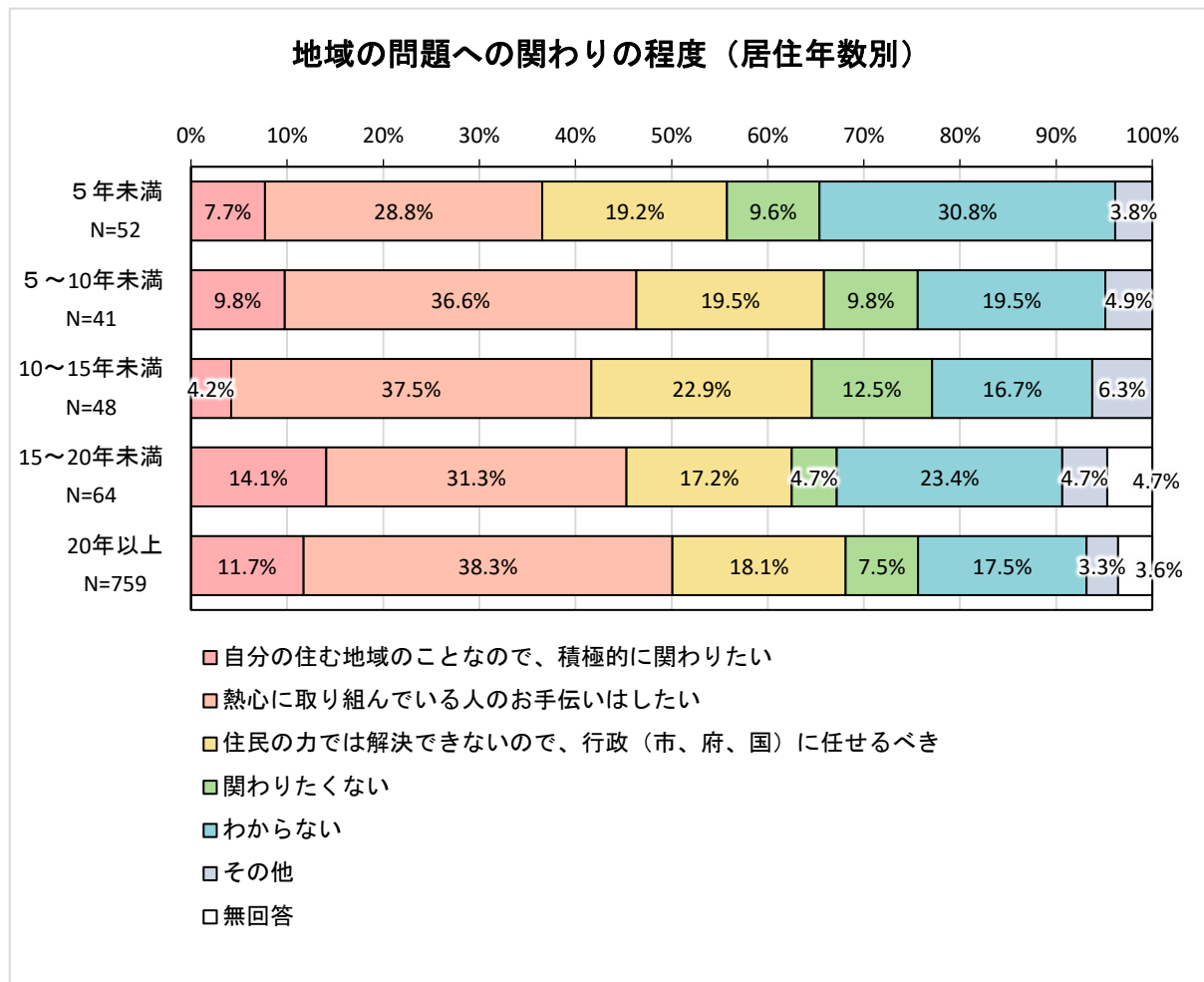
年代別でみると、どの年代でも「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が高くなっています。また、20歳代では他に比べ、「わからない」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10～15 年未満で「自分の住む地域のことなので、積極的に関わりたい」の割合が低くなっています。また、「関わりたくない」の割合が高くなっています。

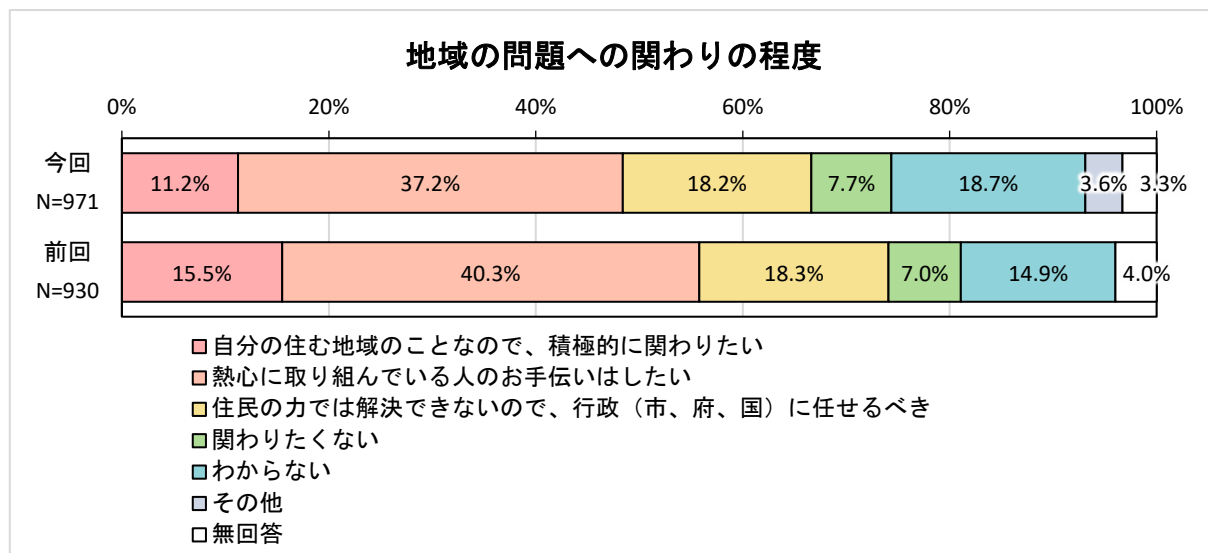
5 年未満で「わからない」の割合が高くなっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「自分の住む地域のことなので、積極的に関わりたい」・「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が減少し、「わからない」の割合が増加しています。

前回調査になかった「その他」については、高齢や体力的、生活上の問題から関わるのが難しいと捉えているご意見が見られました。



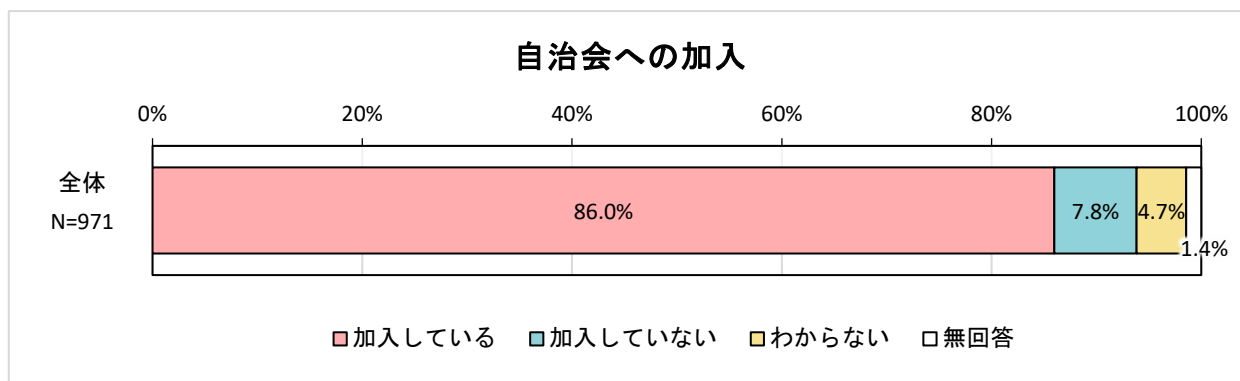
<その他のご意見>

- ・ 自分のできる範囲で関わりたい
- ・ 高齢の為、関われない
- ・ 高齢のため
- ・ 高齢のため無理
- ・ 高齢でなにもできない
- ・ 年齢的にあまり関わらない
- ・ 体力的に関わるのは無理
- ・ 体調不良の為、参加することが少なくなっている
- ・ 歩行不能のため何も出来ない
- ・ 忘れっぽくなっているのであまり無責任に入れないと考えている
- ・ 例えば、現在療養中の私としては回答しようがない
健全な時代は積極的にあらゆる分野で関わってきたつもりである
- ・ 自宅で親の介護をしている人は積極的に関われない
- ・ 今は自分の生活、親の介護で精一杯
- ・ 生活することで精一杯で関われない
- ・ 今していることで精一杯。それ以上の時間はとれない
- ・ 仕事もあると長時間で何年にも渡って関わるのは難しいので、地域の皆で関心を持って協力して関わっていただくが必要だと思う
- ・ 既に充分に取り組んできた
- ・ アパート暮らしなので
- ・ 最低限の地域に必要なことは関わっていく
- ・ 近所と不仲になるので言い出さない
- ・ 関わるにしても協力する他の人達の土壌こそ必要
- ・ 個人情報があるので難しい
- ・ 必要とされることについて
- ・ 消極的人間なので積極的には関われないが誘われると手伝う感じです
- ・ 手伝える時間があれば手伝いたい
- ・ ある程度は協力したい
- ・ 必要な事には関わる
- ・ 1, 2, 3, 4 どれも正解だし、不正解でもある
- ・ 転勤族の為ノーコメント

問6 あなたは自治会に加入していますか。(○は1つ)

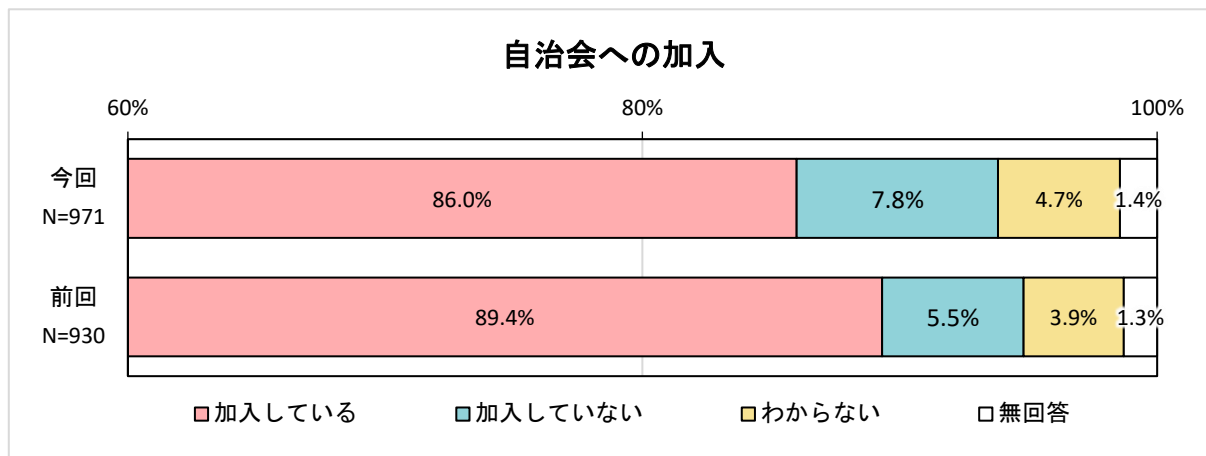
※F7

「加入している」の割合が86.0%と最も高くなっています。



【前回調査との比較】

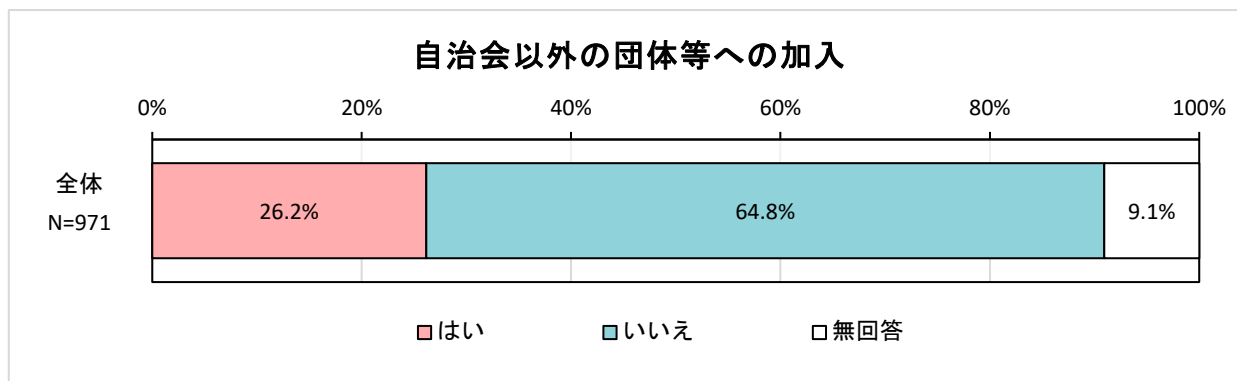
前回調査と同様の傾向がみられます。



問7 自治会活動以外で、地域で活動を行う組織・団体に参加していますか。(〇は1つ)

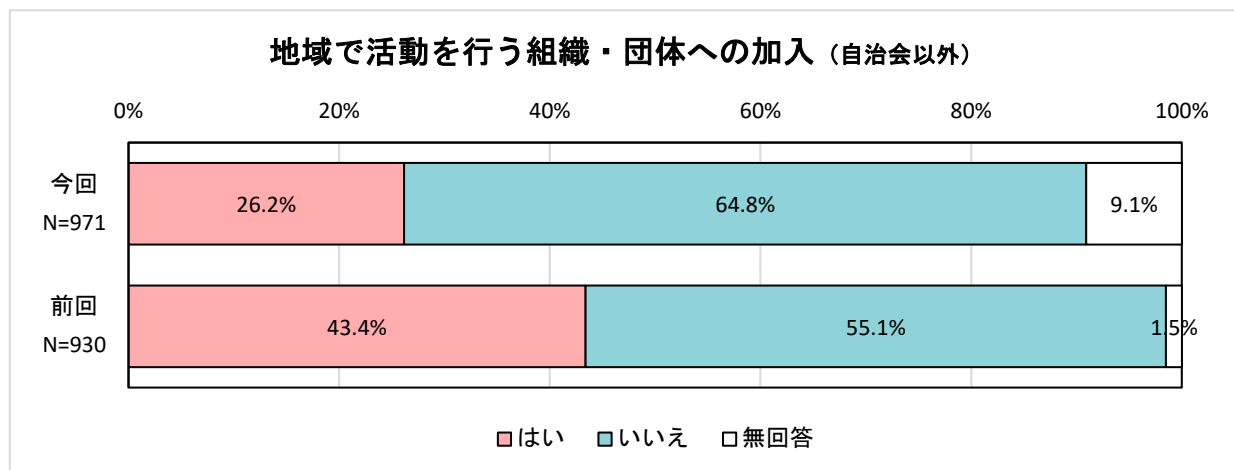
※問4（類似）

「はい」の割合が26.2%、「いいえ」の割合が64.8%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「はい」の割合が17.2ポイント減少しています(43.4%→26.2%)。また、「いいえ」の割合は、9.7ポイント増加しています(55.1%→64.8%)。

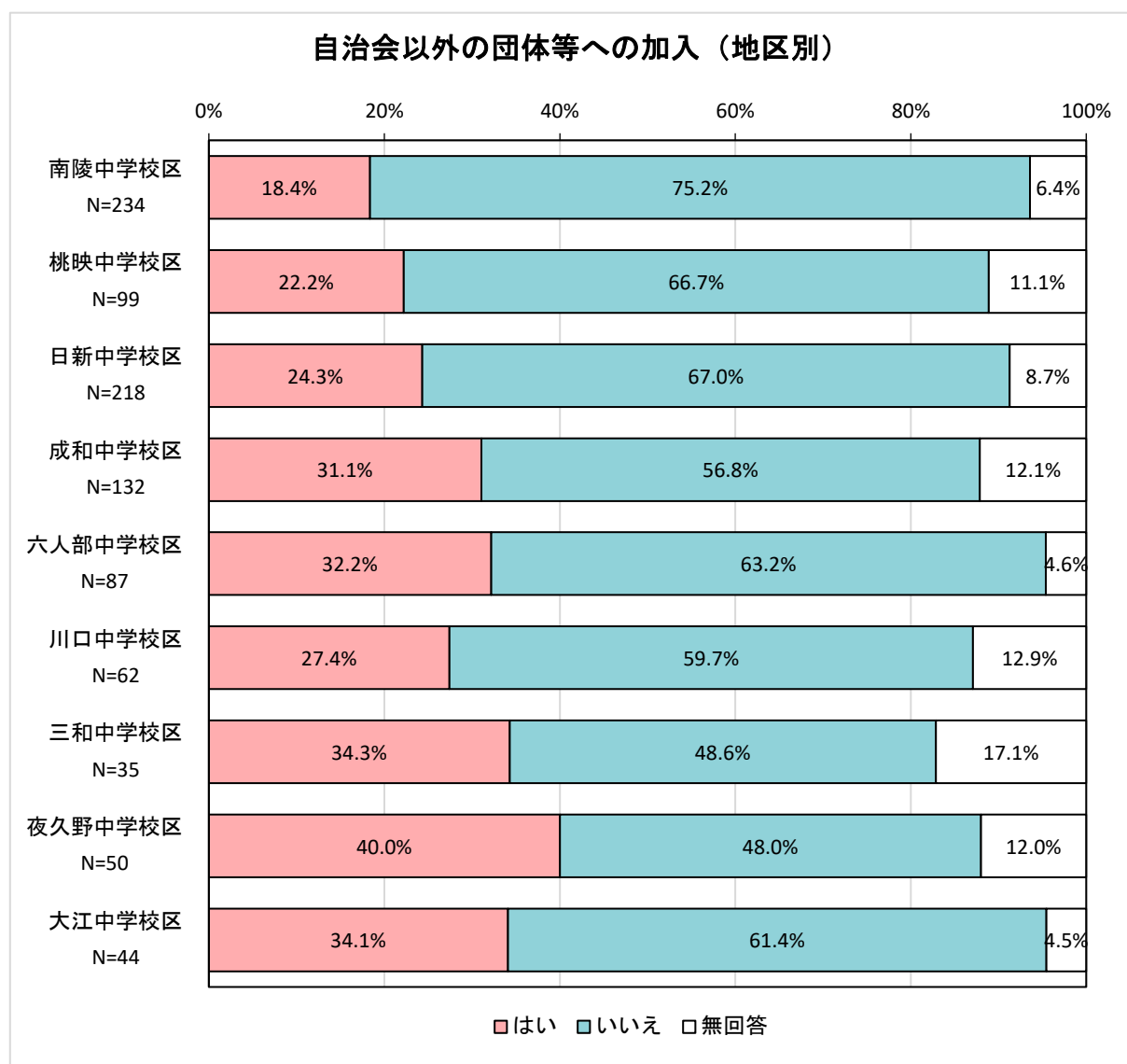


【地区別】

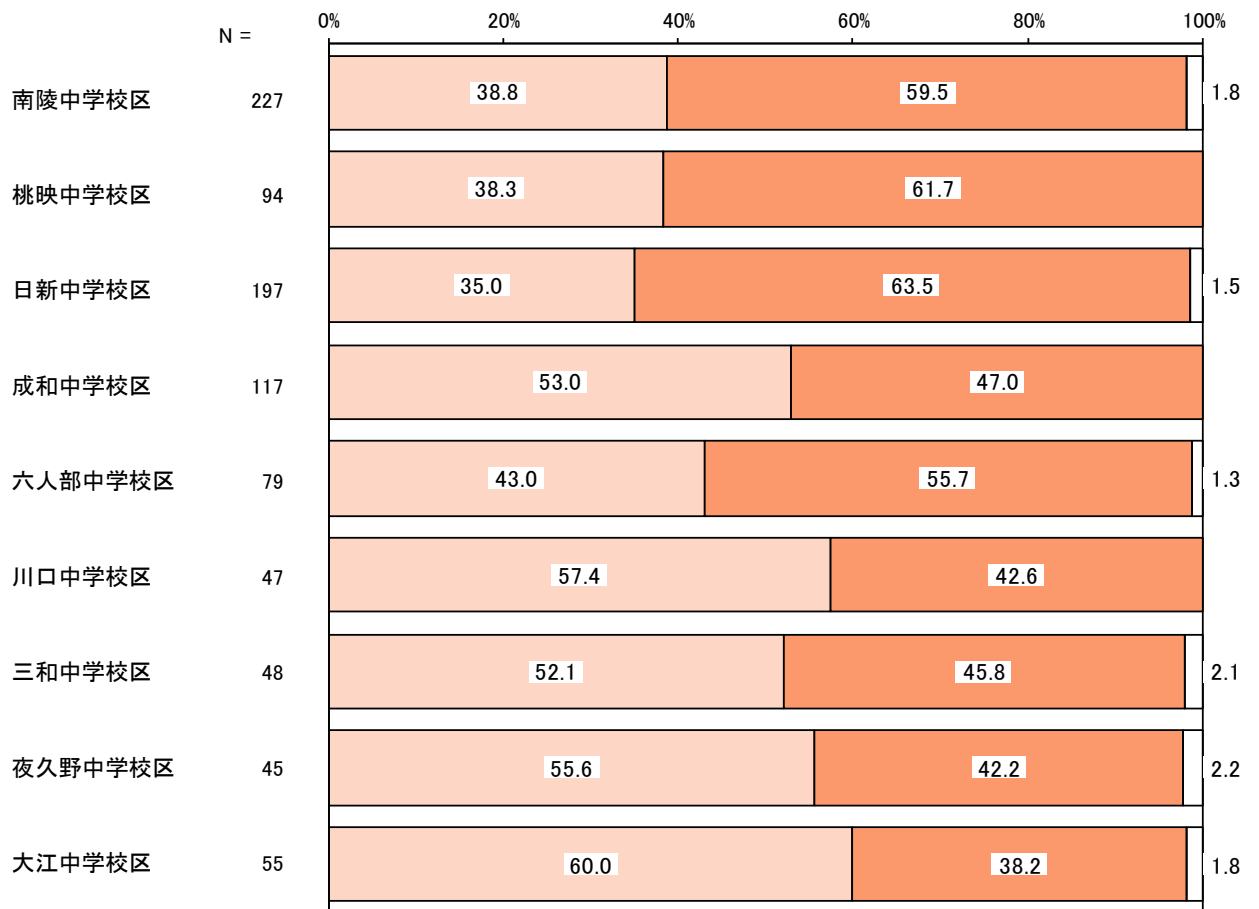
地区別でみると、他に比べ、夜久野中学校区、三和中学校区、大江中学校区、六人部中学校区、成和中学校区で「はい」の割合が高くなっています。

【地区別にみた前回調査との比較】

前回調査と比較すると、すべての中学校区で「はい」の割合が減少しています。特に川口中中学校区では、30ポイント、大江中学校区、南陵中学校区では20ポイント以上減少しています。一方、大江中学校区では、「いいえ」が20ポイント以上増加しています。



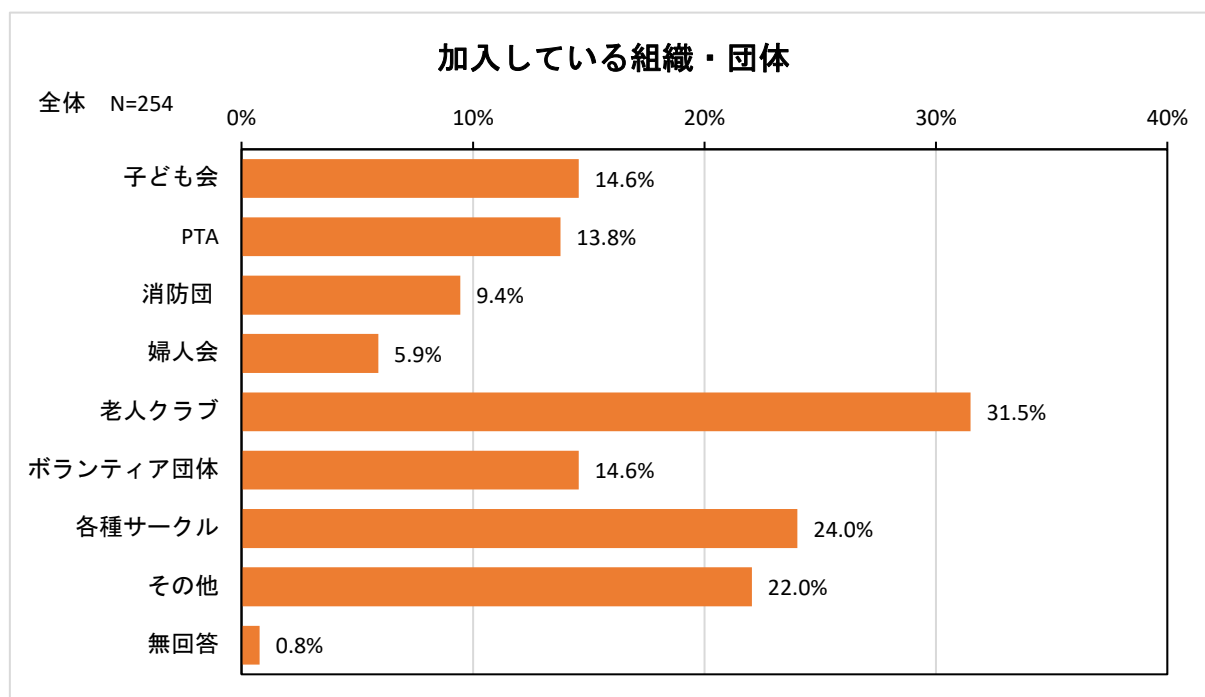
自治会以外の団体等への加入（地区別 / 前回調査）



◆問7で「1. はい」と回答した方におうかがいします。

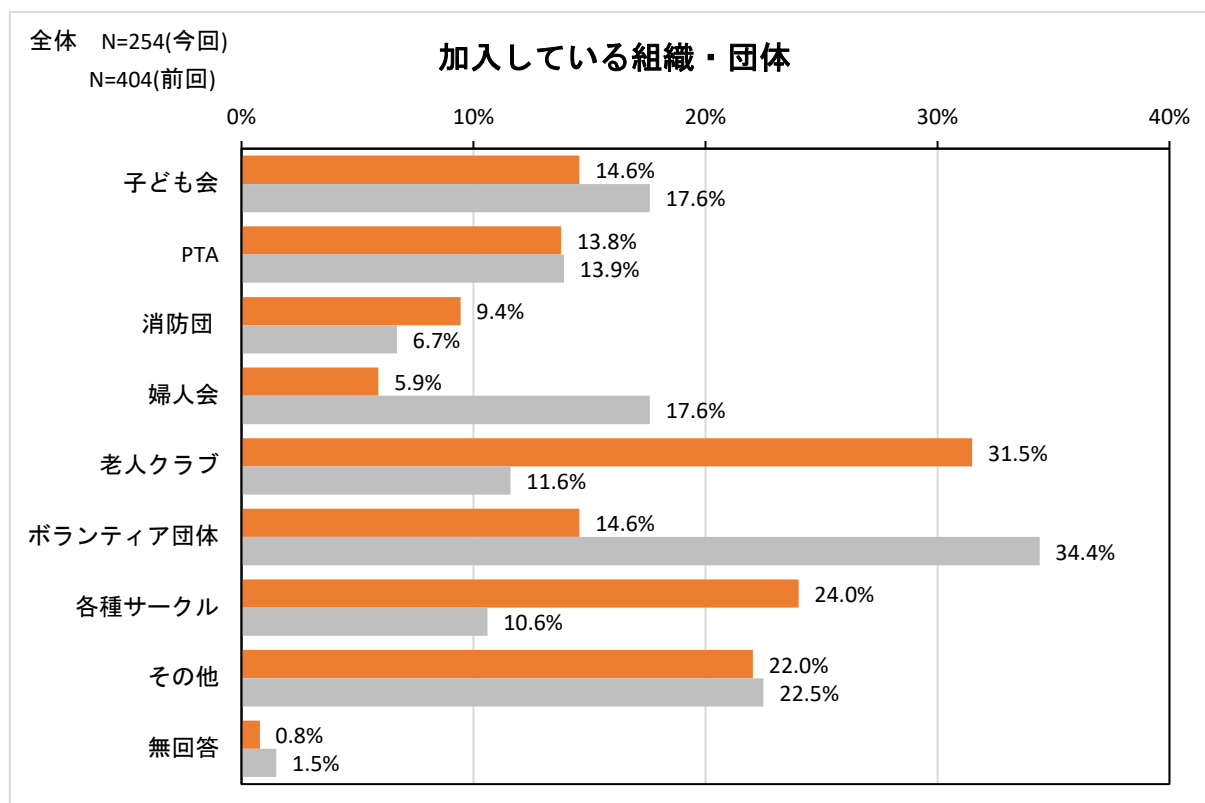
問7-1 加入している組織・団体は何ですか。(該当するものすべてに○)

「老人クラブ」の割合が最も高く31.5%、次いで「各種サークル」の割合が24.0%、「その他」の割合が22.0%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「老人クラブ」の割合が19.9ポイント(11.6%→31.5%)、「各種サークル」の割合が13.4ポイント(10.6%→24.0%)増加しています。また、「ボランティア団体」の割合が19.8ポイント(34.4%→14.6%)、婦人会の割合が11.7ポイント(17.6%→5.9%)減少しています。

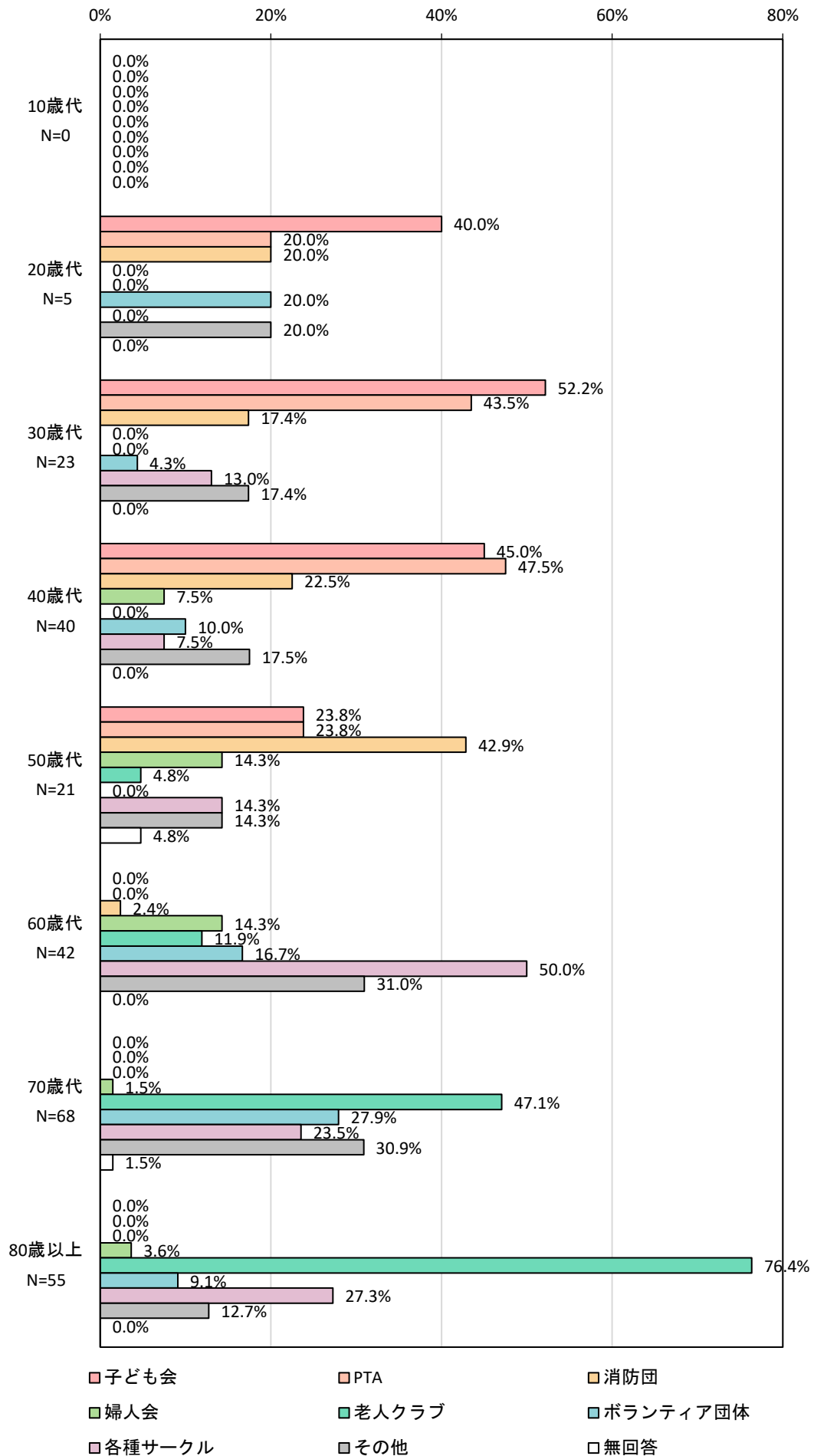


【年代別】

年代別でみると、10 歳代では加入者はいませんでした。また、他に比べて 30 歳代で「子ども会」、60 歳代で「各種サークル」、80 歳以上で「老人クラブ」の割合が高くなっています。

区分	有効回答数 (件)	子ども会	P T A	消防団	婦人会	老人クラブ	ボランティア団体	各種サークル	その他	無回答
全体	254	14.6%	13.8%	9.4%	5.9%	31.5%	14.6%	24.0%	22.0%	0.8%
10 歳代	0									
20 歳代	5	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
30 歳代	23	52.2%	43.5%	17.4%	0.0%	0.0%	4.3%	13.0%	17.4%	0.0%
40 歳代	40	45.0%	47.5%	22.5%	7.5%	0.0%	10.0%	7.5%	17.5%	0.0%
50 歳代	21	23.8%	23.8%	42.9%	14.3%	4.8%	0.0%	14.3%	14.3%	4.8%
60 歳代	42	0.0%	0.0%	2.4%	14.3%	11.9%	16.7%	50.0%	31.0%	0.0%
70 歳代	68	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	47.1%	27.9%	23.5%	30.9%	1.5%
80 歳以上	55	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	76.4%	9.1%	27.3%	12.7%	0.0%

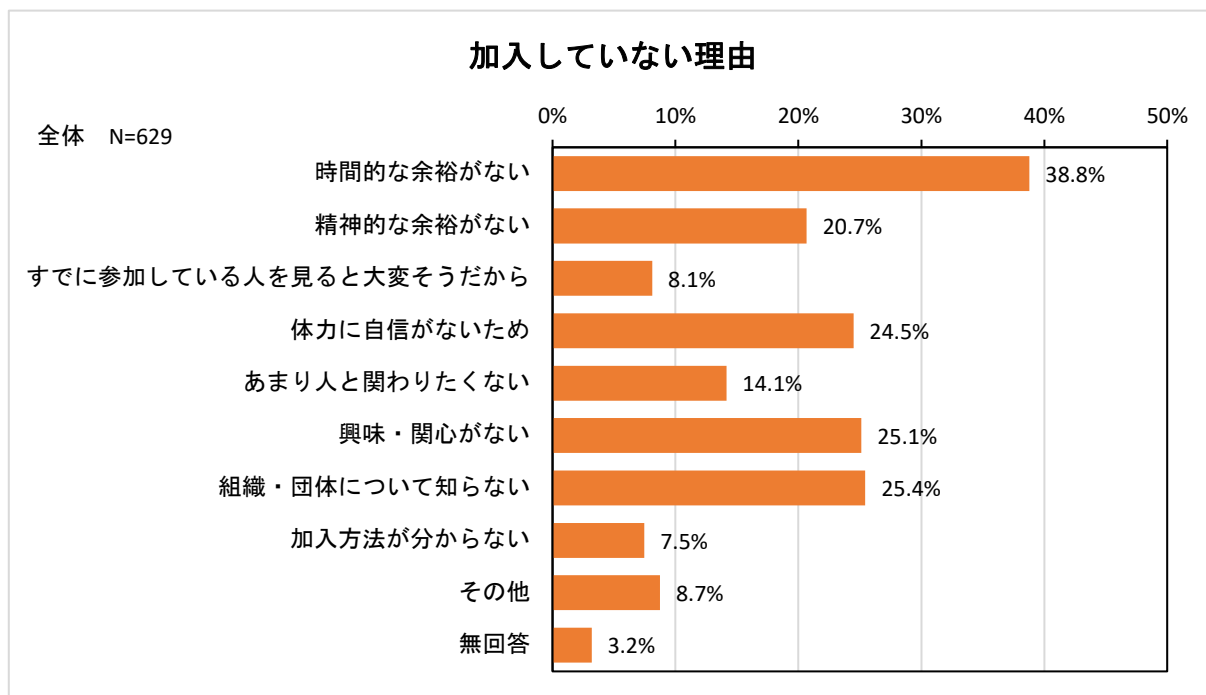
加入している組織・団体（年代別）



◆問7で「2. いいえ」と回答した方におうかがいします。

問7-2 加入していない理由は何ですか。(該当するものすべてに○)

「時間的な余裕がない」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「組織・団体について知らない」の割合が 25.4%、「興味・関心がない」の割合が 25.1%となっています。

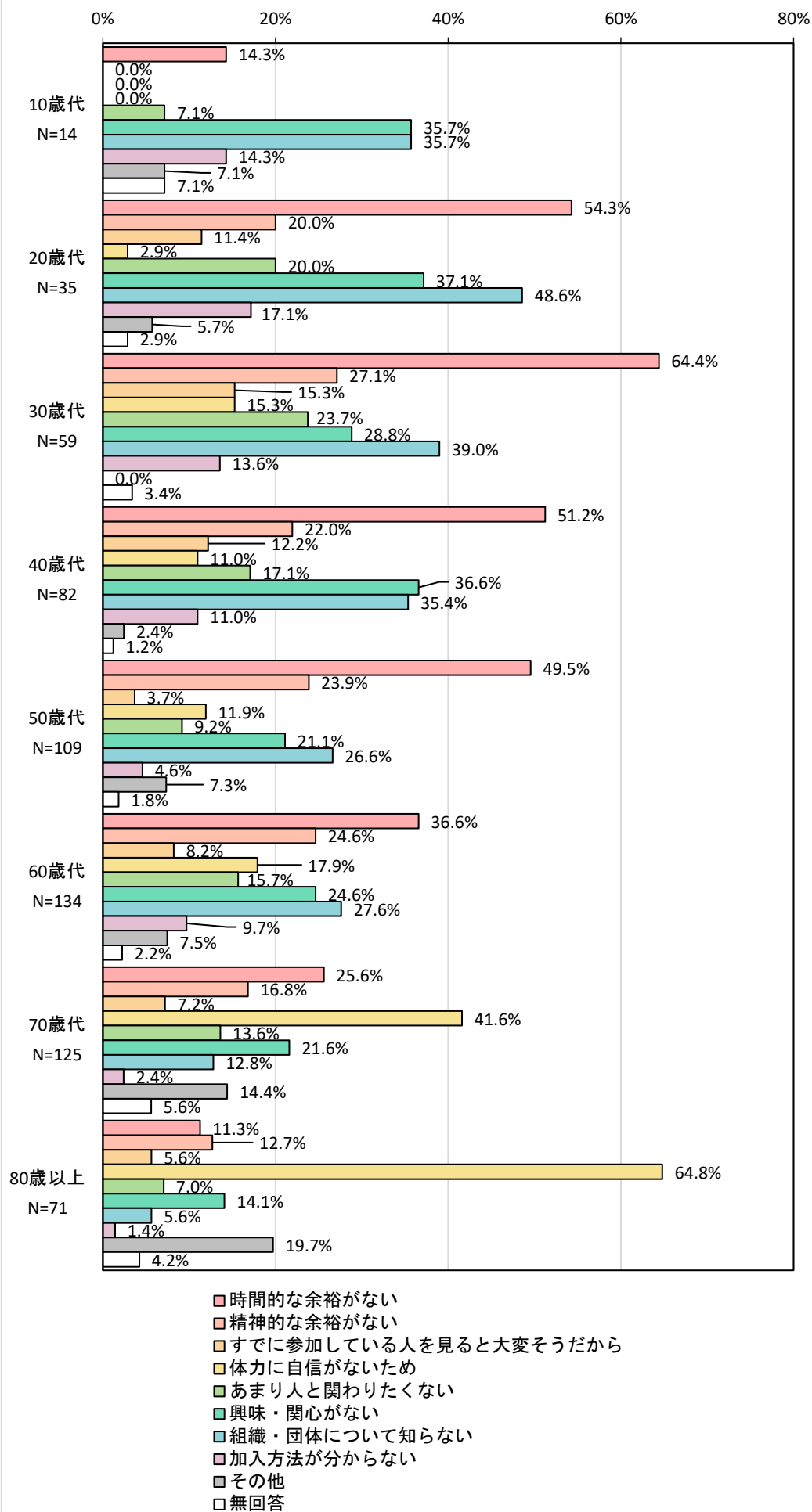


【年代別】

年代別でみると、20 歳代～40 歳代では「時間的な余裕がない」の割合が高く、80 歳以上では「体力に自信がないため」の割合が高くなっています。

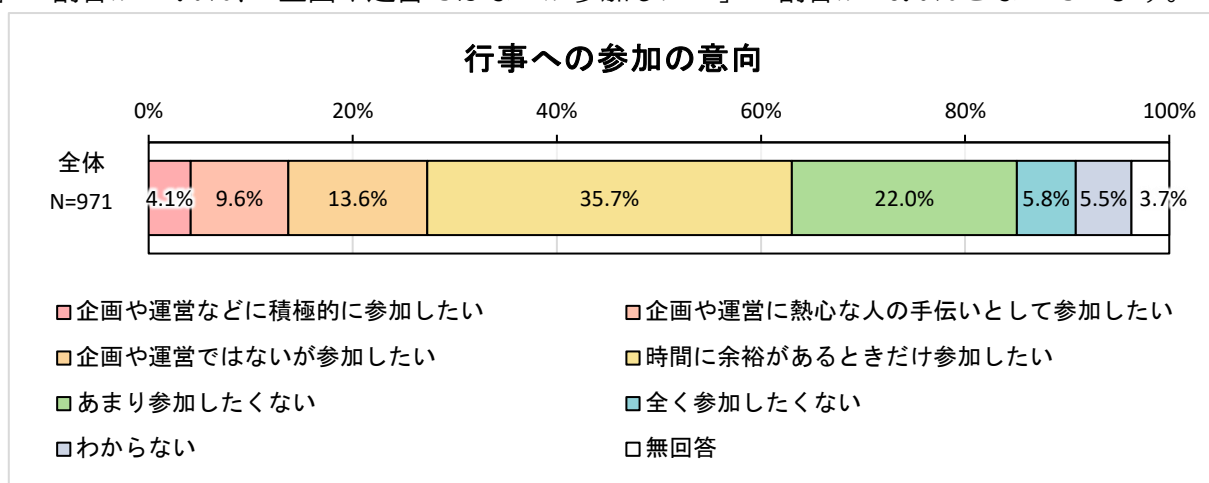
区分	有効回答数(件)	時間的な余裕がない	精神的な余裕がない	すでに参加している人を見ると大変そうだから	体力に自信がないため	あまり人と関わりたくない	興味・関心がない	組織・団体について知らない	加入方法が分からない	その他	無回答
全体	629	38.8%	20.7%	8.1%	24.5%	14.1%	25.1%	25.4%	7.5%	8.7%	3.2%
10 歳代	14	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	35.7%	35.7%	14.3%	7.1%	7.1%
20 歳代	35	54.3%	20.0%	11.4%	2.9%	20.0%	37.1%	48.6%	17.1%	5.7%	2.9%
30 歳代	59	64.4%	27.1%	15.3%	15.3%	23.7%	28.8%	39.0%	13.6%	0.0%	3.4%
40 歳代	82	51.2%	22.0%	12.2%	11.0%	17.1%	36.6%	35.4%	11.0%	2.4%	1.2%
50 歳代	109	49.5%	23.9%	3.7%	11.9%	9.2%	21.1%	26.6%	4.6%	7.3%	1.8%
60 歳代	134	36.6%	24.6%	8.2%	17.9%	15.7%	24.6%	27.6%	9.7%	7.5%	2.2%
70 歳代	125	25.6%	16.8%	7.2%	41.6%	13.6%	21.6%	12.8%	2.4%	14.4%	5.6%
80 歳以上	71	11.3%	12.7%	5.6%	64.8%	7.0%	14.1%	5.6%	1.4%	19.7%	4.2%

加入していない理由（年代別）



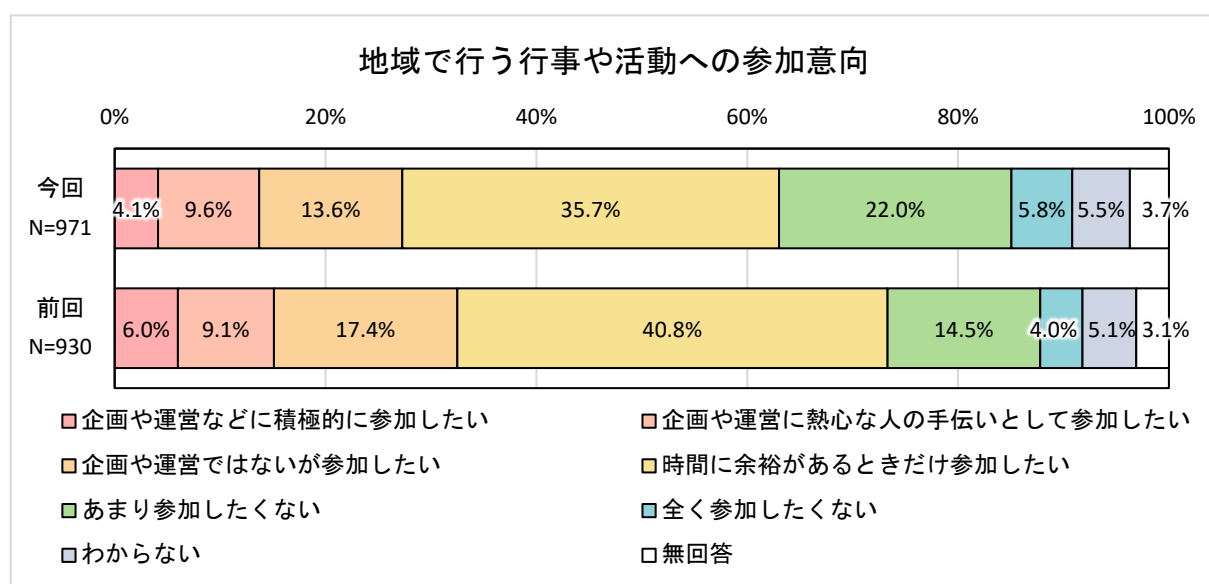
問8 地域で行う行事や、組織・団体の活動には、どの程度参加したいですか。(〇は1つ)

「時間に余裕があるときだけ参加したい」の割合が最も高く 35.7%、次いで「あまり参加したくない」の割合が 22.0%、「企画や運営ではないが参加したい」の割合が 13.6%となっています。



【前回調査との比較】

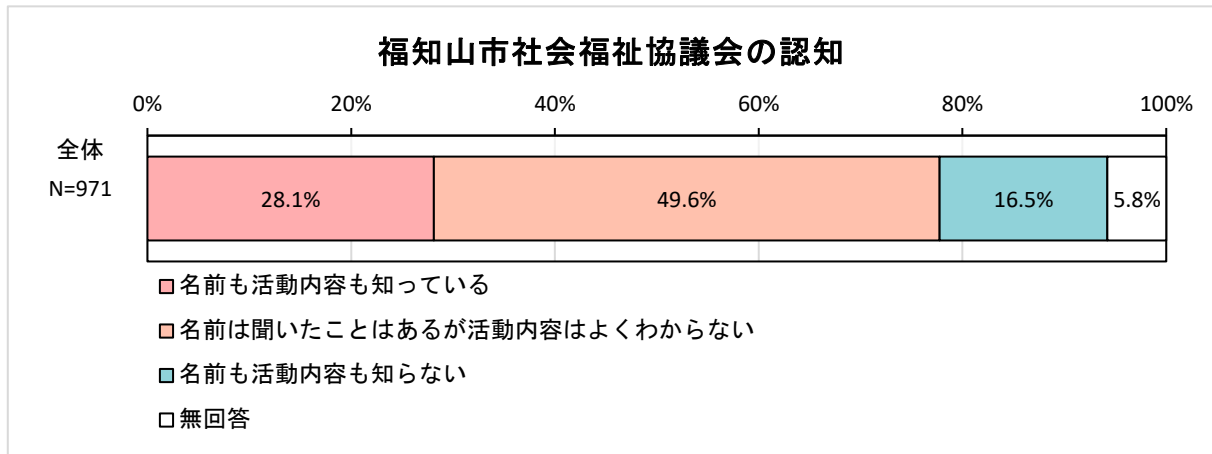
前回調査と比較すると、「時間に余裕があるときだけ参加したい」の割合が 5.1 ポイント減少しています (40.8%→35.7%)。また、「あまり参加したくない」の割合は、7.5 ポイント増加しています (14.5%→22.0%)。



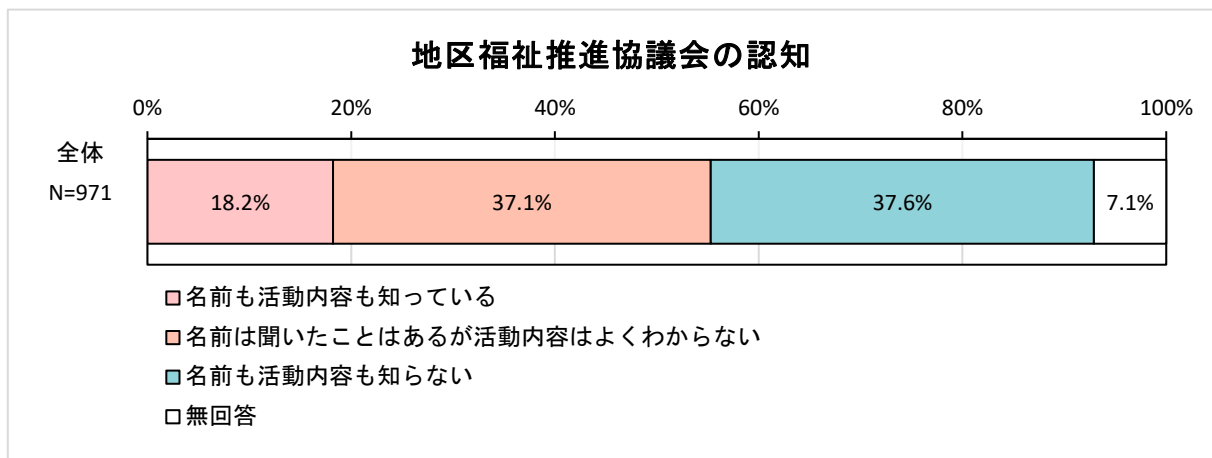
3 地域福祉を支える組織や制度について

問9 福知山市社会福祉協議会・地区福祉推進協議会をご存知ですか。
(該当する数字に○/○はそれぞれ1つ)

福知山市社会福祉協議会については、「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」の割合が49.6%と最も高く、次いで「名前も活動内容も知っている」の割合が28.1%、「名前も活動内容も知らない」の割合が16.5%となっています。

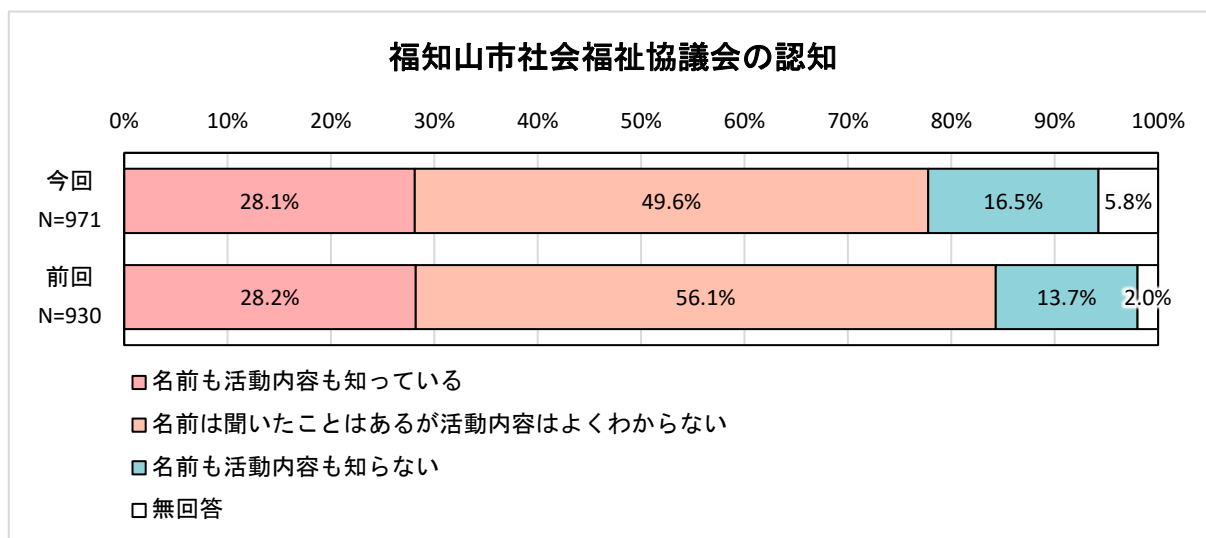


地区福祉推進協議会については、「名前も活動内容も知らない」の割合が37.6%と最も高く、次いで「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」の割合が37.1%、「名前も活動内容も知っている」の割合が18.2%となっています。



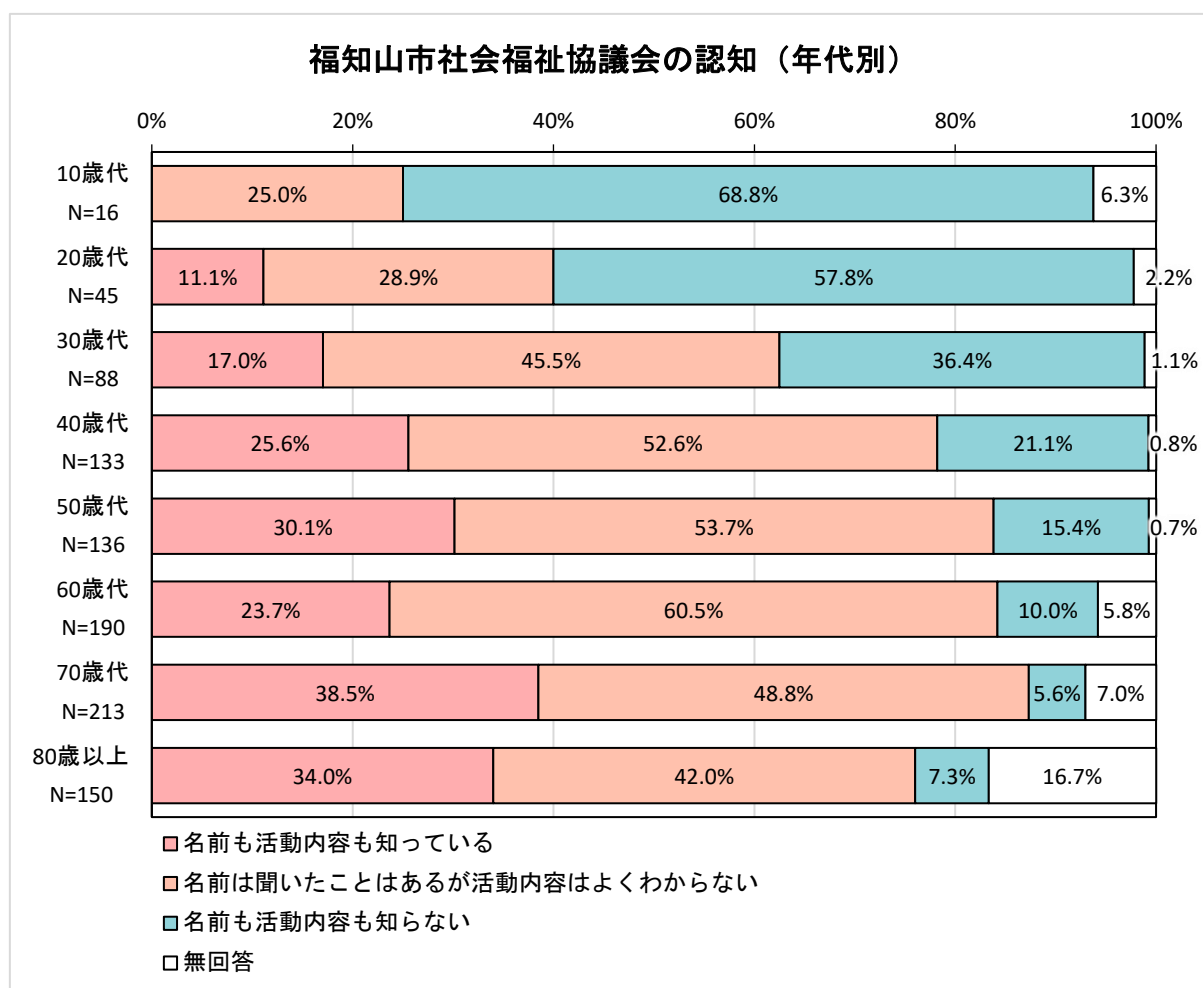
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」の割合が6.5ポイント減少しています（56.1%→49.6%）。

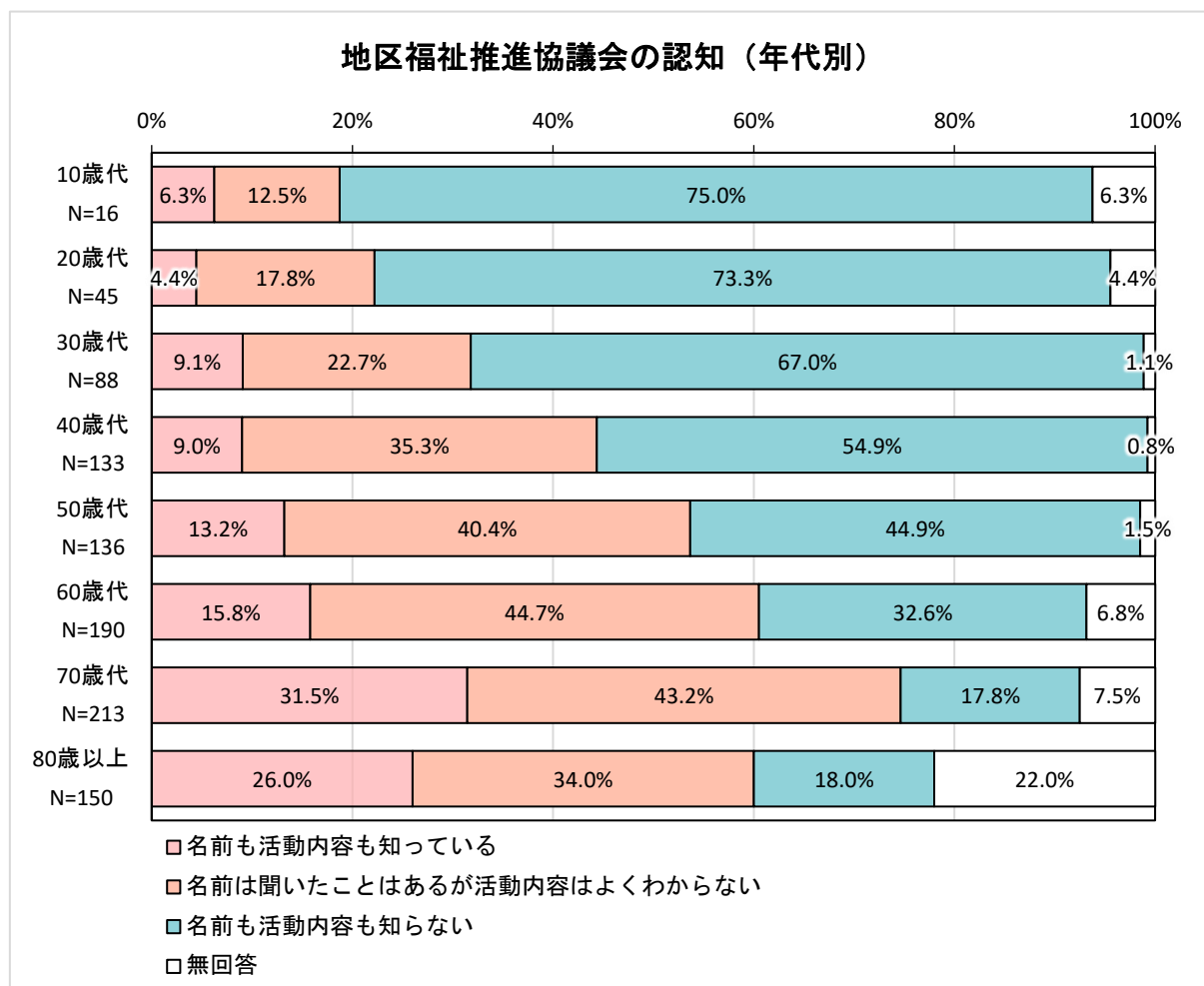


【年代別】

社会福祉協議会について年代別でみると、他に比べて50歳代・70歳以上では、「名前も活動内容も知っている」の割合が高くなっています。また、60歳代では、「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」の割合が最も高くなっています。一方、10歳代では、「名前も活動内容も知っている」の割合はなく、「名前も活動内容も知らない」の割合が最も高くなっています。

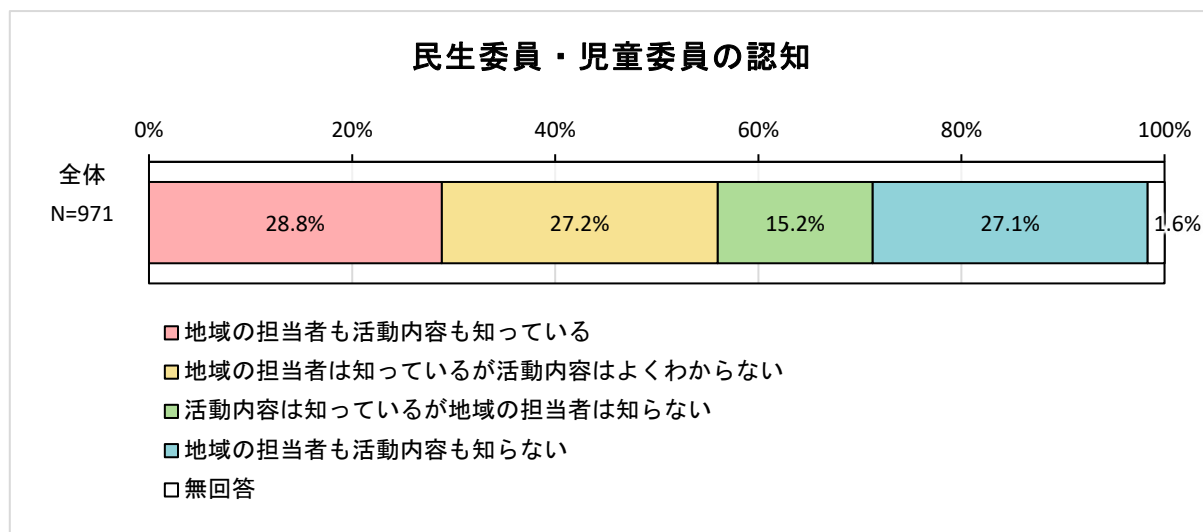


地区福祉推進協議会について年代別でみると、10 歳代～50 歳代までは、「名前も活動内容も知らない」の割合が最も高くなっています。



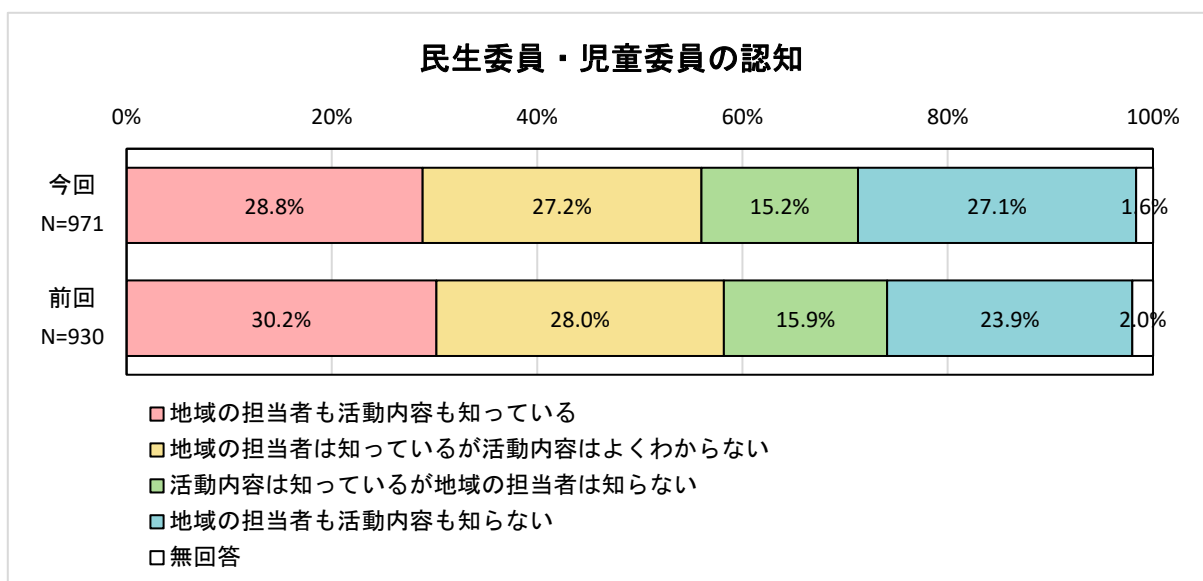
問 10 あなたがお住まいの地域の民生委員・児童委員をご存知ですか。(○は1つ)

「地域の担当者も活動内容も知っている」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「地域の担当者は知っているが活動内容はよくわからない」の割合が 27.2%、「地域の担当者も活動内容も知らない」の割合が 27.1%となっています。



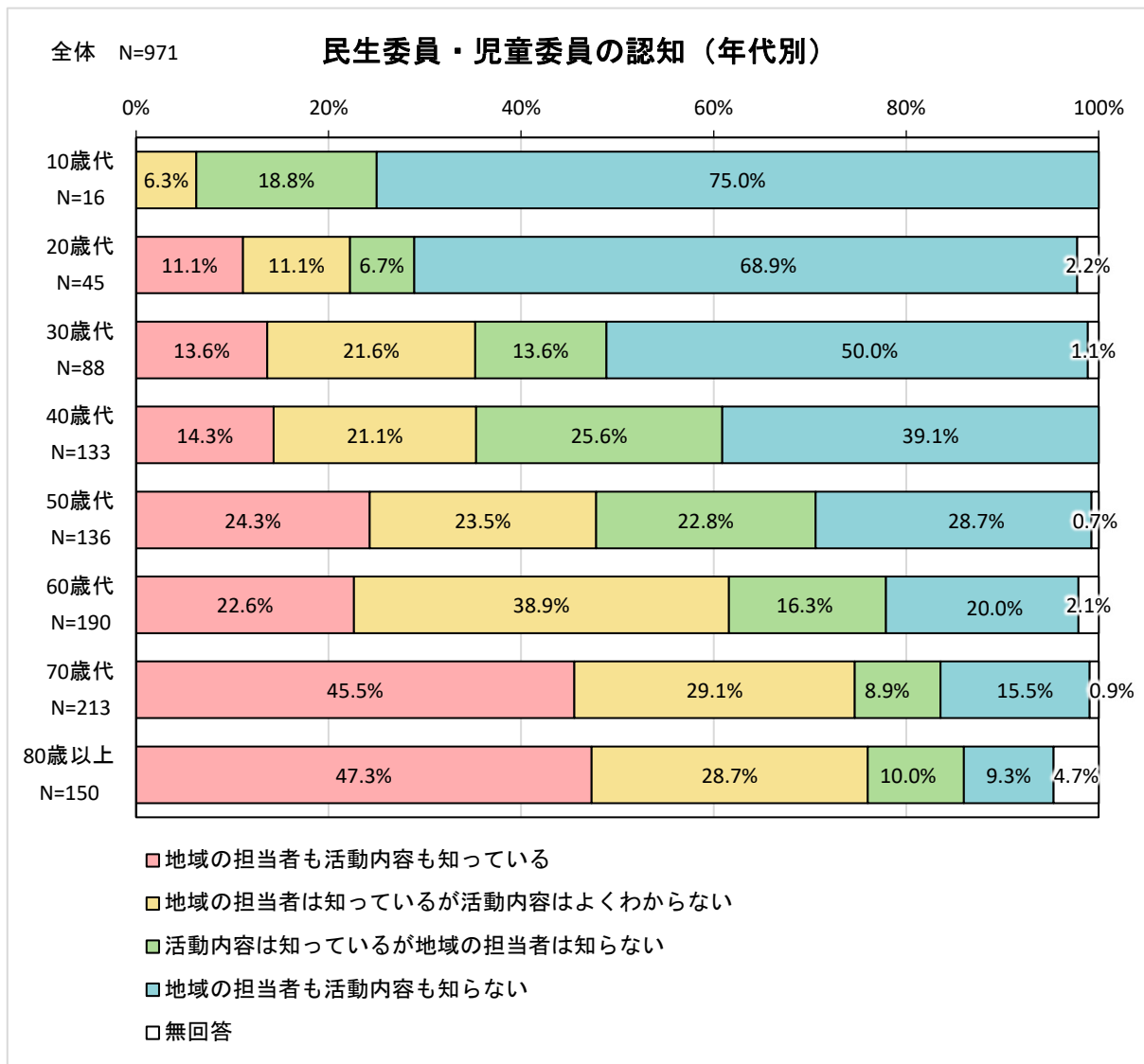
【前回調査との比較】

前回調査と同様の傾向がみられます。



【年代別】

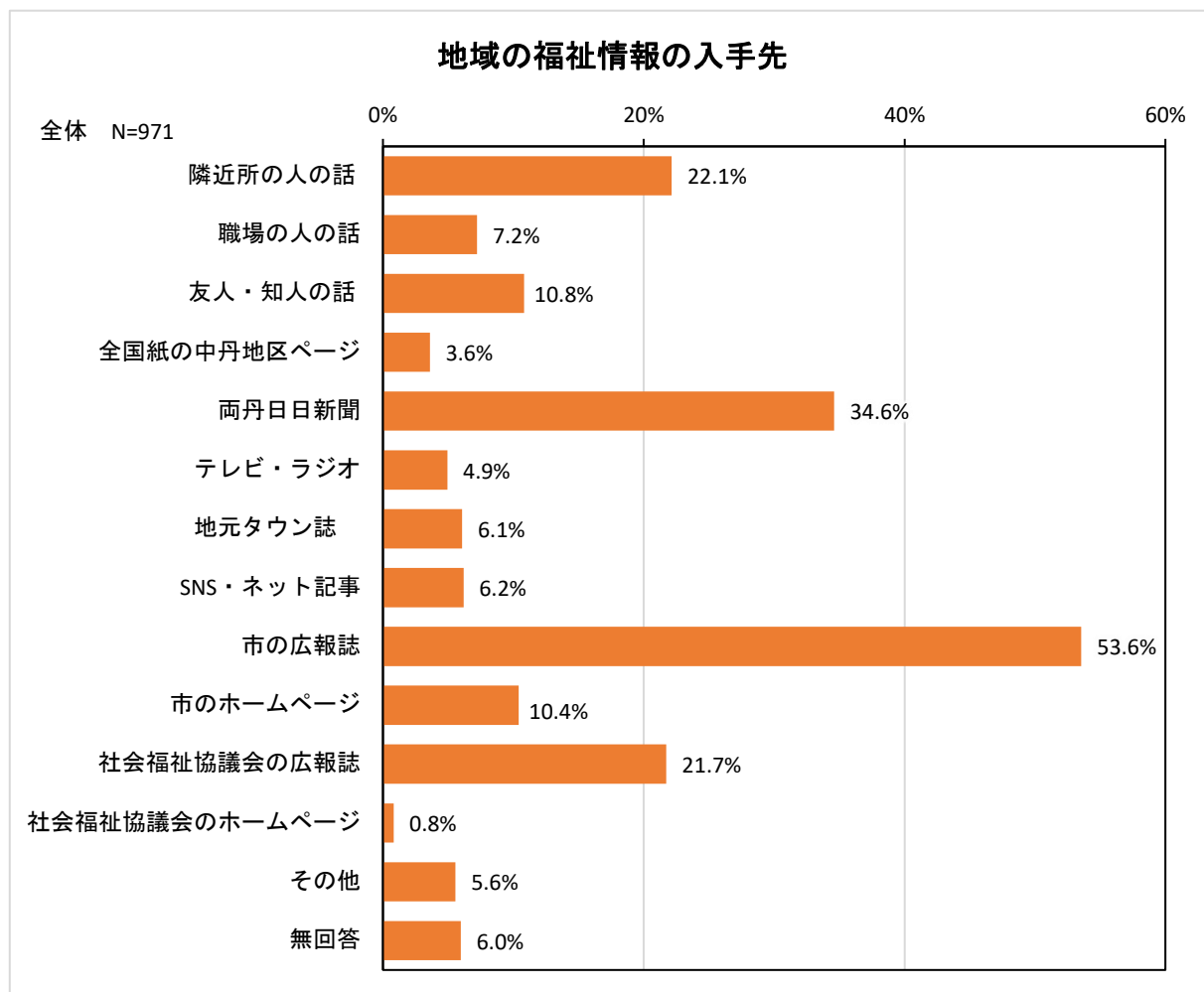
年代別でみると、年齢が高くなるにつれて「地域の担当者も活動内容も知らない」の割合が低くなっています。また、10 歳代では、「地域の担当者も活動内容も知っている」の割合はありませんでした。70 歳以上では、他に比べて「地域の担当者も活動内容も知っている」の割合が高くなっています。



4 地域での手助け・助け合い・ボランティア活動について

問 11 あなたは地域の福祉情報をどこから入手していますか。(〇は3つまで)

「市の広報誌」の割合が最も高く 53.6%、次いで「両丹日日新聞」の割合が 34.6%、「隣近所の人の話」の割合が 22.1%となっています。



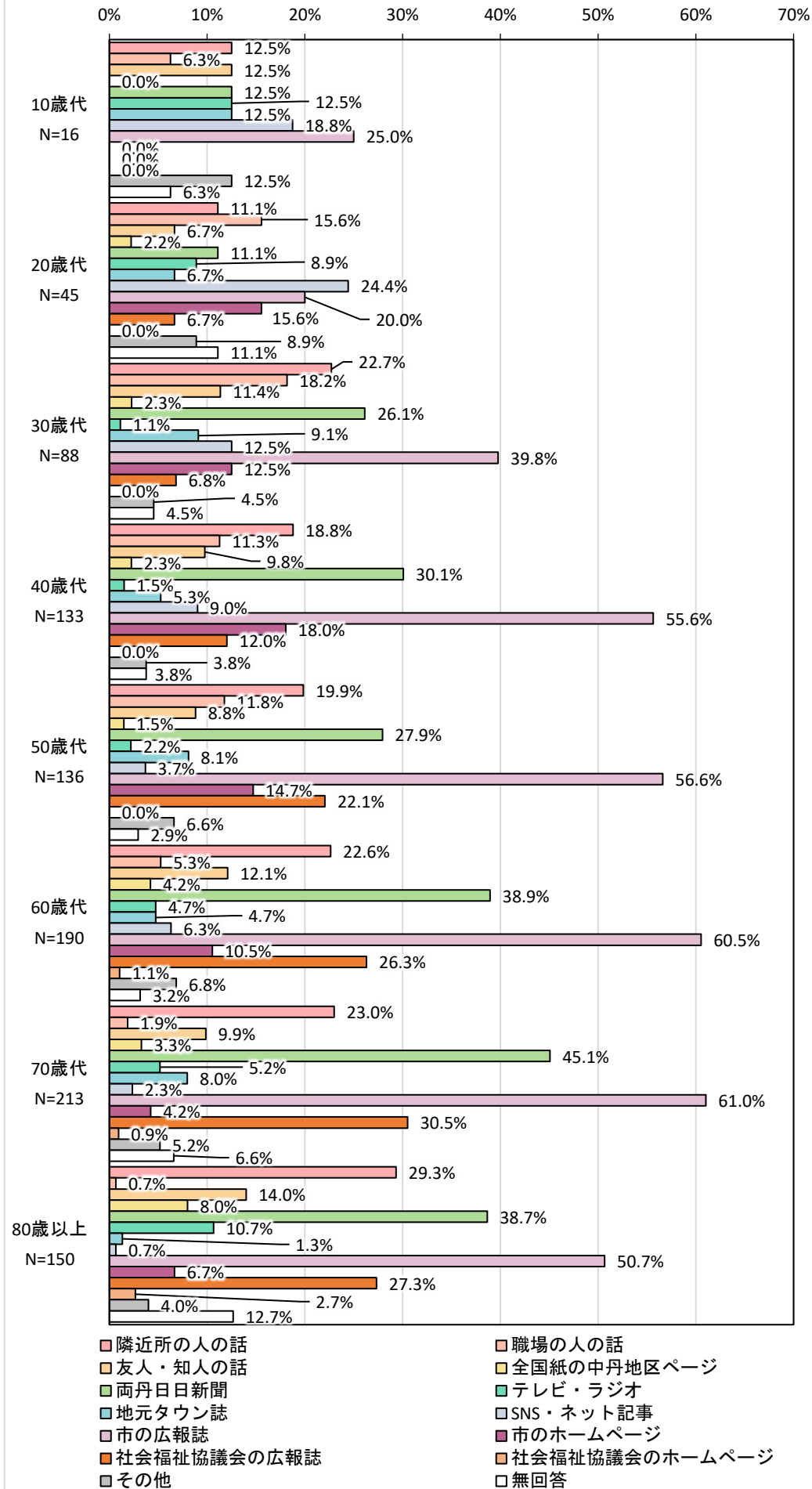
【年代別】

年代別でみると、ほとんどの年代で、「市の広報誌」の割合が高くなっています。

20 歳代では、「SNS・ネット記事」の割合が高くなっています。

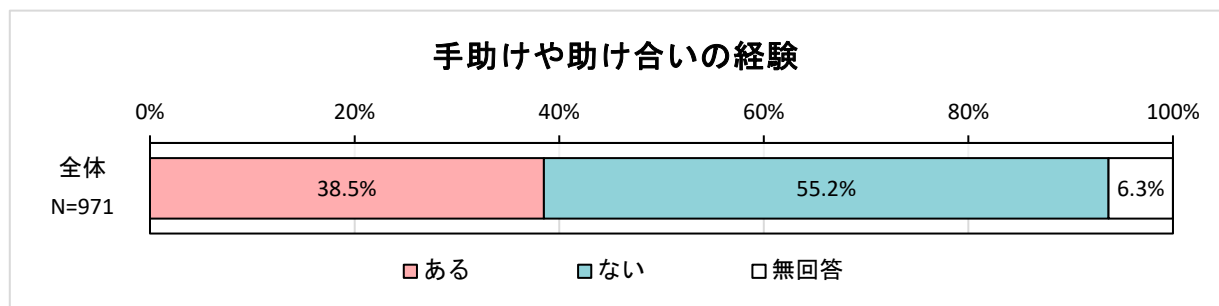
区分	有効回答数 (件)	隣近所の人の話	職場の人の話	友人・知人の話	全国紙の中丹地区ページ	両丹日日新聞	テレビ・ラジオ	地元タウン誌	SNS・ネット記事	市の広報誌	市のホームページ	社会福祉協議会の広報誌	社会福祉協議会のホームページ	その他	無回答
全体	971	22.1%	7.2%	10.8%	3.6%	34.6%	4.9%	6.1%	6.2%	53.6%	10.4%	21.7%	0.8%	5.6%	6.0%
10 歳代	16	12.5%	6.3%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	18.8%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	6.3%
20 歳代	45	11.1%	15.6%	6.7%	2.2%	11.1%	8.9%	6.7%	24.4%	20.0%	15.6%	6.7%	0.0%	8.9%	11.1%
30 歳代	88	22.7%	18.2%	11.4%	2.3%	26.1%	1.1%	9.1%	12.5%	39.8%	12.5%	6.8%	0.0%	4.5%	4.5%
40 歳代	133	18.8%	11.3%	9.8%	2.3%	30.1%	1.5%	5.3%	9.0%	55.6%	18.0%	12.0%	0.0%	3.8%	3.8%
50 歳代	136	19.9%	11.8%	8.8%	1.5%	27.9%	2.2%	8.1%	3.7%	56.6%	14.7%	22.1%	0.0%	6.6%	2.9%
60 歳代	190	22.6%	5.3%	12.1%	4.2%	38.9%	4.7%	4.7%	6.3%	60.5%	10.5%	26.3%	1.1%	6.8%	3.2%
70 歳代	213	23.0%	1.9%	9.9%	3.3%	45.1%	5.2%	8.0%	2.3%	61.0%	4.2%	30.5%	0.9%	5.2%	6.6%
80 歳以上	150	29.3%	0.7%	14.0%	8.0%	38.7%	10.7%	1.3%	0.7%	50.7%	6.7%	27.3%	2.7%	4.0%	12.7%

地域の福祉情報の入手先（年代別）



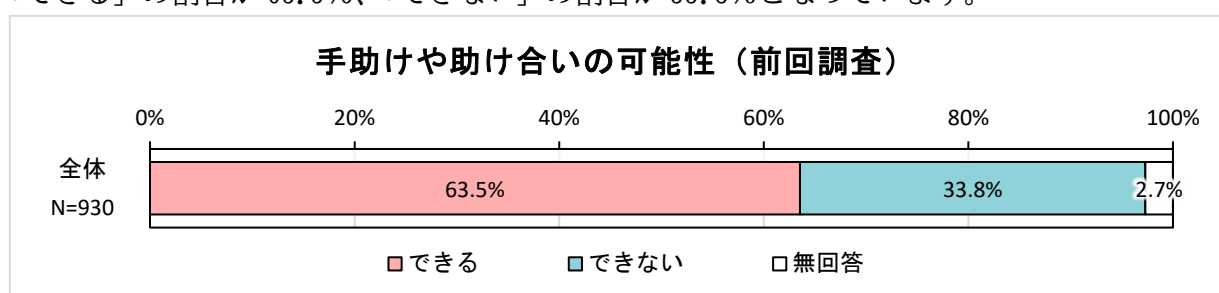
問12 あなたは、地域で困っている人に、手助けや助け合いをしたことがありますか。
(○は1つ)

「ない」の割合が最も高く 55.2%、「ある」の割合が 38.5%となっています。



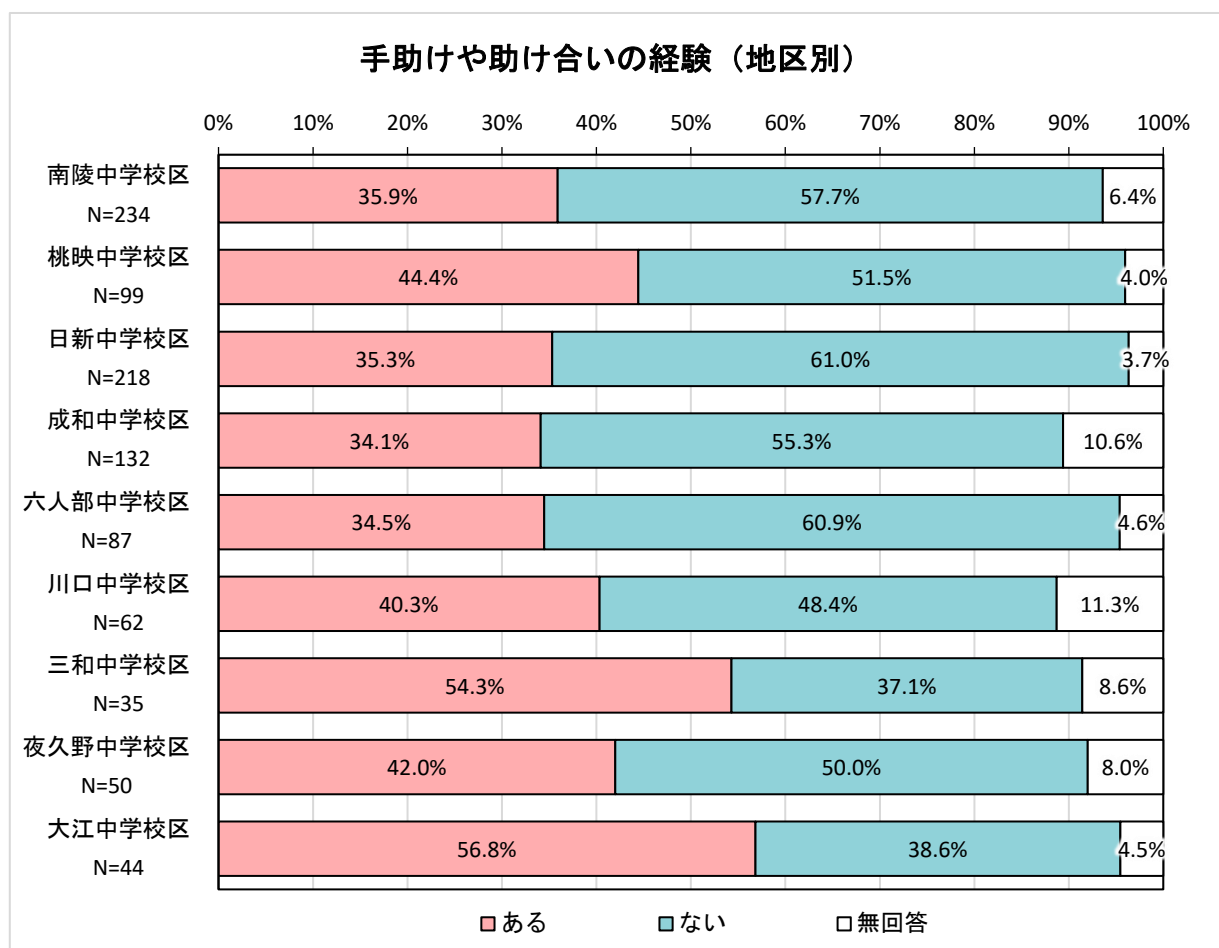
<参考：手助けや助け合いの可能性（前回調査）>

「できる」の割合が 63.5%、「できない」の割合が 33.8%となっています。



【地区別】

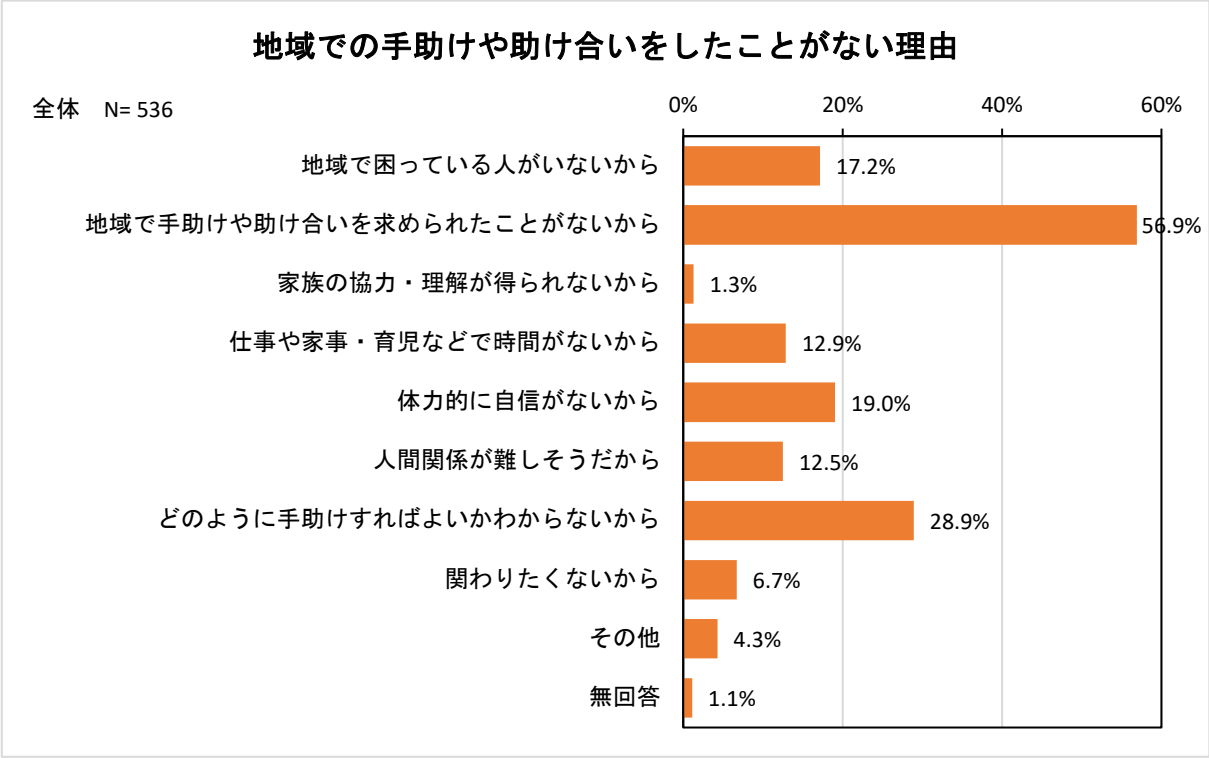
地区別でみると、ほとんどの地区で「ない」の割合が高く、三和中学校区と大江中学校区は「ある」の割合が高くなっています。



◆問 12 で「2. ない」と回答した方におうかがいします。

問 12-1 地域での手助けや助け合いをしたことがない理由は何ですか。(○は3つまで)

「地域で手助けや助け合いを求められたことがないから」の割合が最も高く 56.9%、次いで「どのように手助けすればよいかわからないから」の割合が 28.9%、「体力的に自信がないから」の割合が 19.0%となっています。

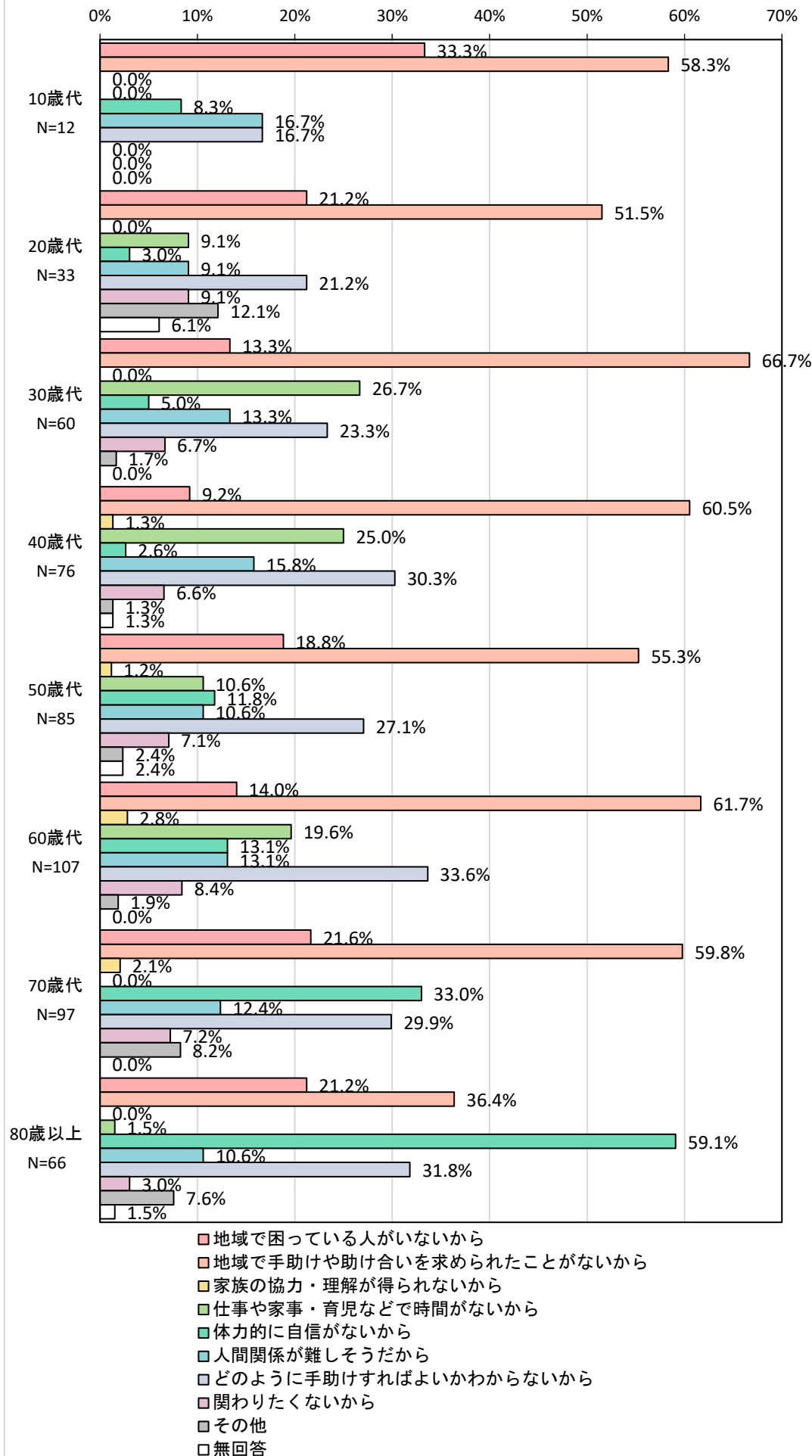


【年代別】

年代別でみると、他に比べ、80 歳以上で「体力的に自信がないから」の割合が高くなっています。また、30 歳代～40 歳代では「仕事や家事・育児などで時間がないから」の割合が、40 歳以上では「どのように手助けすればよいかわからないから」の割合が高くなる傾向がみられます。

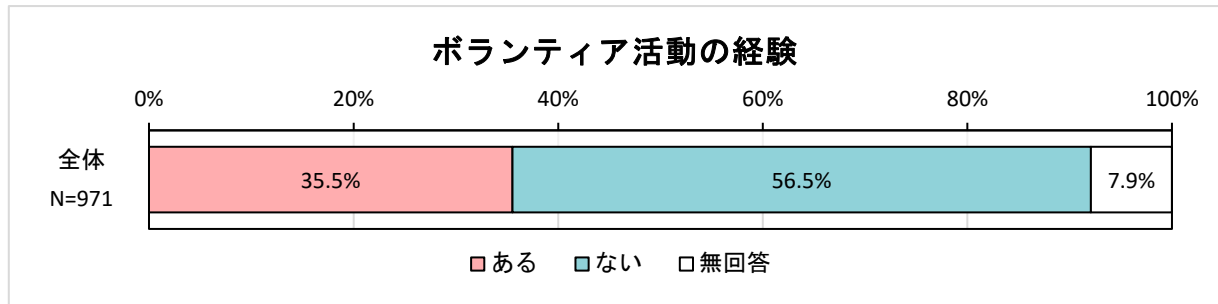
区分	有効回答数(件)	地域で困っている人がいないから	地域で手助けや助け合いを求められたことがないから	家族の協力・理解が得られないから	仕事や家事・育児などで時間がないから	体力的に自信がないから	人間関係が難しそうだから	どのように手助けすればよいかわからないから	関わりたくないから	その他	無回答
全体	536	17.2%	56.9%	1.3%	12.9%	19.0%	12.5%	28.9%	6.7%	4.3%	1.1%
10 歳代	12	33.3%	58.3%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
20 歳代	33	21.2%	51.5%	0.0%	9.1%	3.0%	9.1%	21.2%	9.1%	12.1%	6.1%
30 歳代	60	13.3%	66.7%	0.0%	26.7%	5.0%	13.3%	23.3%	6.7%	1.7%	0.0%
40 歳代	76	9.2%	60.5%	1.3%	25.0%	2.6%	15.8%	30.3%	6.6%	1.3%	1.3%
50 歳代	85	18.8%	55.3%	1.2%	10.6%	11.8%	10.6%	27.1%	7.1%	2.4%	2.4%
60 歳代	107	14.0%	61.7%	2.8%	19.6%	13.1%	13.1%	33.6%	8.4%	1.9%	0.0%
70 歳代	97	21.6%	59.8%	2.1%	0.0%	33.0%	12.4%	29.9%	7.2%	8.2%	0.0%
80 歳以上	66	21.2%	36.4%	0.0%	1.5%	59.1%	10.6%	31.8%	3.0%	7.6%	1.5%

地域での手助けや助け合いをしたことがない理由



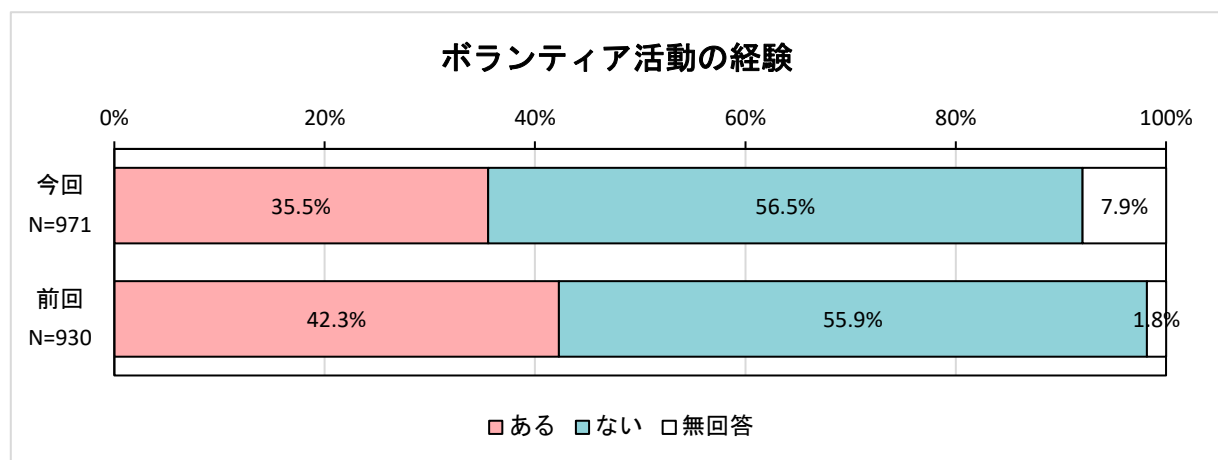
問 13 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が35.5%、「ない」の割合が56.5%となっています。



【前回調査との比較】

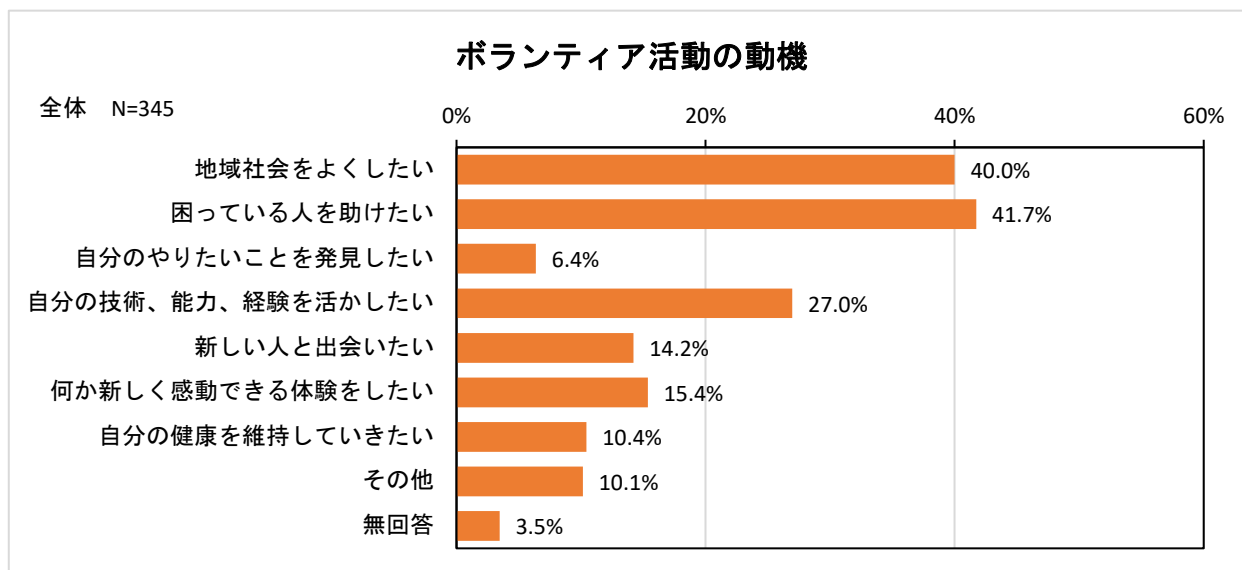
前回調査と比較すると、「ある」の割合が6.8ポイント減少しています(42.3%→35.5%)。



◆問13で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

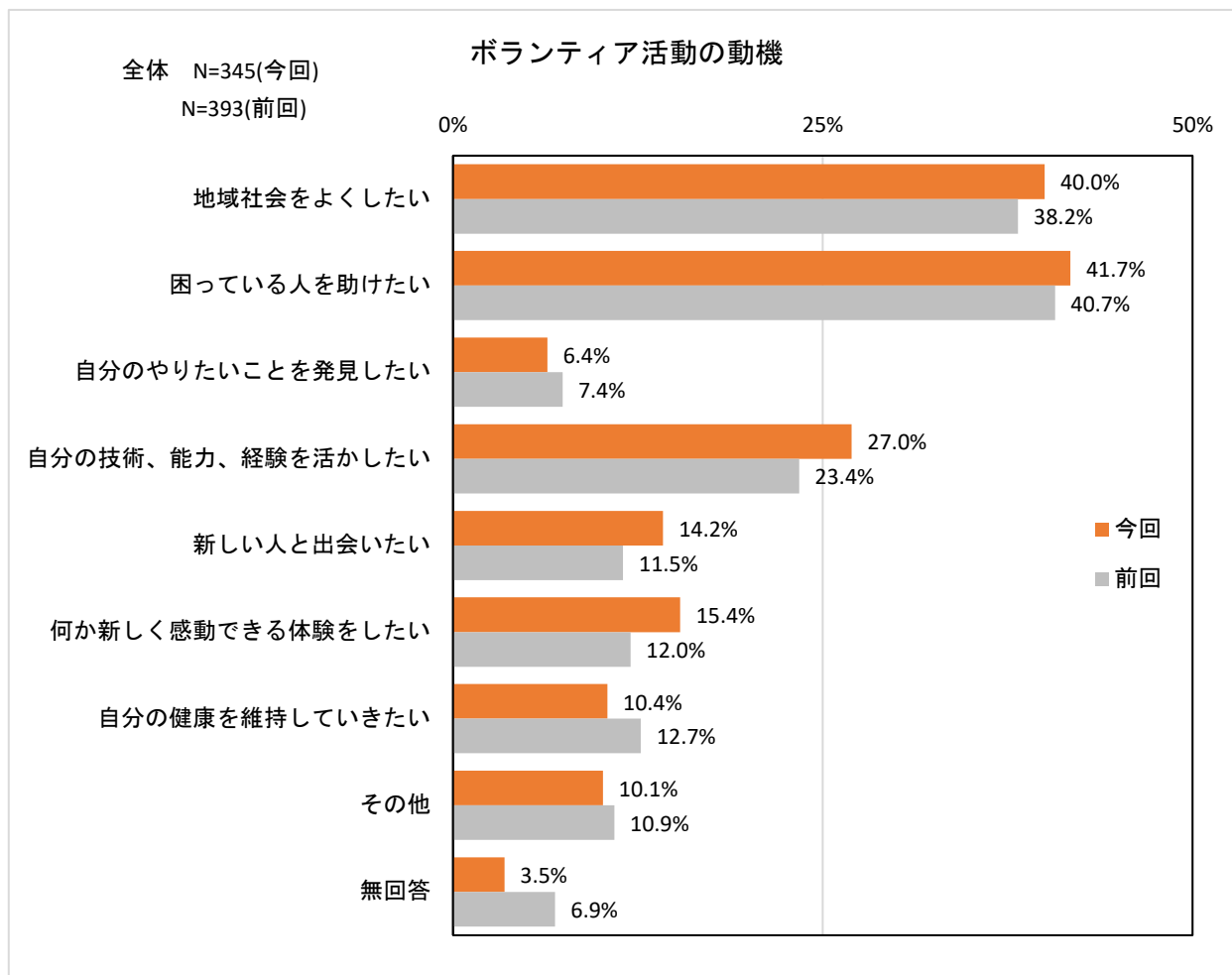
問13-1 どのようなことが動機でしたか。(該当するものすべてに○)

「困っている人を助けたい」の割合が最も高く 41.7%、次いで「地域社会をよくしたい」の割合が 40.0%、「自分の技術、能力、経験を活かしたい」の割合が 27.0%となっています。



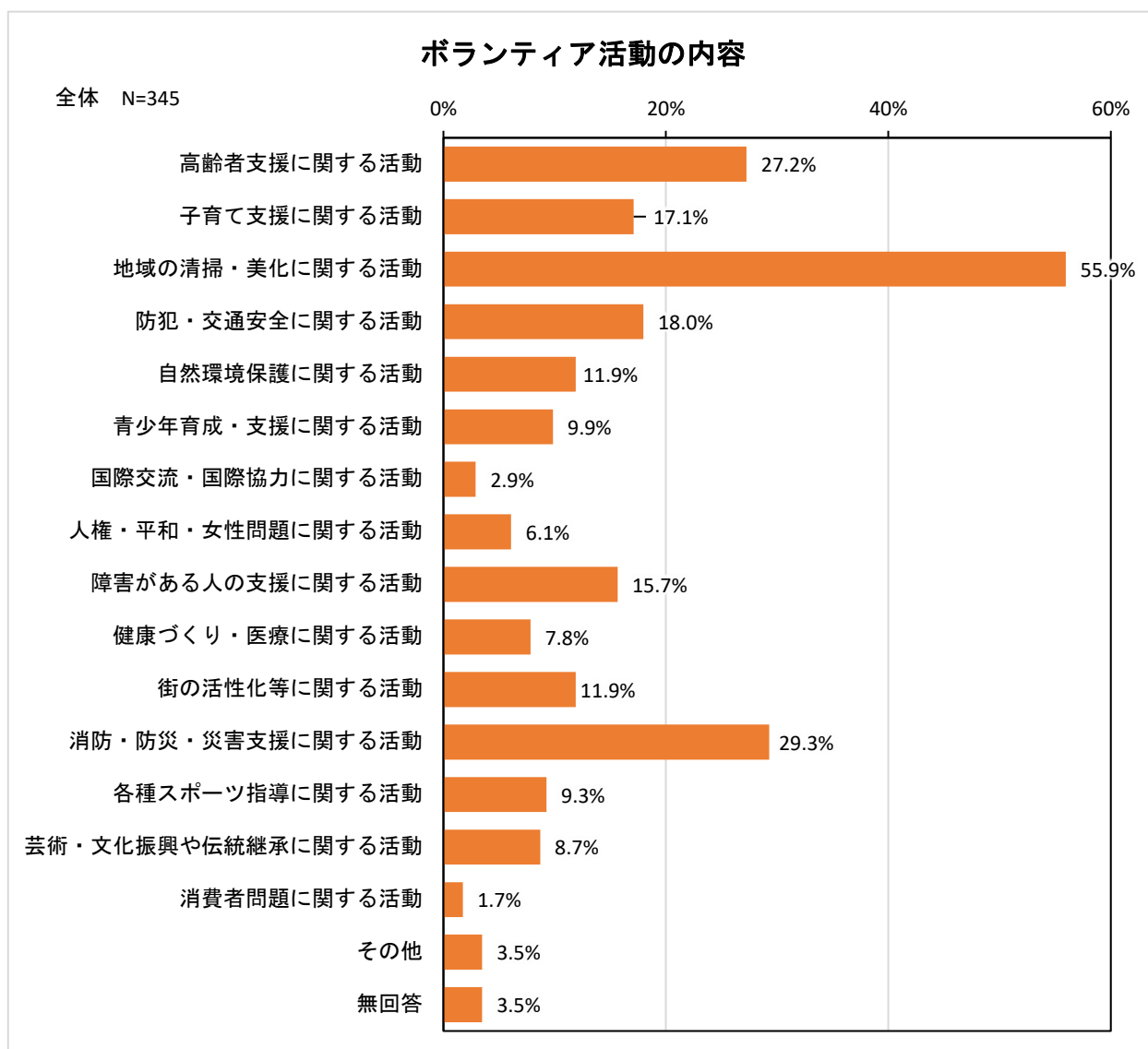
【前回調査との比較】

前回調査と同様の傾向がみられます。



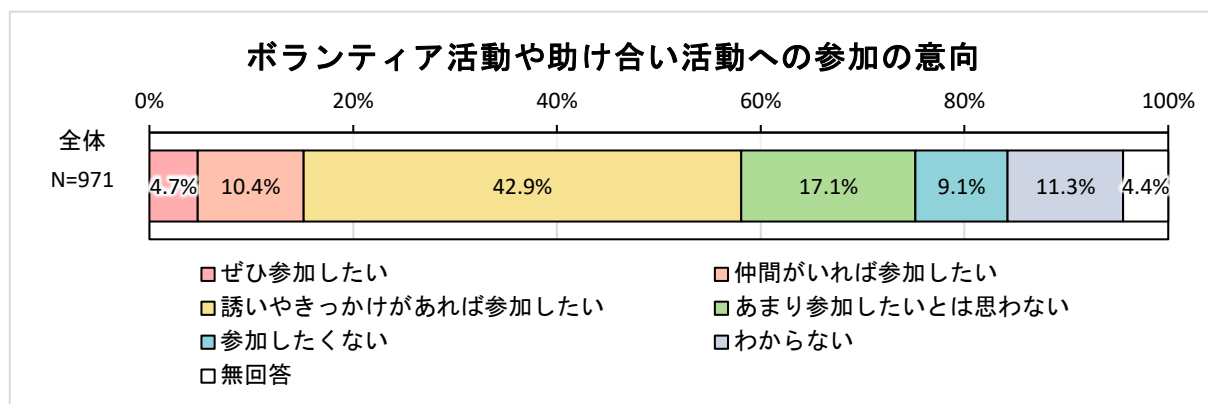
問 13-2 現在活動している、もしくは以前に活動したことがあるボランティアはどのような内容でしたか。(該当するものすべてに○)

「地域の清掃・美化に関する活動」の割合が最も高く 55.9%、次いで「消防・防災・災害支援に関する活動」の割合が 29.3%、「高齢者支援に関する活動」の割合が 27.2%となっています。



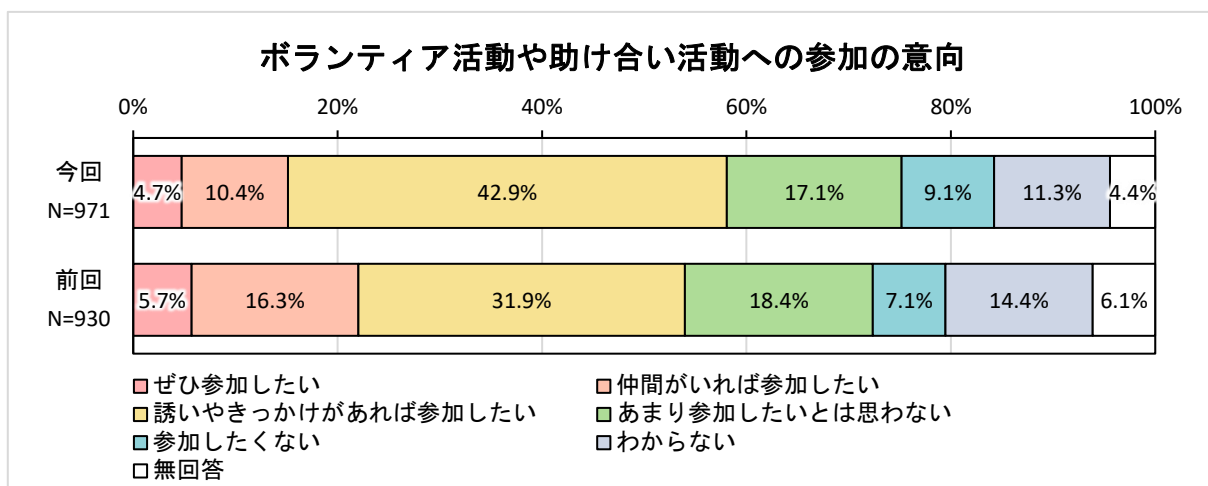
問 14 あなたは今後、地域での手助け・助け合い活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

「誘いやきっかけがあれば参加したい」の割合が最も高く 42.9%、次いで「あまり参加したいとは思わない」の割合が 17.1%、「わからない」の割合が 11.3%となっています。



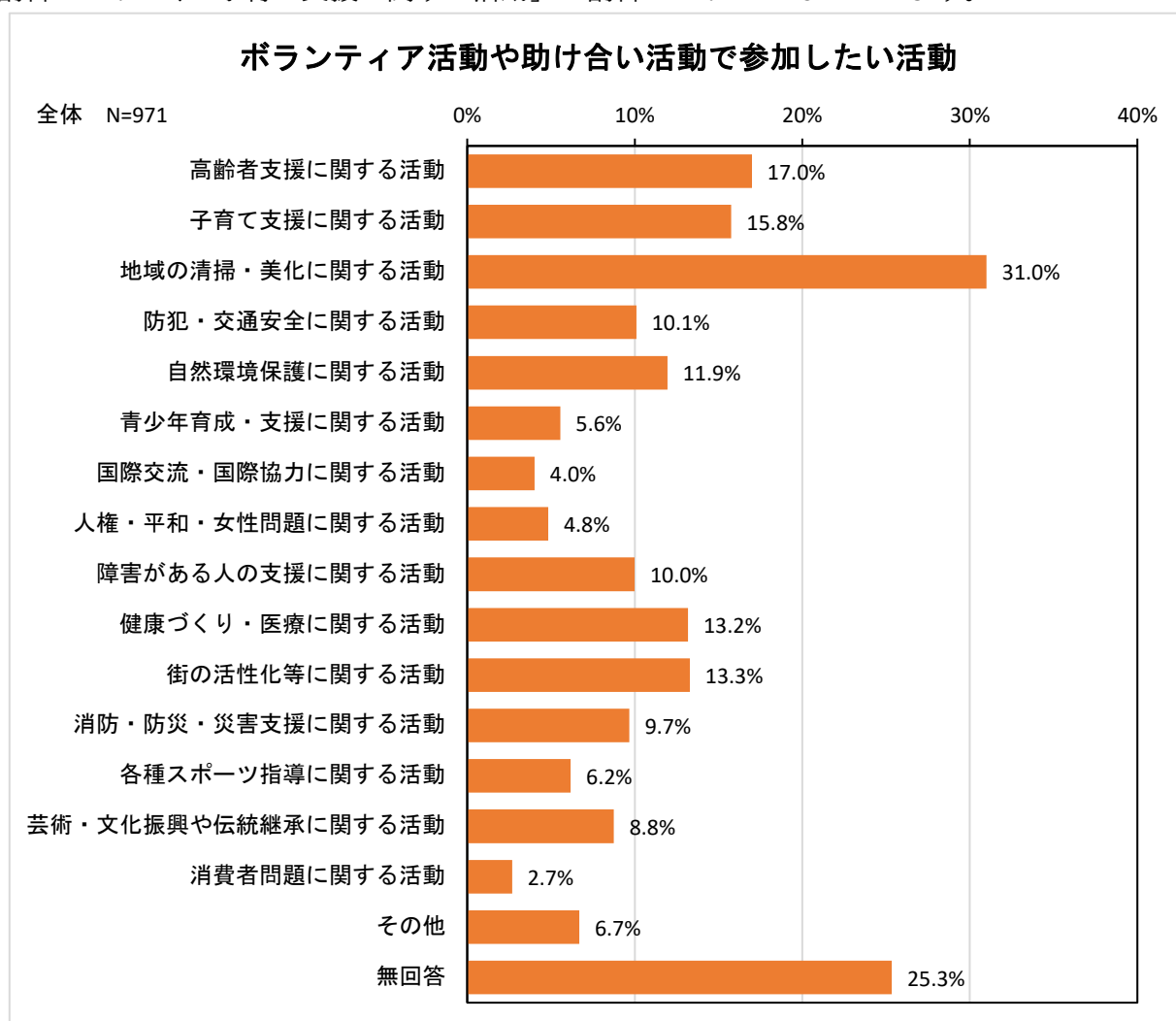
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「誘いやきっかけがあれば参加したい」の割合が 11.0 ポイント増加しています (31.9%→42.9%)。



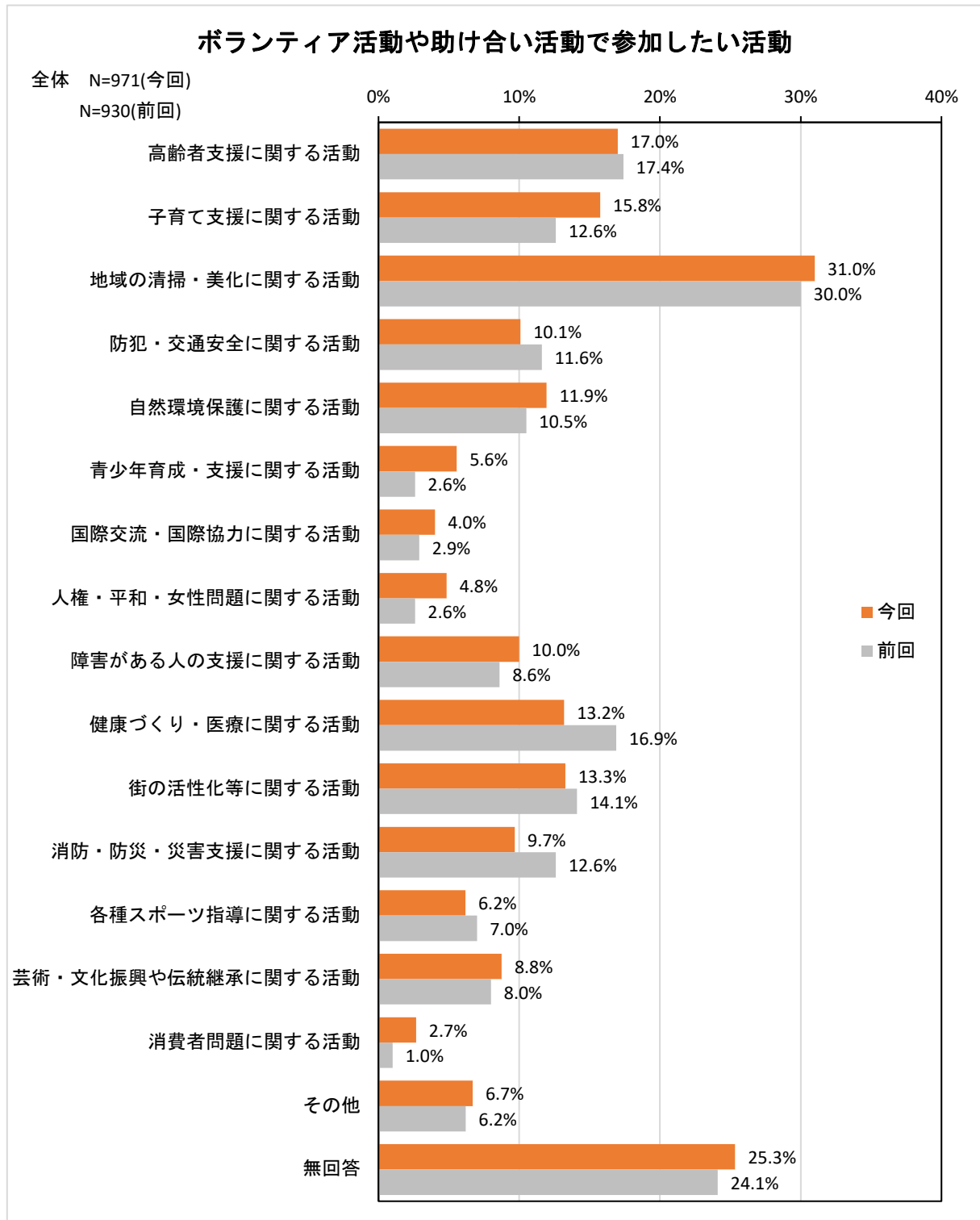
問 15 地域での手助け・助け合いや活動やボランティア活動で参加したい活動はありますか。(該当するものすべてに○)

「地域の清掃・美化に関する活動」の割合が31.0%と最も高く、次いで「高齢者支援に関する活動」の割合が17.0%、「子育て支援に関する活動」の割合が15.8%となっています。



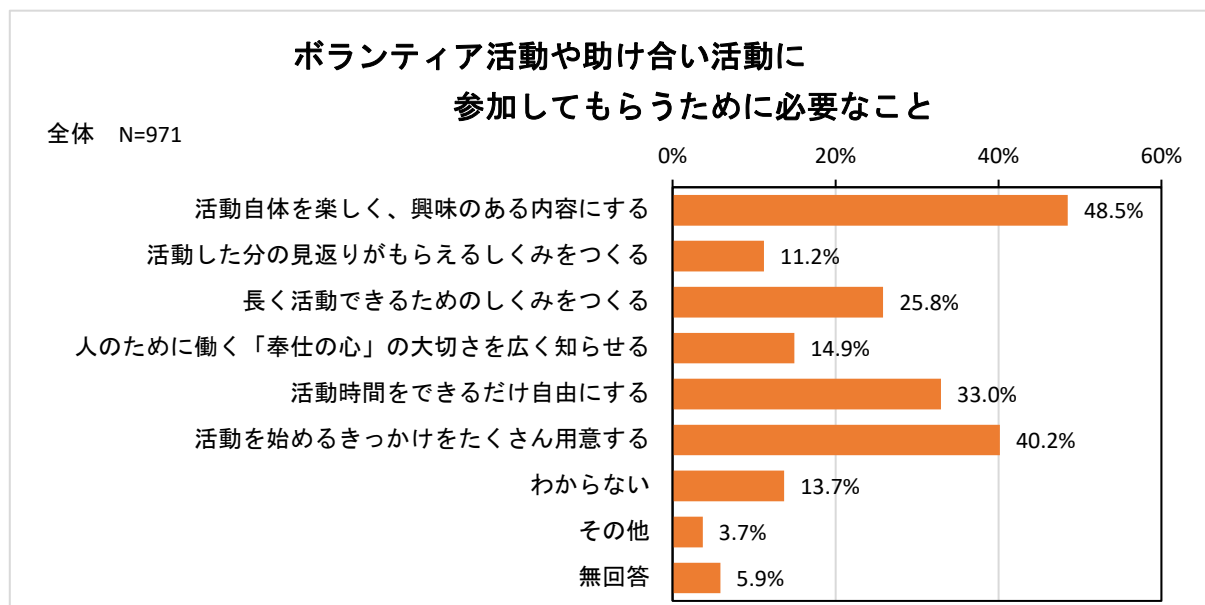
【前回調査との比較】

前回調査と同様の傾向がみられます。



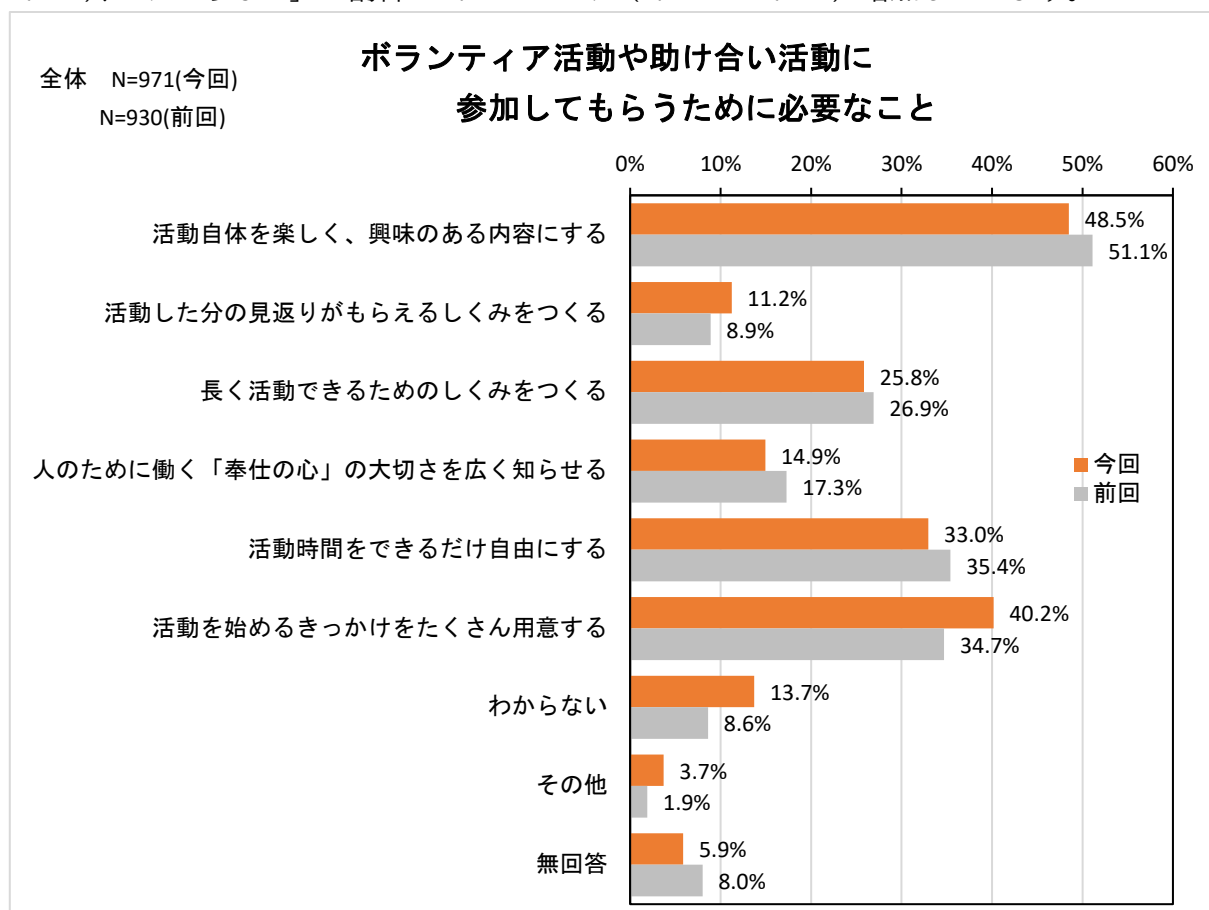
問 16 たくさんの人に地域での手助け・助け合い活動やボランティア活動に参加してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「活動自体を楽しく、興味のある内容にする」の割合が最も高く 48.5%、次いで「活動を始めるきっかけをたくさん用意する」の割合が 40.2%、「活動時間をできるだけ自由にする」の割合が 33.0%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「活動を始めるきっかけをたくさん用意する」の割合が 5.5 ポイント (34.7%→40.2%)、「わからない」の割合が 5.1 ポイント (8.6%→13.7%) 増加しています。

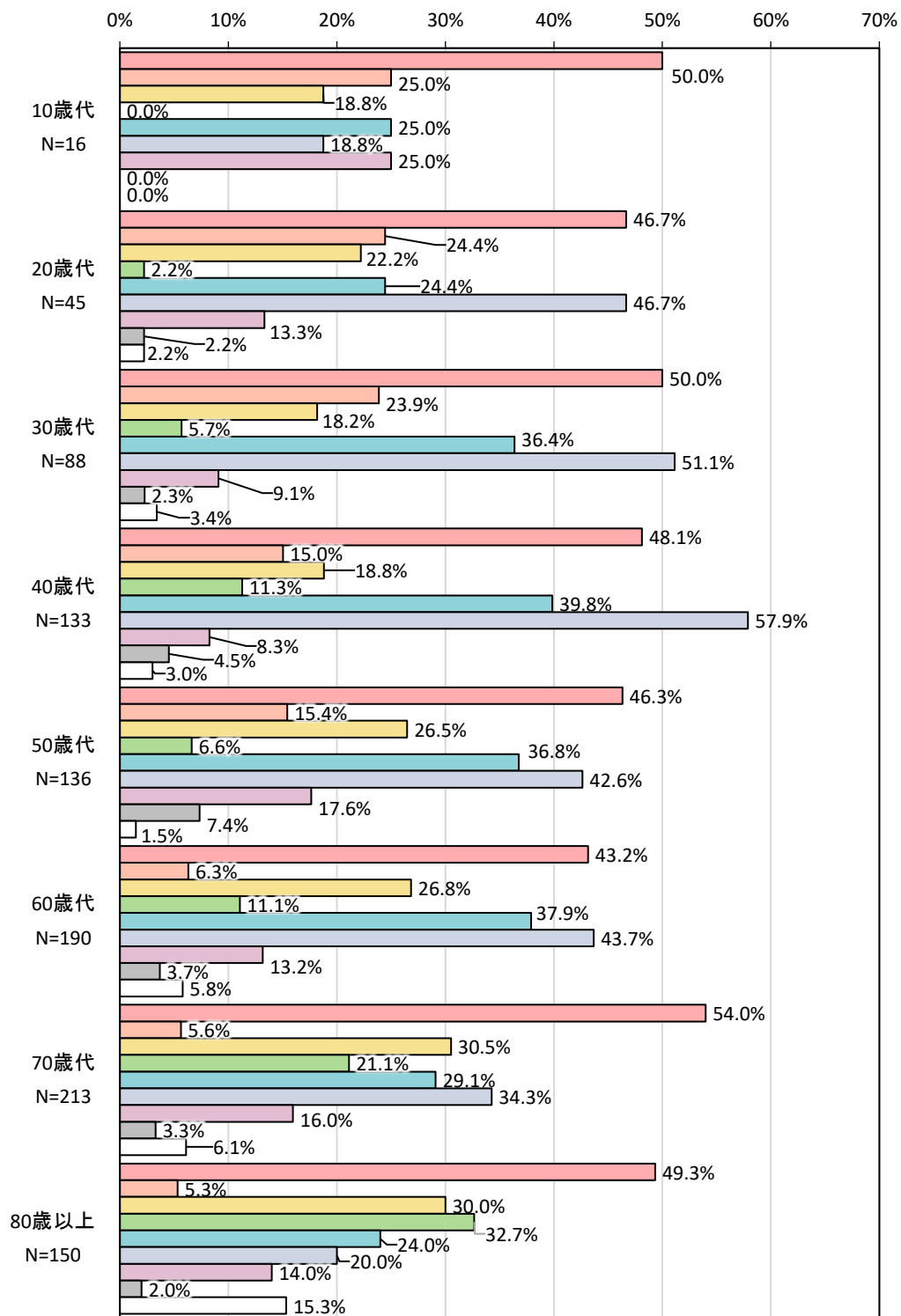


【年代別】

年代別でみると、10 歳代、50 歳代、70 歳以上では、「活動自体を楽しく、興味のある内容にする」の割合が最も高くなっています。20 歳代では、「活動自体を楽しく、興味のある内容にする」と「活動始めるきっかけをたくさん用意する」が、30 歳代～40 歳代、60 歳代では「活動始めるきっかけをたくさん用意する」が最も高くなっています

区分	有効回答数(件)	活動自体を楽しく、興味のある内容にする	活動した分の見返りがもらえるしくみをつくる	長く活動できるためのしくみをつくる	人のために働く「奉仕の心」の大切さを広く知らせ	活動時間をできるだけ自由にする	活動始めるきっかけをたくさん用意する	わからない	その他	無回答
全体	971	48.5%	11.2%	25.8%	14.9%	33.0%	40.2%	13.7%	3.7%	5.9%
10 歳代	16	50.0%	25.0%	18.8%	0.0%	25.0%	18.8%	25.0%	0.0%	0.0%
20 歳代	45	46.7%	24.4%	22.2%	2.2%	24.4%	46.7%	13.3%	2.2%	2.2%
30 歳代	88	50.0%	23.9%	18.2%	5.7%	36.4%	51.1%	9.1%	2.3%	3.4%
40 歳代	133	48.1%	15.0%	18.8%	11.3%	39.8%	57.9%	8.3%	4.5%	3.0%
50 歳代	136	46.3%	15.4%	26.5%	6.6%	36.8%	42.6%	17.6%	7.4%	1.5%
60 歳代	190	43.2%	6.3%	26.8%	11.1%	37.9%	43.7%	13.2%	3.7%	5.8%
70 歳代	213	54.0%	5.6%	30.5%	21.1%	29.1%	34.3%	16.0%	3.3%	6.1%
80 歳以上	150	49.3%	5.3%	30.0%	32.7%	24.0%	20.0%	14.0%	2.0%	15.3%

ボランティア活動や助け合い活動に 参加してもらうために必要なこと（年代別）

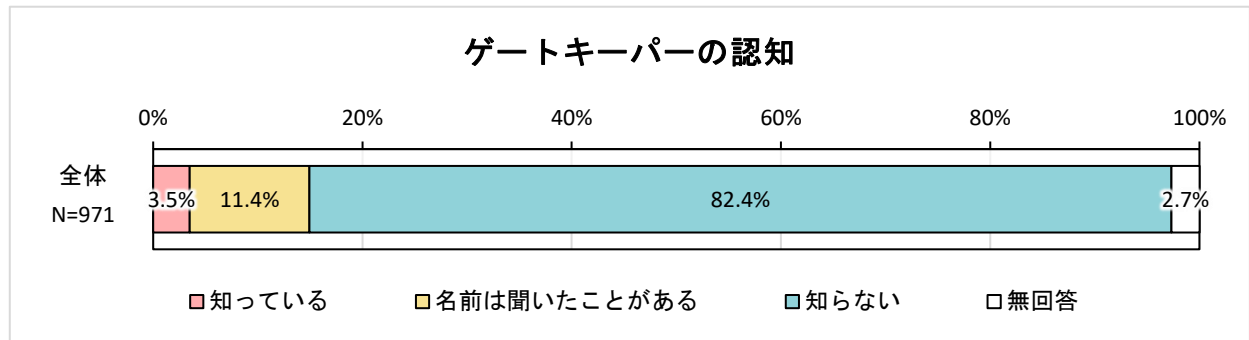


- 活動自体を楽しく、興味のある内容にする
- 活動した分の見返りがもらえるしくみをつくる
- 長く活動できるためのしくみをつくる
- 人のために働く「奉仕の心」の大切さを広く知らせる
- 活動時間をできるだけ自由にする
- 活動を始めるきっかけをたくさん用意する
- わからない
- その他
- 無回答

5 「こころの健康づくり」・「いのち支える」まちづくりについて

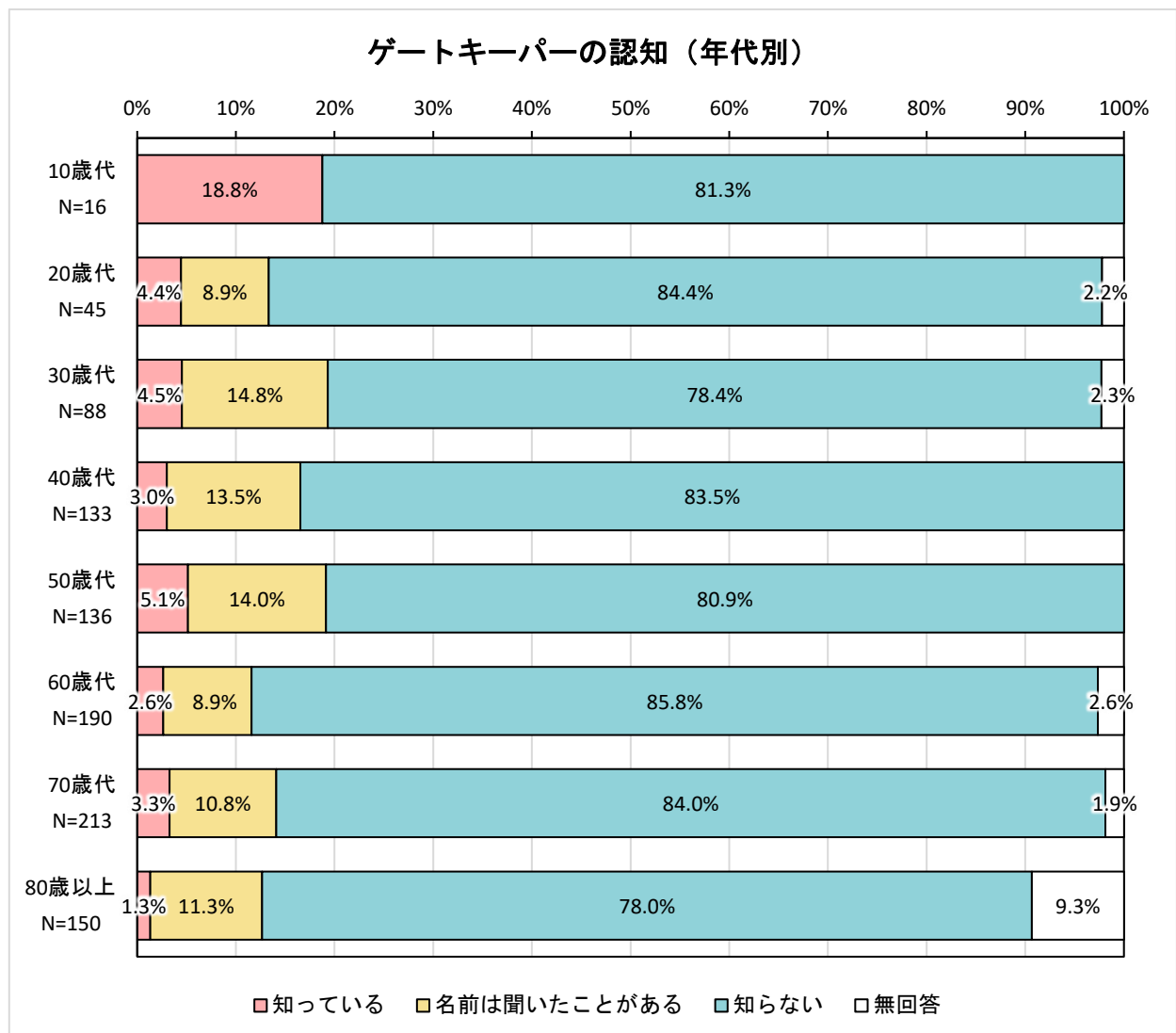
問 17 ゲートキーパーをご存知ですか。(○は1つ)

「知らない」の割合が最も高く 82.4%、次いで「名前は聞いたことがある」の割合が 11.4%、「知っている」の割合が 3.5%となっています。



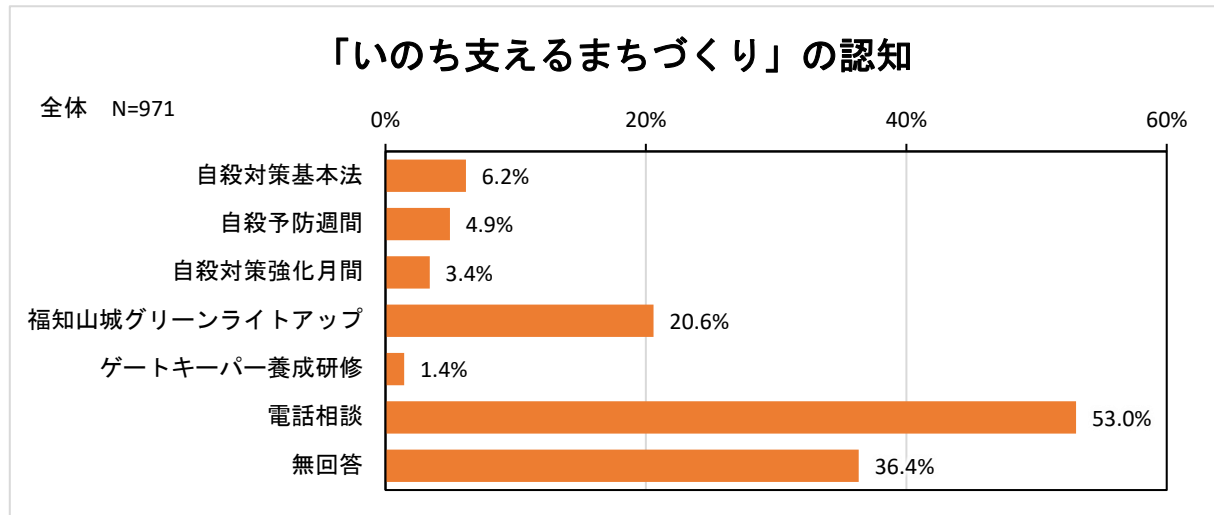
【年代別】

年代別でみると、全ての年代で、「知らない」の割合が高くなっています。



問 18 福知山市では、福知山市自殺対策計画を策定し「いのち支えるまちづくり」に取り組んでいます。次の中から、知っているものに○をつけてください。（該当するものすべてに○）

「電話相談」の割合が最も高く 53.0%、次いで「福知山城グリーンライトアップ」の割合が 20.6%、「自殺対策基本法」の割合が 6.2%となっています。

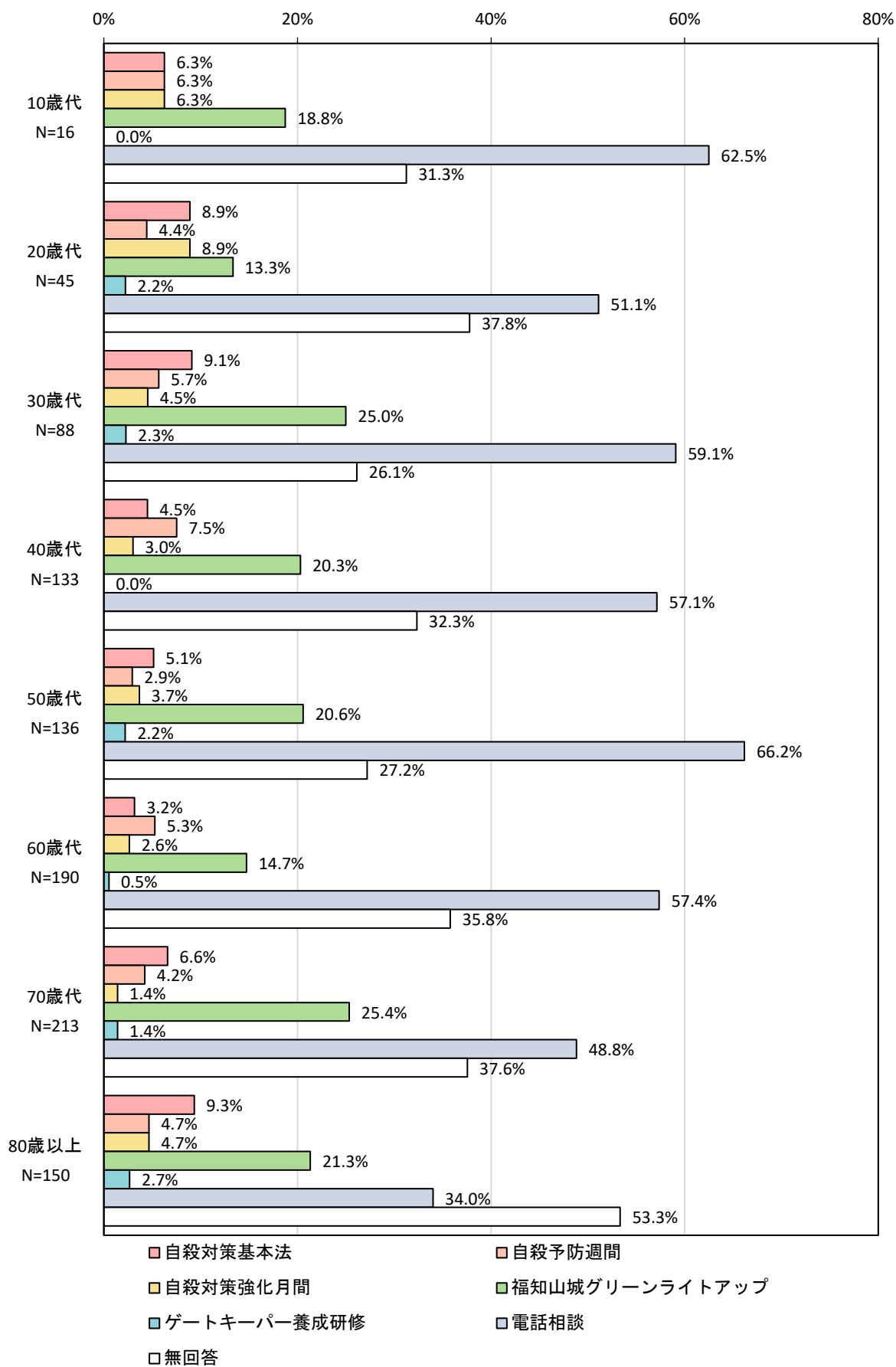


【年代別】

年代別でみると、ほとんどの年代で、「電話相談」の割合が高くなっています。

区分	有効回答数(件)	自殺対策基本法	自殺予防週間	自殺対策強化月間	福知山城グリーンライトアップ	ゲートキーパー養成研修	電話相談	無回答
全体	971	6.2%	4.9%	3.4%	20.6%	1.4%	53.0%	36.4%
10 歳代	16	6.3%	6.3%	6.3%	18.8%	0.0%	62.5%	31.3%
20 歳代	45	8.9%	4.4%	8.9%	13.3%	2.2%	51.1%	37.8%
30 歳代	88	9.1%	5.7%	4.5%	25.0%	2.3%	59.1%	26.1%
40 歳代	133	4.5%	7.5%	3.0%	20.3%	0.0%	57.1%	32.3%
50 歳代	136	5.1%	2.9%	3.7%	20.6%	2.2%	66.2%	27.2%
60 歳代	190	3.2%	5.3%	2.6%	14.7%	0.5%	57.4%	35.8%
70 歳代	213	6.6%	4.2%	1.4%	25.4%	1.4%	48.8%	37.6%
80 歳以上	150	9.3%	4.7%	4.7%	21.3%	2.7%	34.0%	53.3%

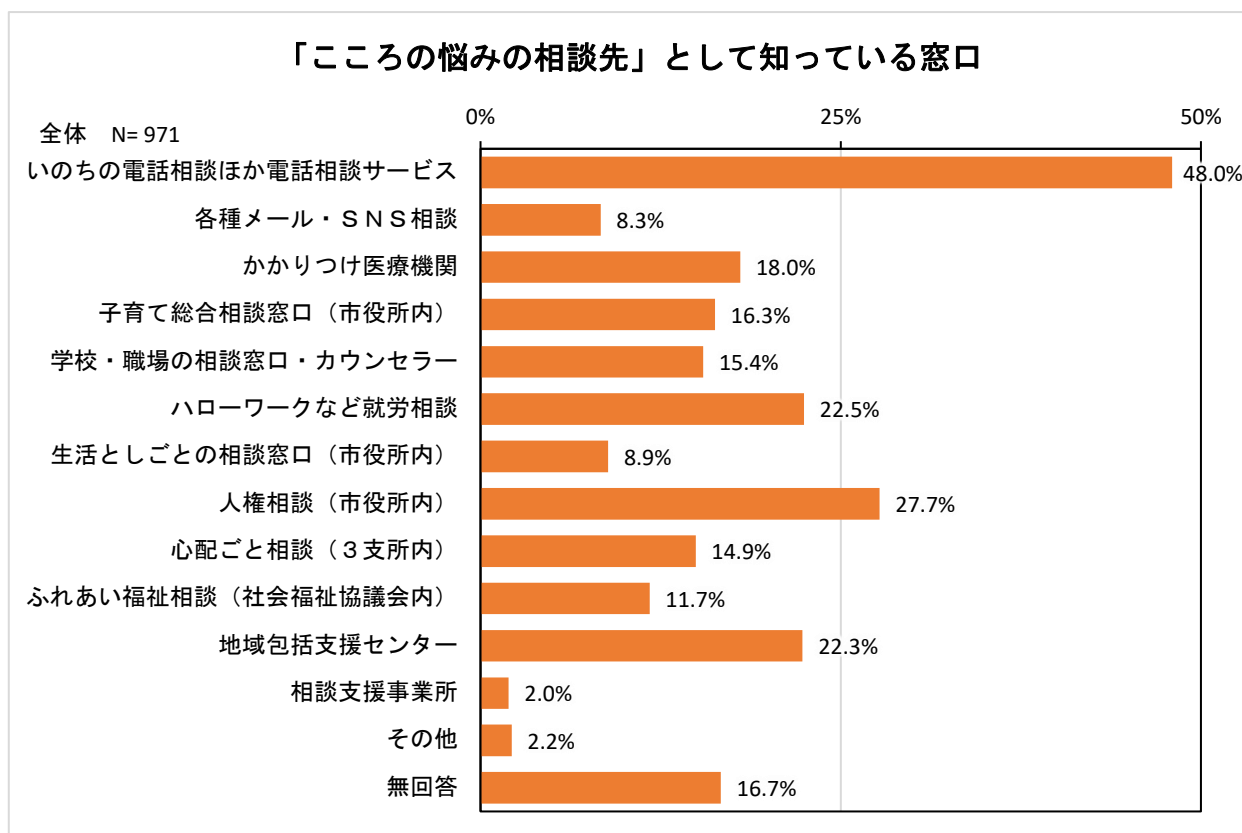
「いのち支えるまちづくり」の認知（年代別）



問 19 悩みの相談先として知っている窓口はどこですか。(該当するものすべてに○)

「いのちの電話相談ほか電話相談サービス」の割合が最も高く 48.0%、次いで「人権相談（市役所内）」の割合が 27.7%、「ハローワークなど就労相談」の割合が 22.5%となっています。

※地域包括支援センターは 22.3%と、全体で 4 番目の割合。

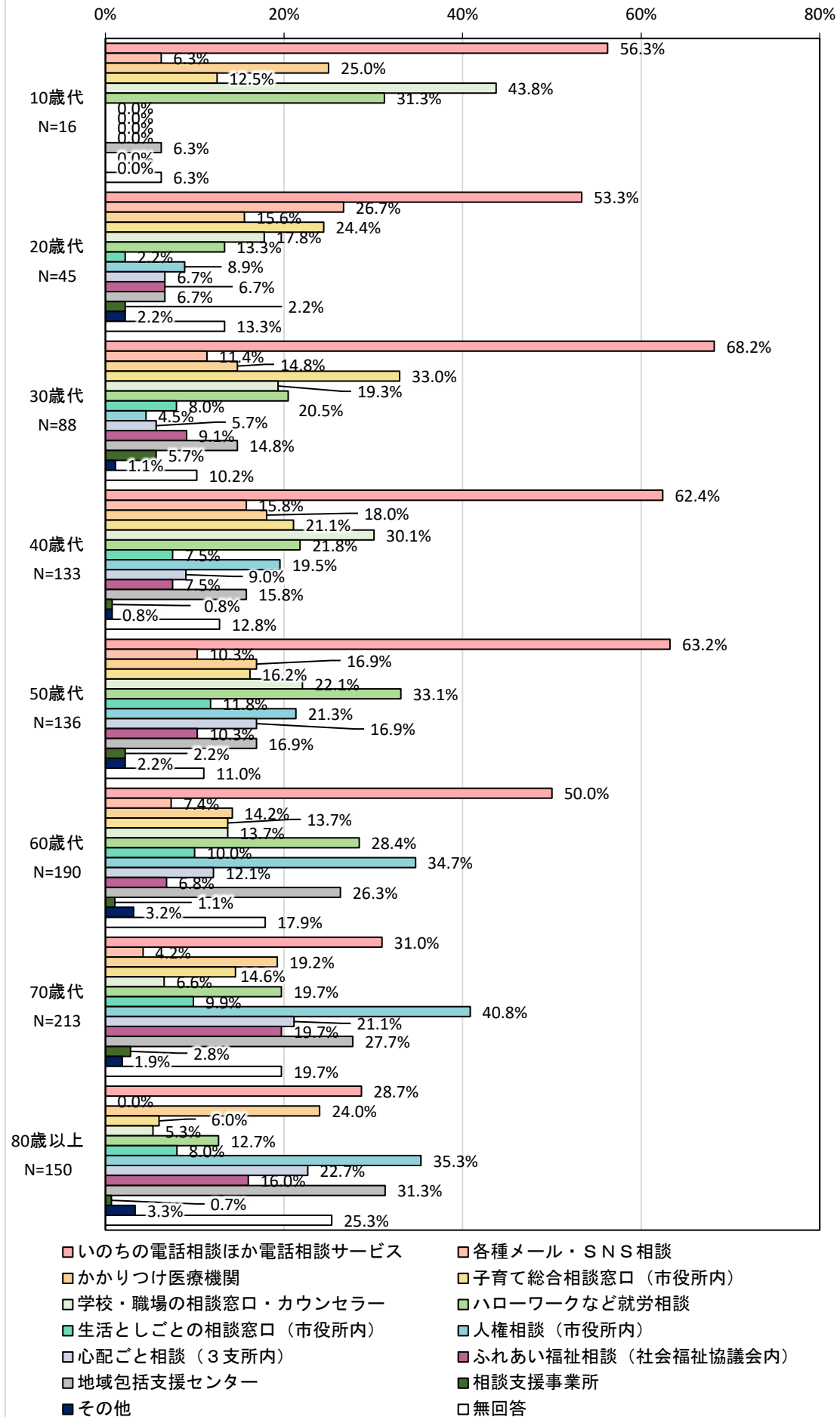


【年代別】

年代別でみると、10 歳代～70 歳代では「いのちの電話相談ほか電話相談サービス」の割合が最も高くなっています。80 歳以上では、「人権相談（市役所内）」の割合が最も高くなっています。

区分	有効回答数（件）	いのちの電話相談ほか電話相談サービス	各種メール・SNS相談	かかりつけ医療機関	子育て総合相談窓口（市役所内）	学校・職場の相談窓口・カウンセラー	ハローワークなど就労相談	生活としごとの相談窓口（市役所内）	人権相談（市役所内）	心配ごと相談（3支所内）	ふれあい福祉相談（社会福祉協議会内）	地域包括支援センター	相談支援事業所	その他	無回答
全体	971	48.0%	8.3%	18.0%	16.3%	15.4%	22.5%	8.9%	27.7%	14.9%	11.7%	22.3%	2.0%	2.2%	16.7%
10 歳代	16	56.3%	6.3%	25.0%	12.5%	43.8%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%
20 歳代	45	53.3%	26.7%	15.6%	24.4%	17.8%	13.3%	2.2%	8.9%	6.7%	6.7%	6.7%	2.2%	2.2%	13.3%
30 歳代	88	68.2%	11.4%	14.8%	33.0%	19.3%	20.5%	8.0%	4.5%	5.7%	9.1%	14.8%	5.7%	1.1%	10.2%
40 歳代	133	62.4%	15.8%	18.0%	21.1%	30.1%	21.8%	7.5%	19.5%	9.0%	7.5%	15.8%	0.8%	0.8%	12.8%
50 歳代	136	63.2%	10.3%	16.9%	16.2%	22.1%	33.1%	11.8%	21.3%	16.9%	10.3%	16.9%	2.2%	2.2%	11.0%
60 歳代	190	50.0%	7.4%	14.2%	13.7%	13.7%	28.4%	10.0%	34.7%	12.1%	6.8%	26.3%	1.1%	3.2%	17.9%
70 歳代	213	31.0%	4.2%	19.2%	14.6%	6.6%	19.7%	9.9%	40.8%	21.1%	19.7%	27.7%	2.8%	1.9%	19.7%
80 歳以上	150	28.7%	0.0%	24.0%	6.0%	5.3%	12.7%	8.0%	35.3%	22.7%	16.0%	31.3%	0.7%	3.3%	25.3%

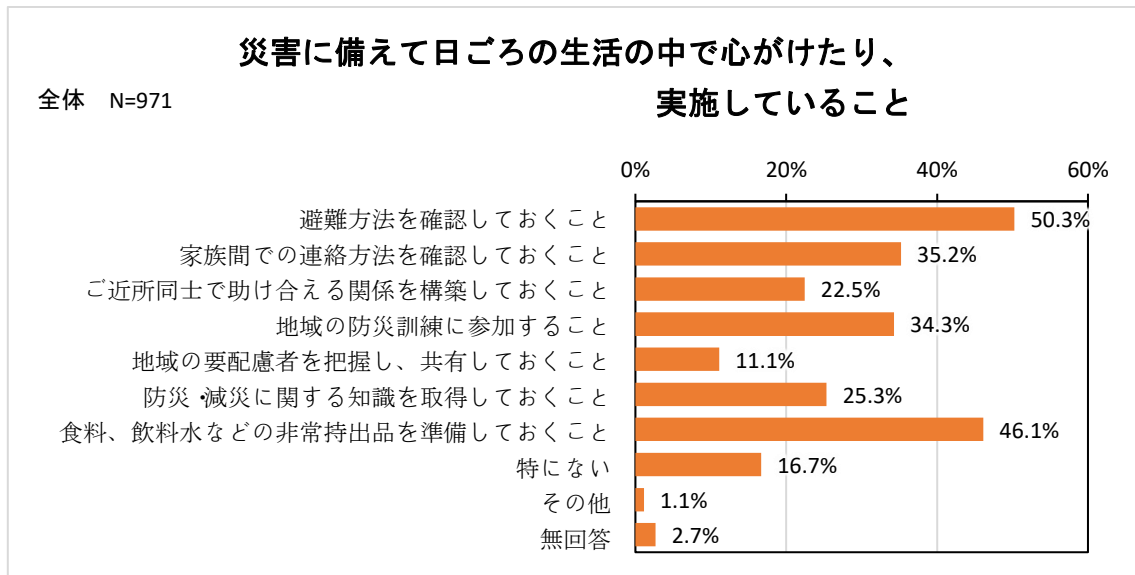
「こころの悩みの相談先」として知っている窓口 (年代別)



6 災害について

問 20 本市は甚大な豪雨災害を何度も経験しましたが、水害などの災害に備えて日ごろの生活の中で心がけたり、実施していることはありますか。
(該当するものすべてに○)

「避難方法を確認しておくこと」の割合が最も高く 50.3%、次いで「食料、飲料水などの非常持出品を準備しておくこと」の割合が 46.1%、「家族間での連絡方法を確認しておくこと」の割合が 35.2% となっています。

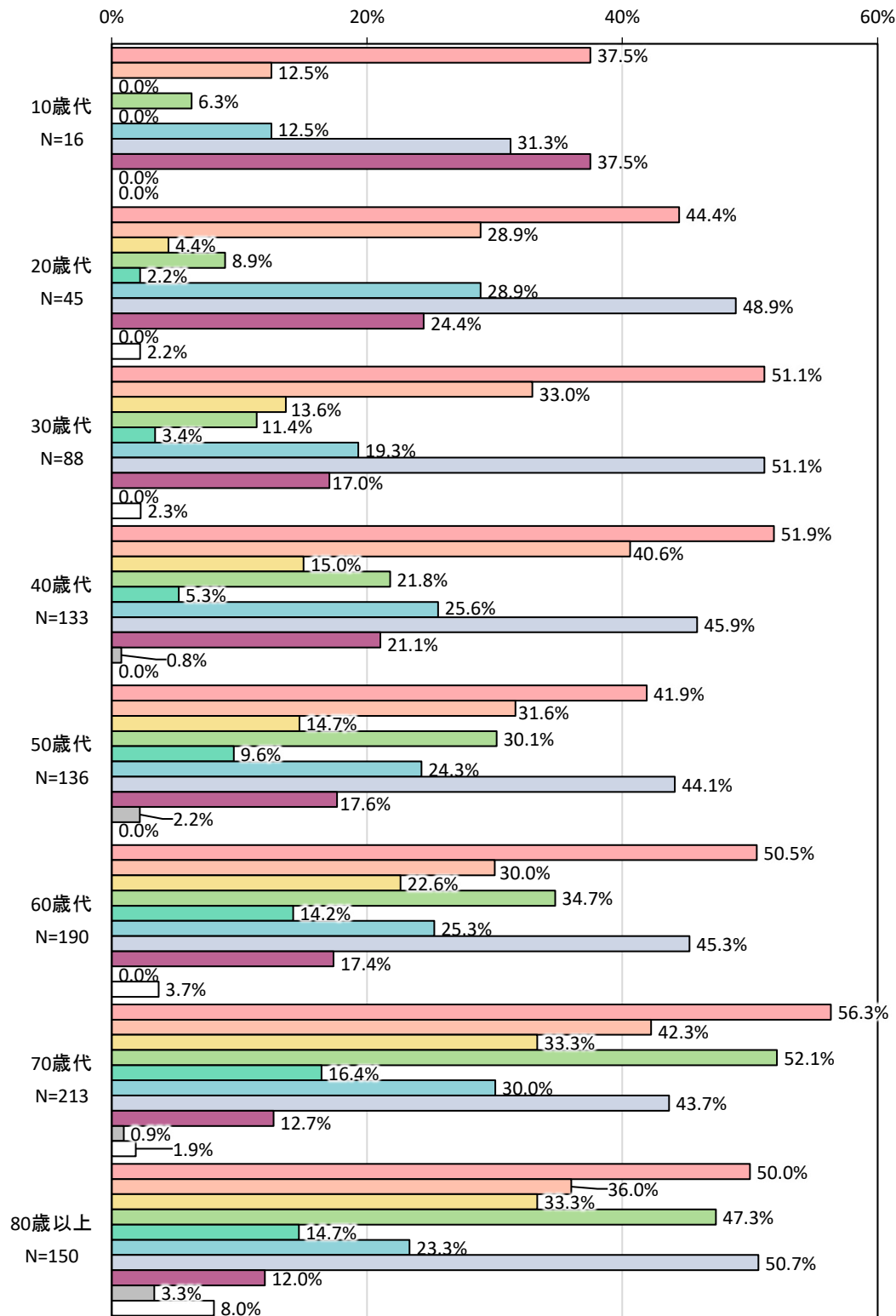


【年代別】

年代別でみると、ほとんどの年代で、「避難方法を確認しておくこと」と「食料、飲料水等の非常持出品を準備しておくこと」の割合が高くなっています。

区分	有効回答数(件)	避難方法を確認しておくこと	家族間での連絡方法を確認しておくこと	ご近所同士で助け合える関係を構築しておくこと	地域の防災訓練に参加すること	地域の要配慮者を把握し、共有しておくこと	防災・減災に関する知識を取得しておくこと	食料、飲料水などの非常持出品を準備しておくこと	特にない	その他	無回答
全体	971	50.3%	35.2%	22.5%	34.3%	11.1%	25.3%	46.1%	16.7%	1.1%	2.7%
10歳代	16	37.5%	12.5%	0.0%	6.3%	0.0%	12.5%	31.3%	37.5%	0.0%	0.0%
20歳代	45	44.4%	28.9%	4.4%	8.9%	2.2%	28.9%	48.9%	24.4%	0.0%	2.2%
30歳代	88	51.1%	33.0%	13.6%	11.4%	3.4%	19.3%	51.1%	17.0%	0.0%	2.3%
40歳代	133	51.9%	40.6%	15.0%	21.8%	5.3%	25.6%	45.9%	21.1%	0.8%	0.0%
50歳代	136	41.9%	31.6%	14.7%	30.1%	9.6%	24.3%	44.1%	17.6%	2.2%	0.0%
60歳代	190	50.5%	30.0%	22.6%	34.7%	14.2%	25.3%	45.3%	17.4%	0.0%	3.7%
70歳代	213	56.3%	42.3%	33.3%	52.1%	16.4%	30.0%	43.7%	12.7%	0.9%	1.9%
80歳以上	150	50.0%	36.0%	33.3%	47.3%	14.7%	23.3%	50.7%	12.0%	3.3%	8.0%

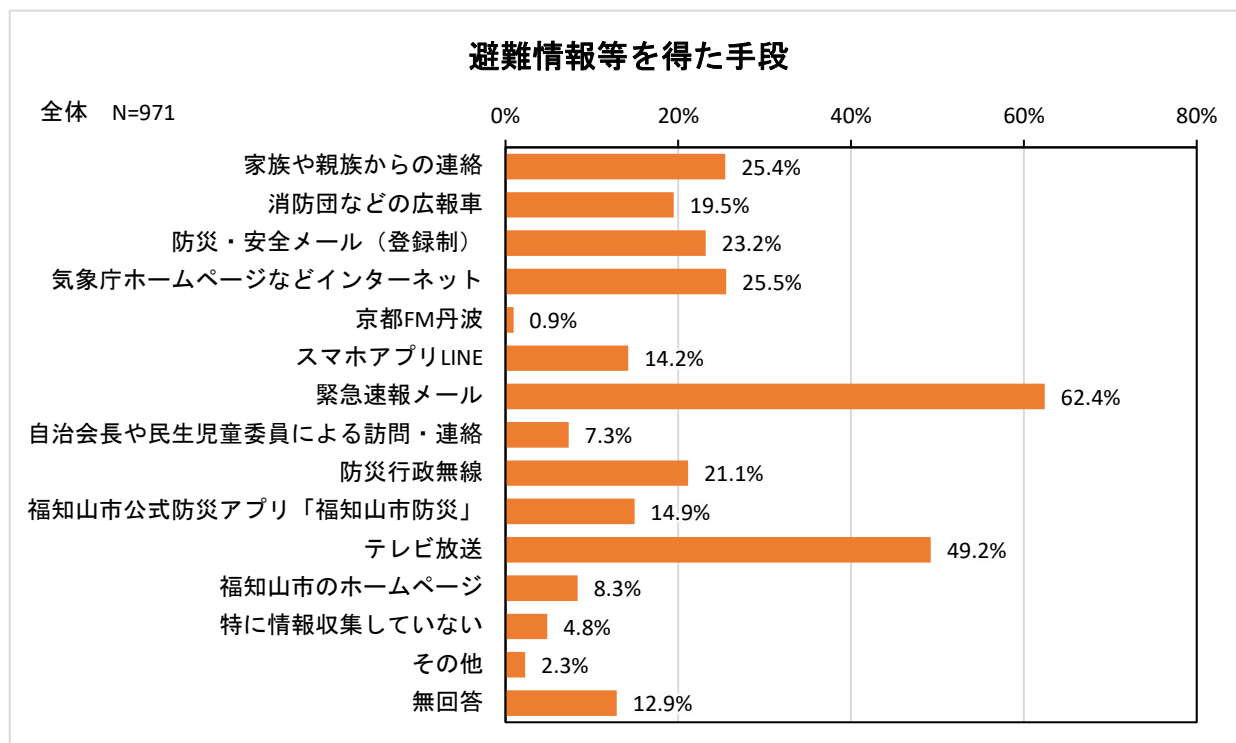
災害に備えて日ごろの生活の中で心がけたり、
実施していること（年代別）



- 避難方法を確認しておくこと
- 家族間での連絡方法を確認しておくこと
- ご近所同士で助け合える関係を構築しておくこと
- 地域の防災訓練に参加すること
- 地域の要配慮者を把握し、共有しておくこと
- 防災・減災に関する知識を取得しておくこと
- 食料、飲料水などの非常持出品を準備しておくこと
- 特にない
- その他
- 無回答

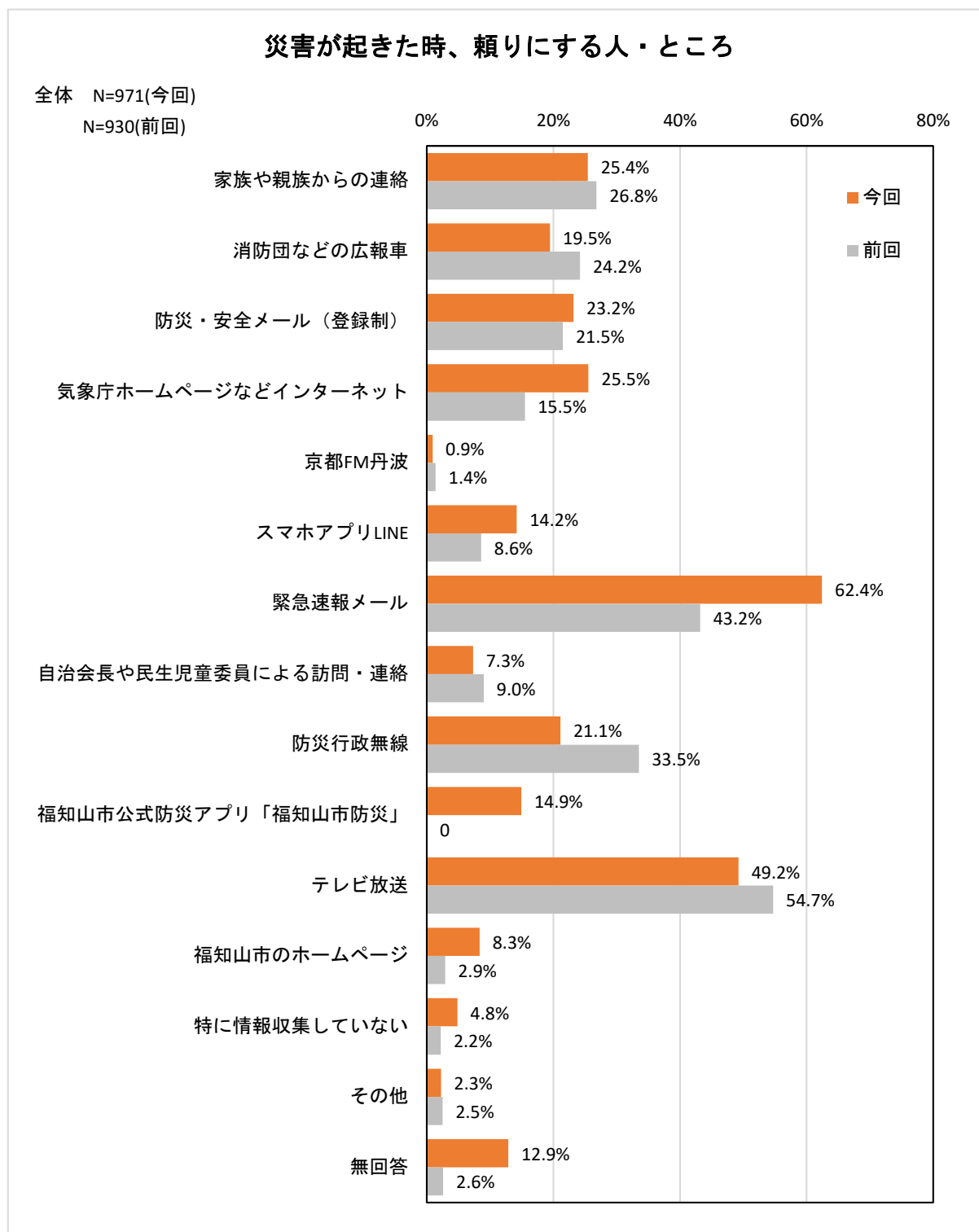
問 21 平成 29 年台風 21 号、平成 30 年 7 月豪雨災害の当時やそれ以降、大雨時や台風接近時など、どのような手段で避難情報などを知りましたか。(該当するものすべてに○)

「緊急速報メール」の割合が最も高く 62.4%、次いで「テレビ放送」の割合が 49.2%、「気象庁ホームページなどインターネット」の割合が 25.5%となっています。



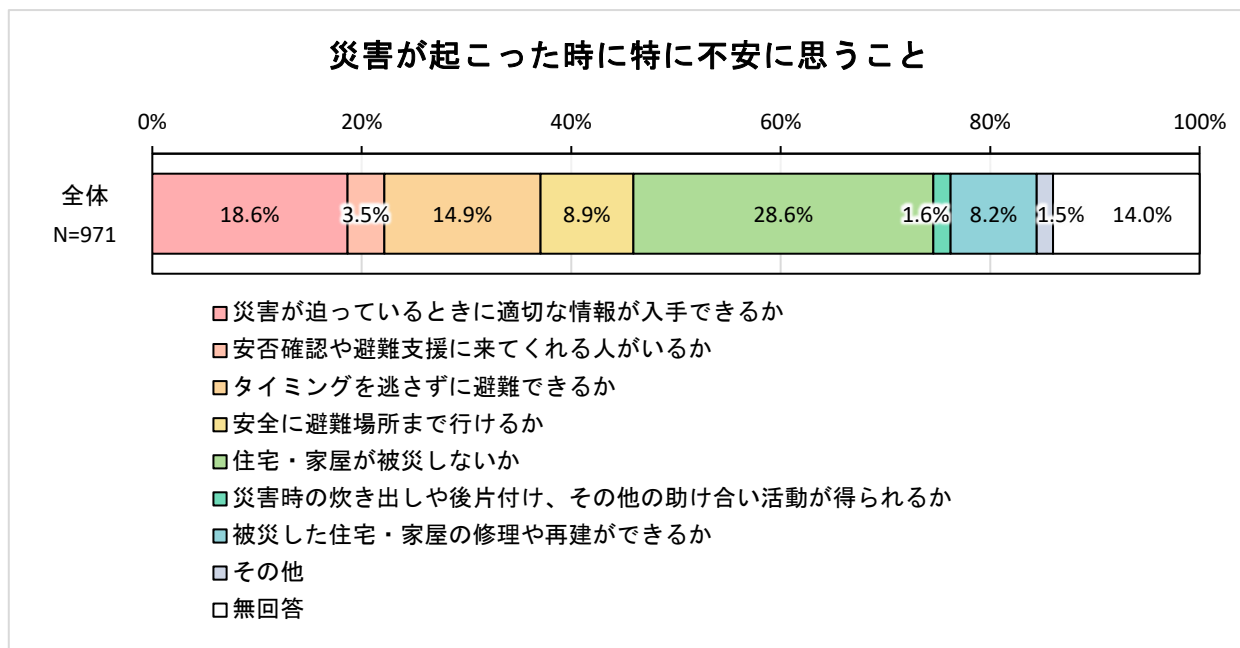
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「緊急速報メール」の割合が19.2ポイント（43.2%→62.4%）増加しています。また、新しい項目「福知山市公式防災アプリ「福知山市防災」」の割合は14.9%となっています。「防災行政無線」の割合が、12.4ポイント（33.5%→21.1%）減少しています。



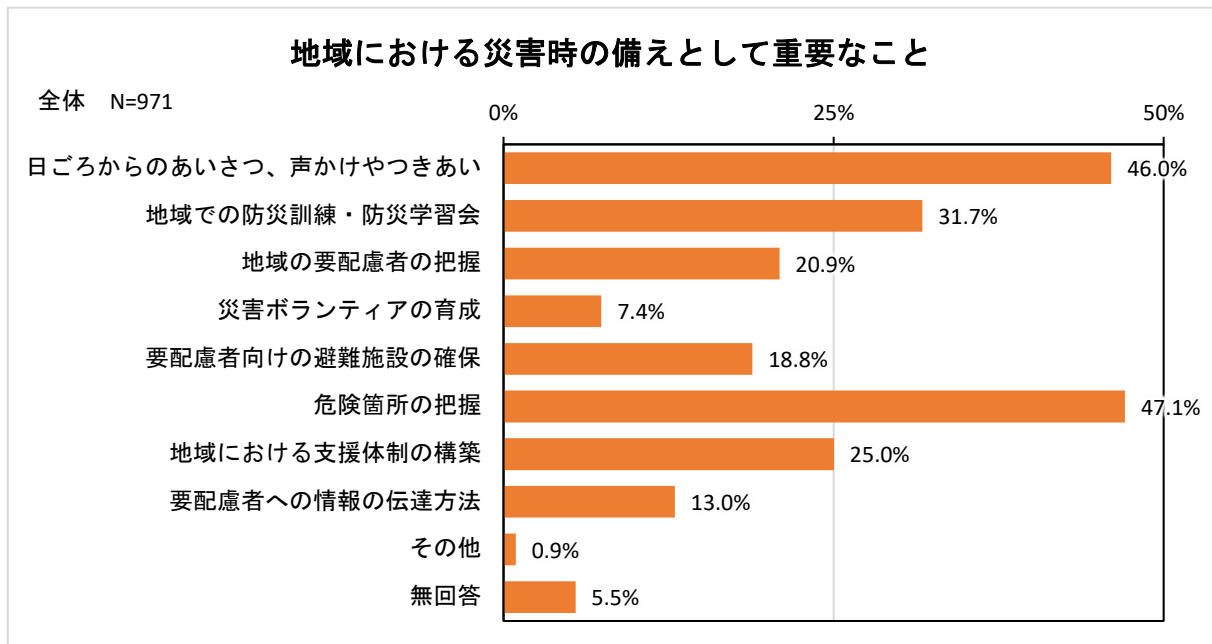
問 22 災害が起こった時に特に不安に思うことはどれですか。(○は1つ)

「住宅・家屋が被災しないか」の割合が最も高く 28.6%、次いで「災害が迫っているときに適切な情報が入手できるか」の割合が 18.6%、「タイミングを逃さずに避難できるか」の割合が 14.9%となっています。



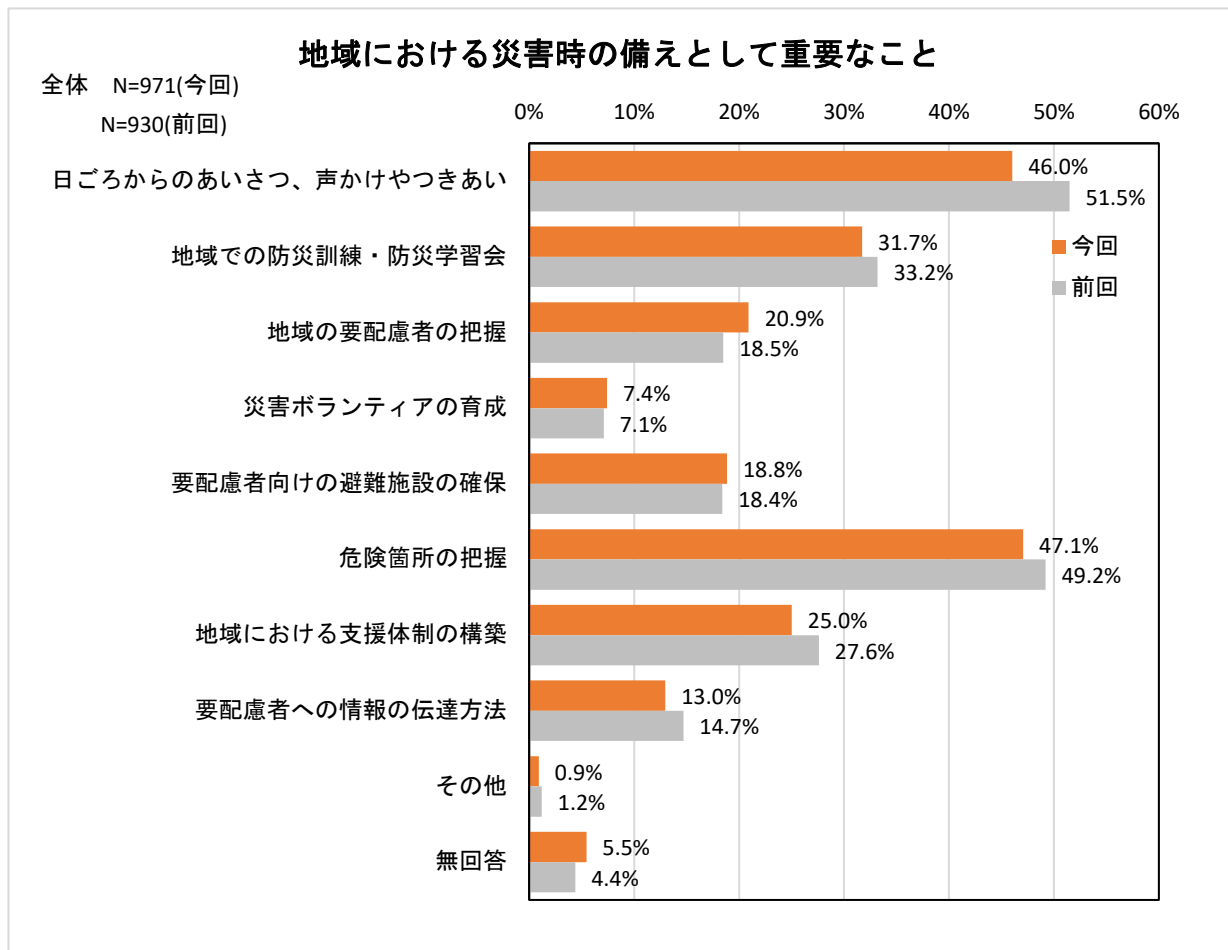
問 23 あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「危険箇所の把握」の割合が最も高く 47.1%、次いで「日ごろからのあいさつ、声かけやつきあい」の割合が 46.0%、「地域での防災訓練・防災学習会」の割合が 31.7%となっています。



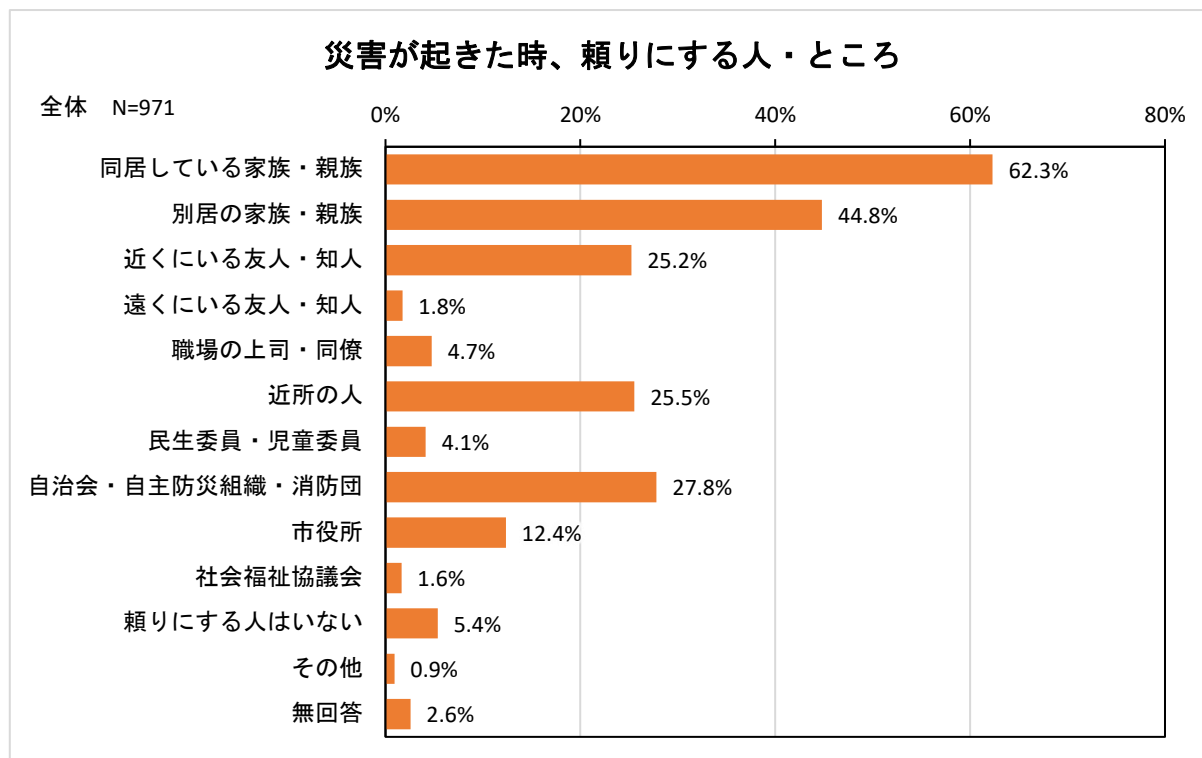
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「日ごろからのあいさつ、声かけやつきあい」の割合が 5.5 ポイント (51.5% → 46.0%) 減少しています。



問 24 災害が起きた時、あなたは誰を（どこを）頼りにしますか。（○は3つまで）

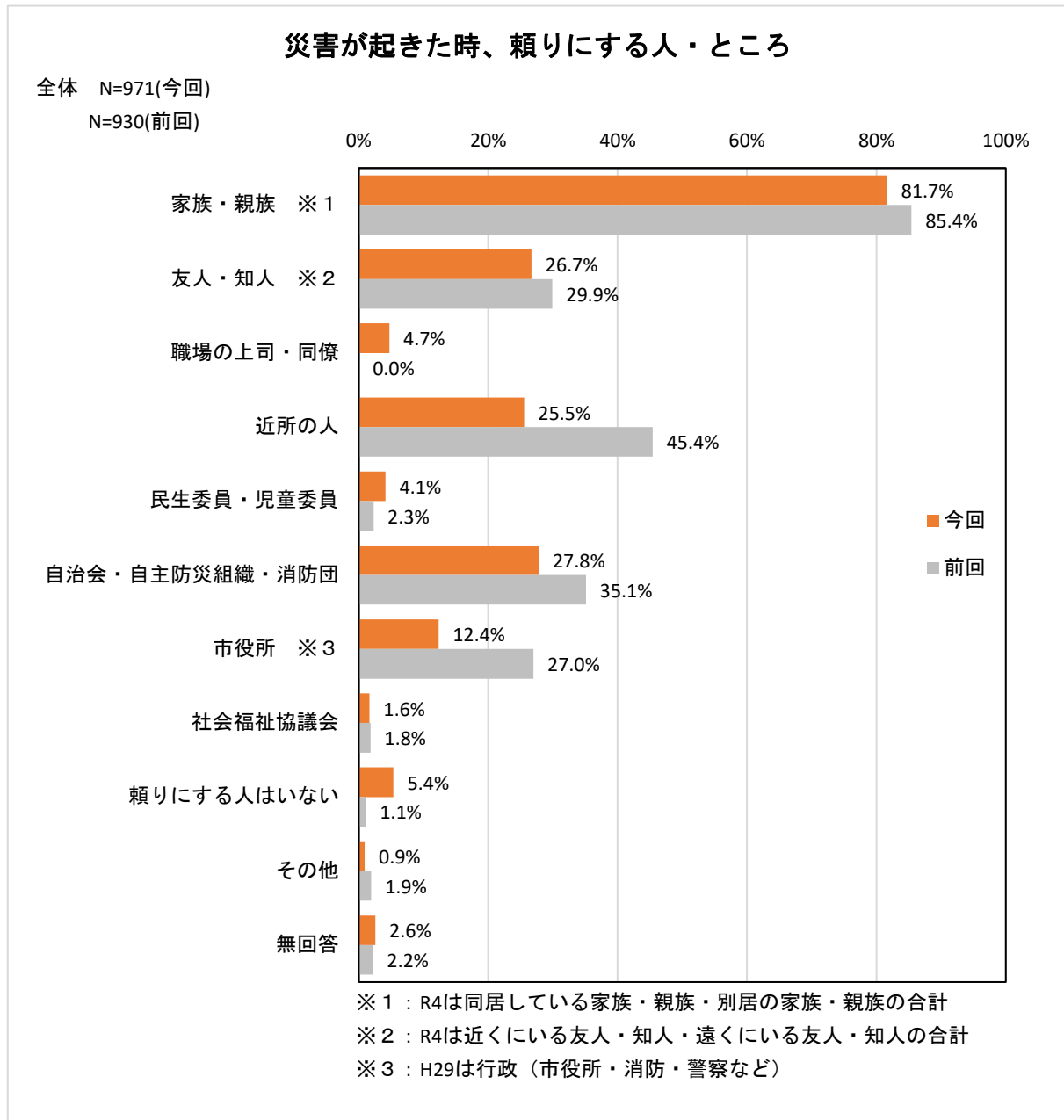
「同居している家族・親族」の割合が最も高く 62.3%、次いで「別居の家族・親族」の割合が 44.8%、「自治会・自主防災組織・消防団」の割合が 27.8%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、多くの項目で減少しており、「近所の人」では19.9ポイント(45.4%→25.5%)、「市役所」では14.6ポイント(27.0%→12.4%)減少しています。

新たな項目「職場の上司・同僚」の割合は4.7%となっています。

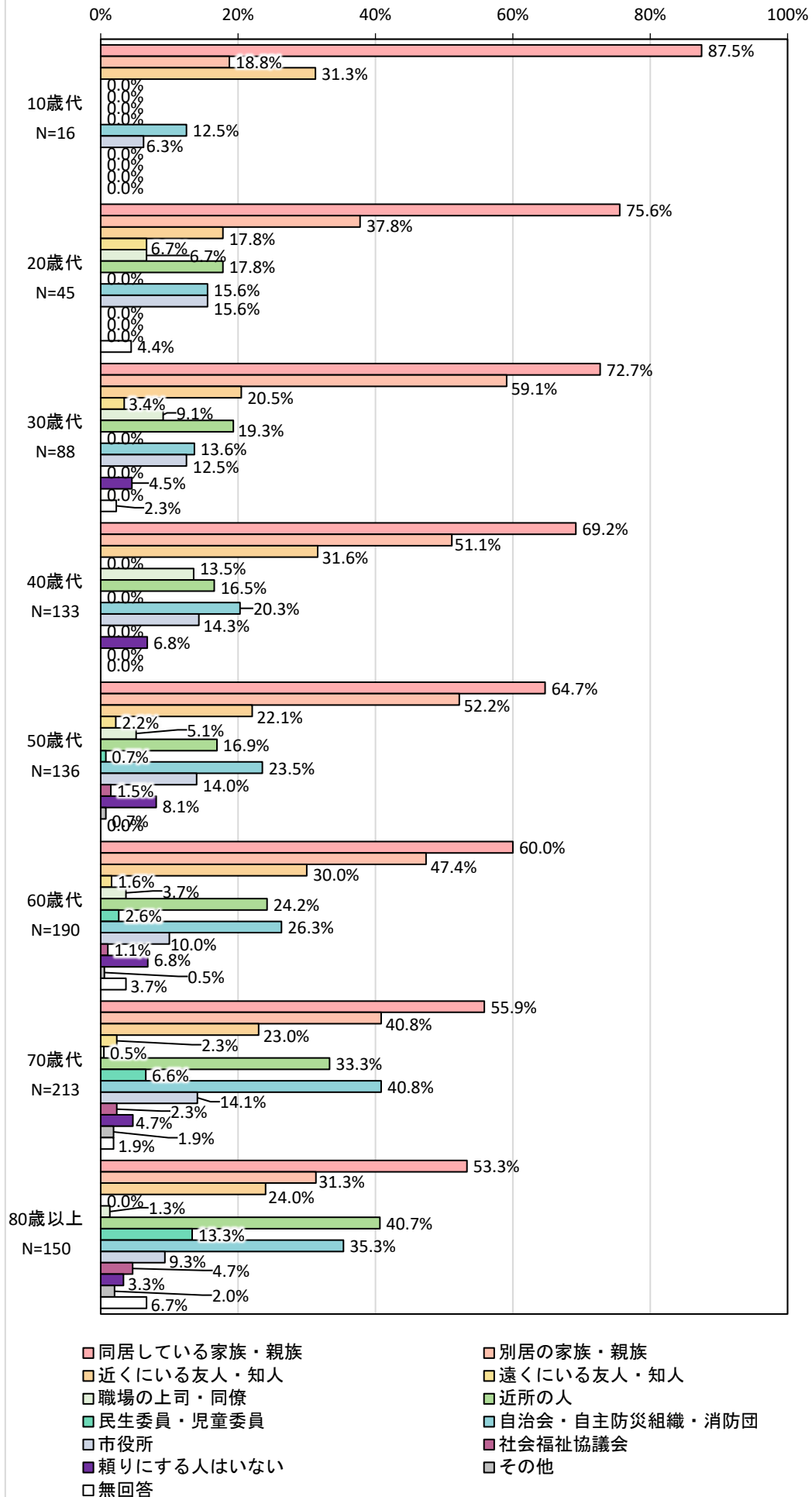


【年代別】

年代別でみると、全ての年代で、「同居している家族・親族」の割合が高くなっています。

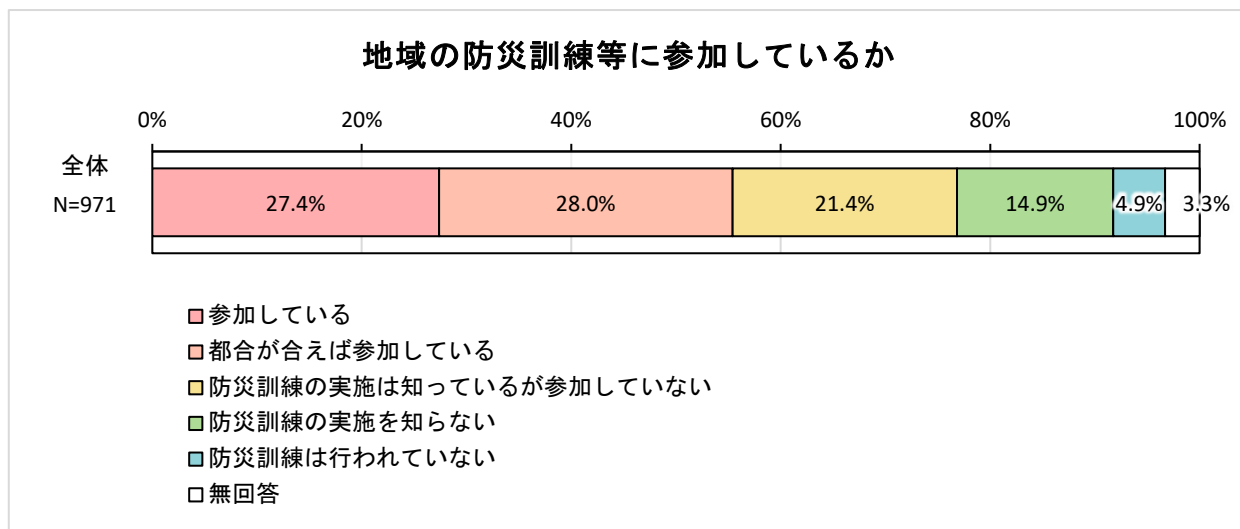
区分	有効回答数（件）	同居している家族・親族	別居の家族・親族	近くにいる友人・知人	遠くにいる友人・知人	職場の上司・同僚	近所の人	民生委員・児童委員	自治会・自主防災組織・消防団	市役所	社会福祉協議会	頼りにする人はいない	その他	無回答
全体	971	62.3%	44.8%	25.2%	1.8%	4.7%	25.5%	4.1%	27.8%	12.4%	1.6%	5.4%	0.9%	2.6%
10 歳代	16	87.5%	18.8%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20 歳代	45	75.6%	37.8%	17.8%	6.7%	6.7%	17.8%	0.0%	15.6%	15.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%
30 歳代	88	72.7%	59.1%	20.5%	3.4%	9.1%	19.3%	0.0%	13.6%	12.5%	0.0%	4.5%	0.0%	2.3%
40 歳代	133	69.2%	51.1%	31.6%	0.0%	13.5%	16.5%	0.0%	20.3%	14.3%	0.0%	6.8%	0.0%	0.0%
50 歳代	136	64.7%	52.2%	22.1%	2.2%	5.1%	16.9%	0.7%	23.5%	14.0%	1.5%	8.1%	0.7%	0.0%
60 歳代	190	60.0%	47.4%	30.0%	1.6%	3.7%	24.2%	2.6%	26.3%	10.0%	1.1%	6.8%	0.5%	3.7%
70 歳代	213	55.9%	40.8%	23.0%	2.3%	0.5%	33.3%	6.6%	40.8%	14.1%	2.3%	4.7%	1.9%	1.9%
80 歳以上	150	53.3%	31.3%	24.0%	0.0%	1.3%	40.7%	13.3%	35.3%	9.3%	4.7%	3.3%	2.0%	6.7%

災害が起きた時、頼りにする人・ところ（年代別）



問 25 あなたは、日頃から地域の防災訓練などに参加していますか。(○は1つ)

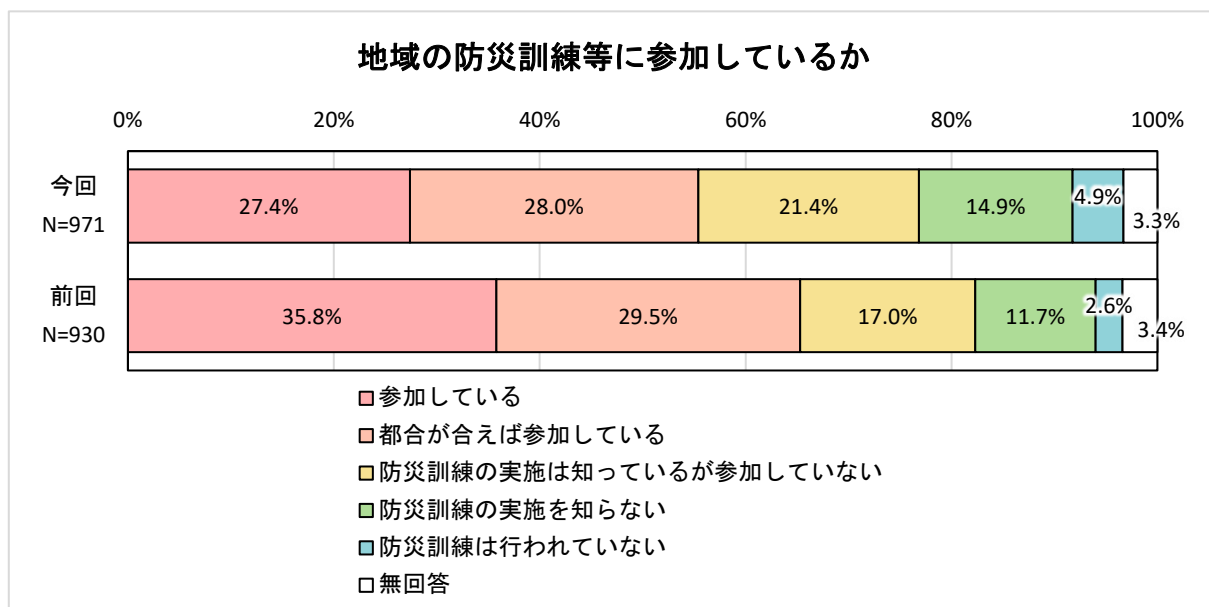
「都合があえば参加している」の割合が28.0%と最も高く、次いで「参加している」の割合が27.4%、「訓練の実施は知っているが参加していない」の割合が21.4%となっています。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「参加している」の割合が、8.4 ポイント減少しており（35.8%→27.4%）、「参加している」の割合が、「都合があえば参加している」の割合よりも少なくなっています。

「参加している」と「都合があえば参加している」の合計でも、9.9 ポイント減少しています。（65.3%（35.8%+29.5%）→55.4%（27.4%+28.0%））



7 福知山市の地域福祉の取組について

問 26 福知山市が、誰もが安心して暮らし続けることができるまちになるためには、次の①～⑩の項目について、どの程度重要だと思いますか。また、あなたは現在の福知山市の状況について、どの程度満足されていますか。あなた自身のお考えにもっともあてはまる箇所を、重要度と満足度からそれぞれ1つずつ選んでください。

【ポートフォリオによる分析の考え方】

満足度と重要度を下表のような配分で点数化し、その点数の合計値を、無回答を除いた各設問の回答総数で割り、満足度・重要度を得点化しました。

さらに、各項目の満足度と重要度の得点の関係について分布図を作成し、ポートフォリオ分析により、今後の方向性を分析しました。

【重要度・満足度の得点化の手順】

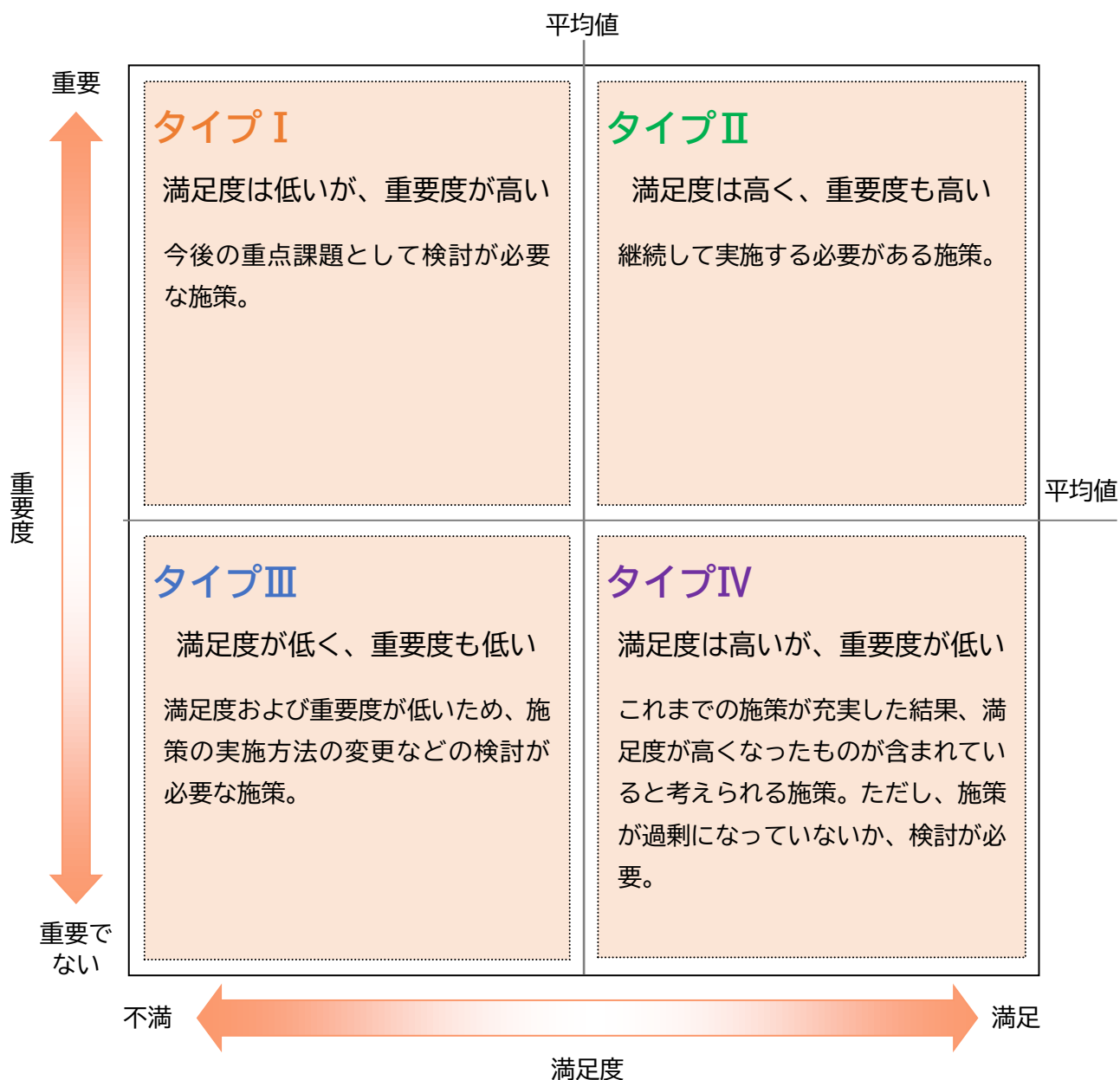
重要度	得点	満足度	得点
高	2 点	高	2 点
やや高	1 点	やや高	1 点
やや低	-1 点	やや低	-1 点
低	-2 点	低	-2 点
無回答	計算対象外	無回答	計算対象外

【得点※の算出式】

$$\begin{array}{l}
 2 \text{ 点} \times \text{「高」の回答数} \\
 1 \text{ 点} \times \text{「やや高」の回答数} \\
 -1 \text{ 点} \times \text{「やや低」の回答数} \\
 -2 \text{ 点} \times \text{「低」の回答数}
 \end{array}
 \left. \vphantom{\begin{array}{l} 2 \text{ 点} \times \text{「高」の回答数} \\ 1 \text{ 点} \times \text{「やや高」の回答数} \\ -1 \text{ 点} \times \text{「やや低」の回答数} \\ -2 \text{ 点} \times \text{「低」の回答数} \end{array}} \right\} \text{これらの数値の和}$$

無回答を除いた設問の回答総数

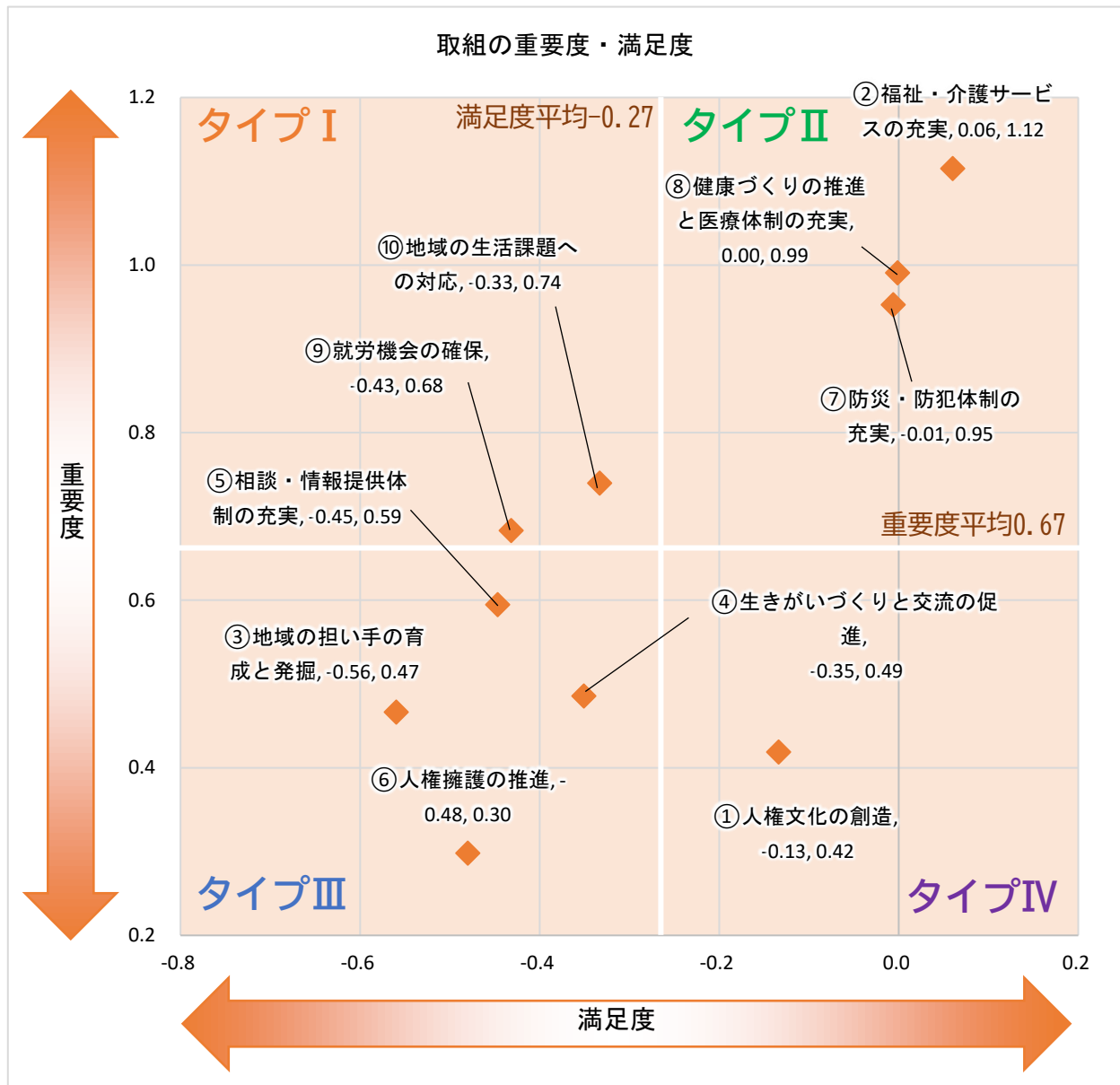
※得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。



※ポートフォリオとは、各属性についての満足度と総合満足度への影響度を2次元にプロットした図です。それぞれの選択肢を5段階評価で聞き、X軸に各属性の平均満足度、Y軸に重要度（期待度）として総合満足度と各満足度の偏相関係数を表しています。なお、図は4象限にわけられ、象限をわける境界線は、満足度、重要度の各平均値を使用しています。

●全体 (N=971)

ポートフォリオ※による評価については、「⑨就労機会の確保」、「⑩地域の生活課題への対応」が、重要度が高いものの満足度が低くなっています（タイプⅠ）。



区分	満足度	重要度
①人権文化の創造	-0.13	0.42
②福祉・介護サービスの充実※	0.06	1.12
③地域の担い手の育成と発掘	-0.56	0.47
④生きがいづくりと交流の促進	-0.35	0.49
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.45	0.59
⑥人権擁護の推進	-0.48	0.30
⑦防災・防犯体制の充実	-0.01	0.95
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.00	0.99
⑨就労機会の確保	-0.43	0.68
⑩地域の生活課題への対応	-0.33	0.74
平均	-0.27	0.67

【前回調査との比較】

<満足度>

前回調査と比較すると、「⑧健康づくりの推進と医療体制の充実（タイプⅡ）」の満足度が0.32ポイント減少しています（0.32→0）。また、「②福祉・介護サービスの充実*（タイプⅡ）」の満足度は、0.33ポイント増加（-0.27→0.06）しています。

<重要度>

一方、「①人権文化の創造（タイプⅣ）」の重要度が0.31ポイント減少（0.73→0.42）しています。また、「②福祉・介護サービスの充実*（タイプⅡ）」の重要度は0.55ポイント増加（0.57→1.12）しています。

*前回調査では②福祉に関する教育の推進

区分	R4					前回		
	タイプ	満足度	前回との差	重要度	前回との差	タイプ	満足度	重要度
①人権文化の創造	タイプⅣ	-0.13	-0.15	0.42	-0.31	タイプⅡ	0.02	0.73
②福祉・介護サービスの充実※	タイプⅡ	0.06	0.33	1.12	0.55	タイプⅢ	-0.27	0.57
③地域の担い手の育成と発掘	タイプⅢ	-0.56	0.11	0.47	0.06	タイプⅢ	-0.67	0.41
④生きがいづくりと交流の促進	タイプⅢ	-0.35	-0.19	0.49	-0.01	タイプⅣ	-0.16	0.50
⑤相談・情報提供体制の充実	タイプⅢ	-0.45	0.07	0.59	0.05	タイプⅢ	-0.52	0.54
⑥人権擁護の推進	タイプⅢ	-0.48	-0.01	0.30	-0.02	タイプⅢ	-0.47	0.32
⑦防災・防犯体制の充実	タイプⅡ	-0.01	-0.11	0.95	-0.05	タイプⅡ	0.10	1.00
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	タイプⅡ	0.00	-0.32	0.99	-0.07	タイプⅡ	0.32	1.06
⑨就労機会の確保	タイプⅠ	-0.43	0.07	0.68	0.15	タイプⅢ	-0.50	0.53
⑩地域の生活課題への対応	タイプⅠ	-0.33	0.05	0.74	0.09	タイプⅠ	-0.38	0.65
合計		-2.68	-0.15	6.75	0.44		-2.53	6.31
平均		-0.27		0.67			-0.25	0.63

それぞれの項目のタイプの変化は以下のとおりです。

「①人権文化の創造」の重要度は下がっています。また、「④生きがいづくりと交流の促進」の満足度が下がっています。

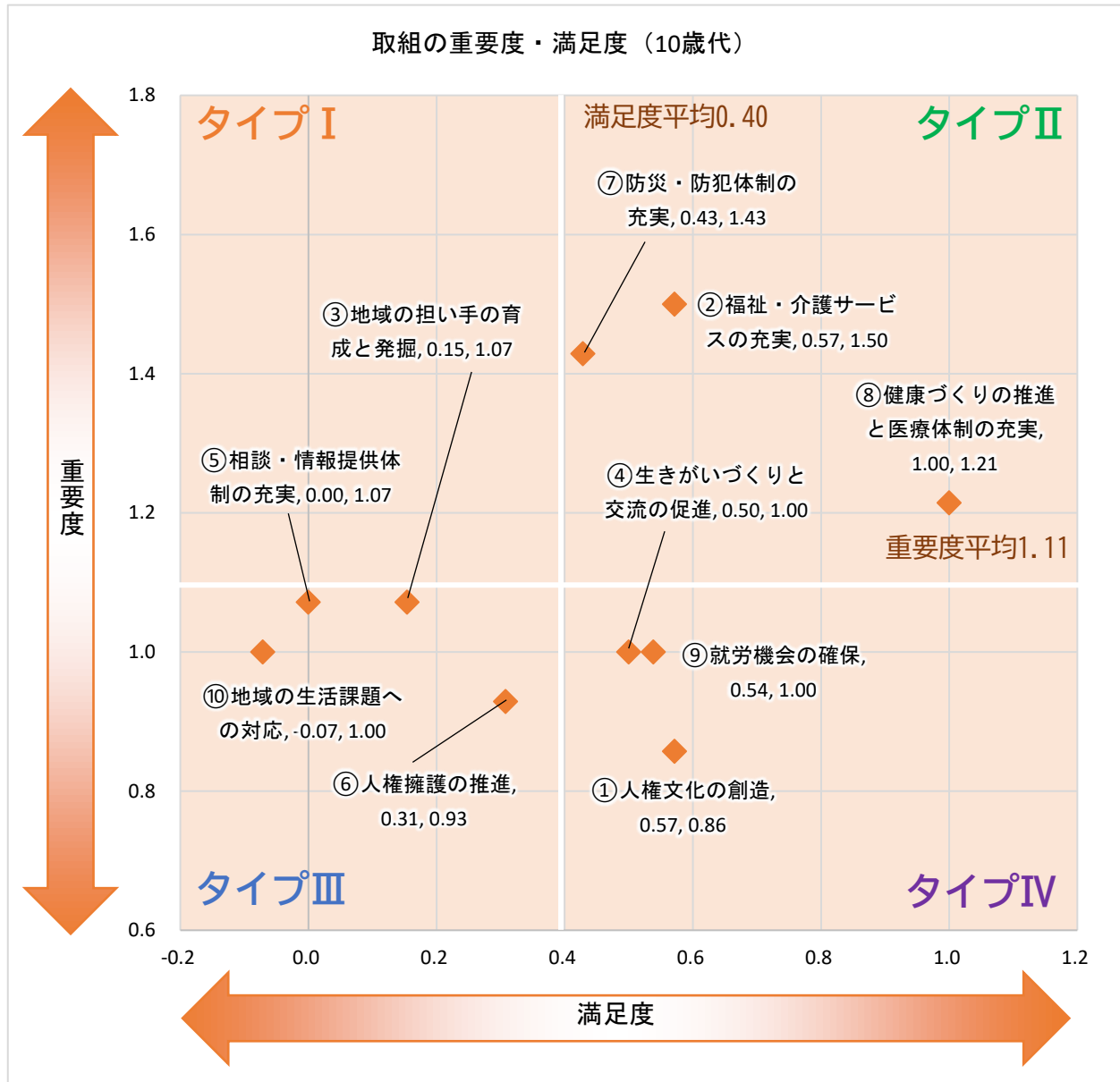
「②福祉・介護サービスの充実」は、満足度・重要度ともに上がっており、「⑨就労機会の確保」は重要度が上がっています。

区分	R4		前回	変化
①人権文化の創造	タイプⅣ	←	タイプⅡ	重要度↓
②福祉・介護サービスの充実※	タイプⅡ	←	タイプⅢ	満足度↑ 重要度↑
③地域の担い手の育成と発掘	タイプⅢ	←	タイプⅢ	
④生きがいづくりと交流の促進	タイプⅢ	←	タイプⅣ	満足度↓
⑤相談・情報提供体制の充実	タイプⅢ	←	タイプⅢ	
⑥人権擁護の推進	タイプⅢ	←	タイプⅢ	
⑦防災・防犯体制の充実	タイプⅡ	←	タイプⅡ	
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	タイプⅡ	←	タイプⅡ	
⑨就労機会の確保	タイプⅠ	←	タイプⅢ	重要度↑
⑩地域の生活課題への対応	タイプⅠ	←	タイプⅠ	

【年代別】

① 10 歳代 (N=16)

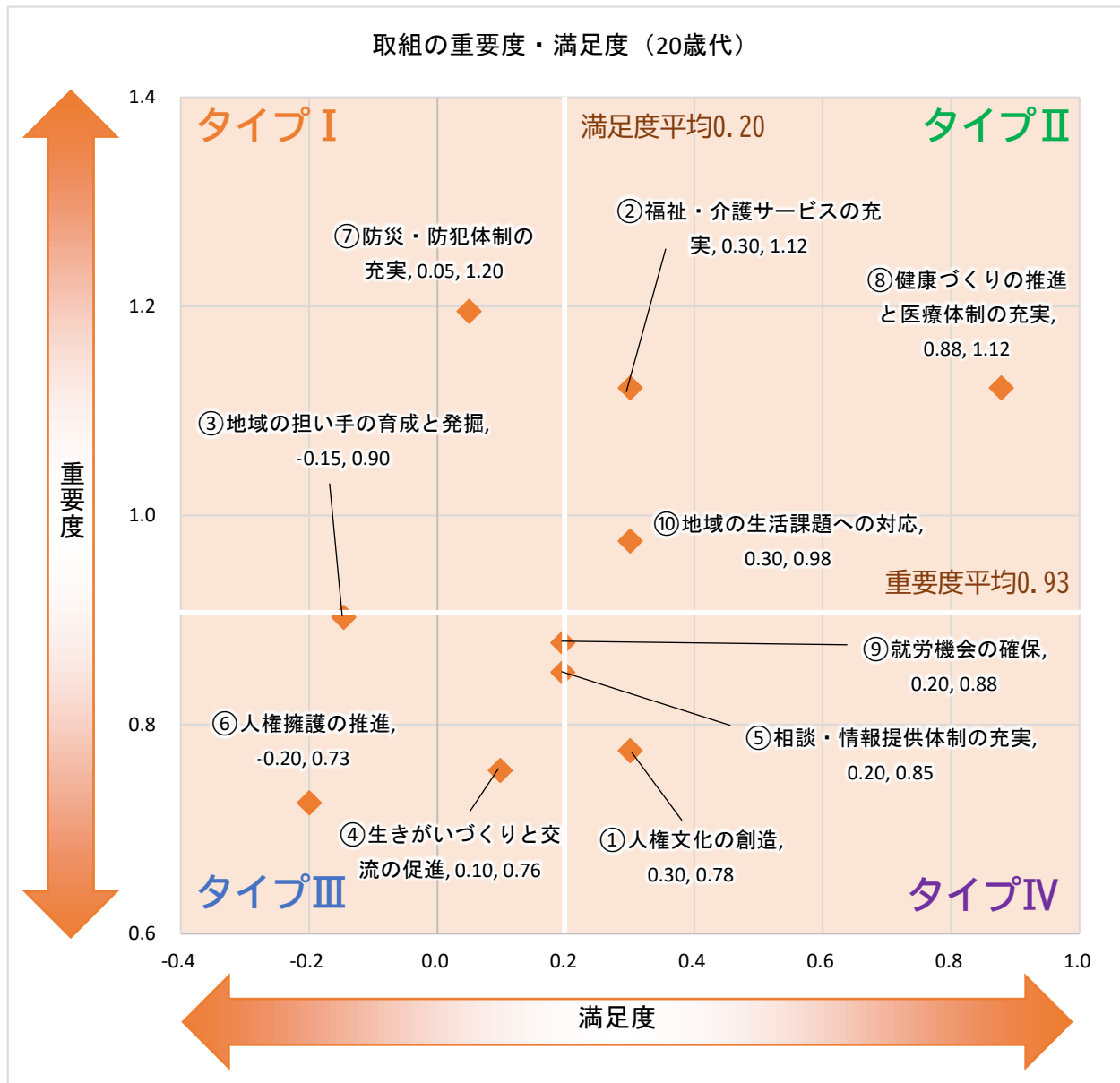
ポートフォリオによる評価については、タイプⅠ（重要度が高く、満足度が低い）の項目はありません。



区分	満足度	重要度
①人権文化の創造	0.57	0.86
②福祉・介護サービスの充実※	0.57	1.50
③地域の担い手の育成と発掘	0.15	1.07
④生きがいづくりと交流の促進	0.50	1.00
⑤相談・情報提供体制の充実	0.00	1.07
⑥人権擁護の推進	0.31	0.93
⑦防災・防犯体制の充実	0.43	1.43
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	1.00	1.21
⑨就労機会の確保	0.54	1.00
⑩地域の生活課題への対応	-0.07	1.00
平均	0.40	1.11

② 20 歳代 (N=45)

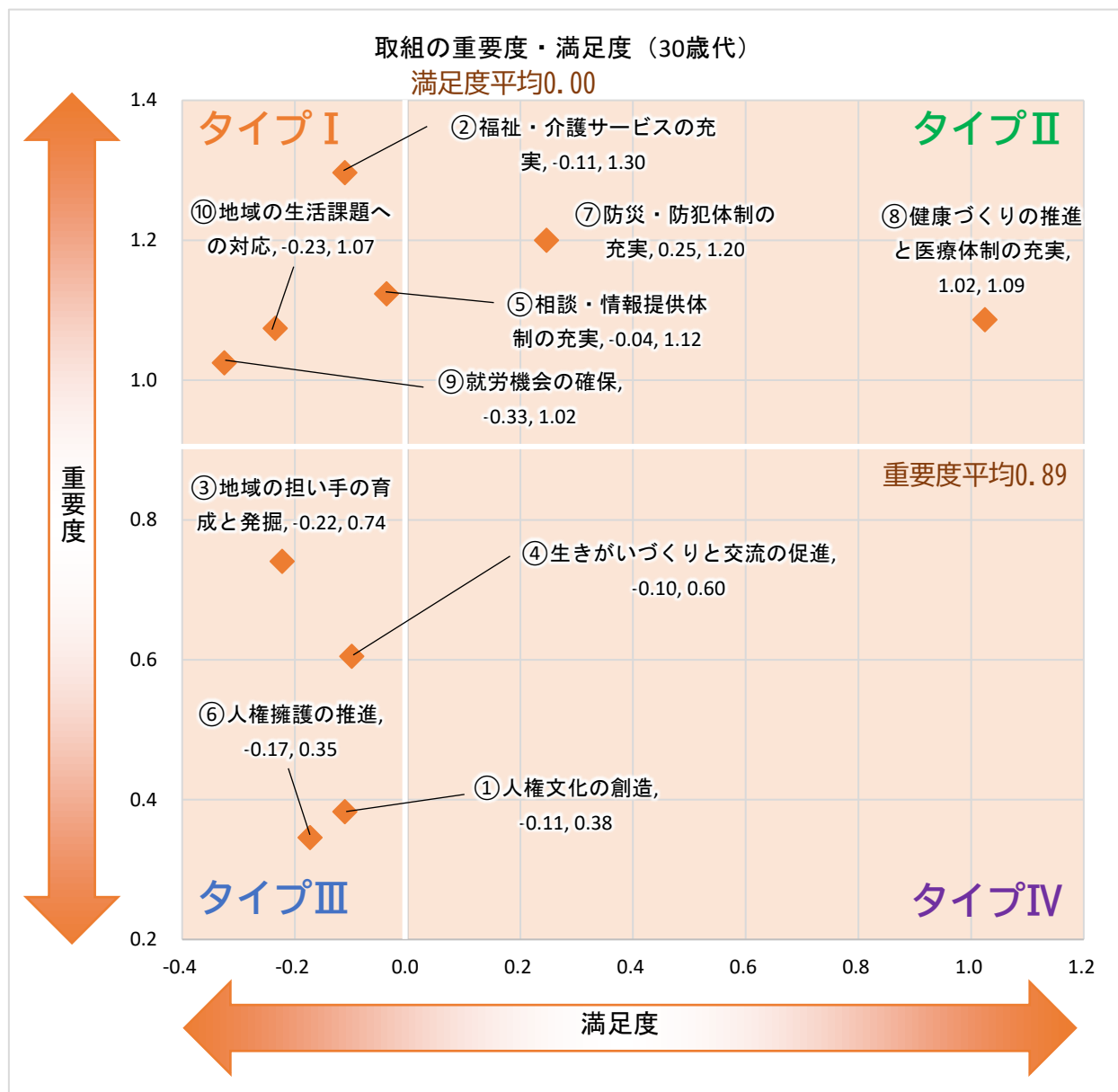
ポートフォリオによる評価については、「⑦防災・防犯体制の充実」が、タイプⅠ（重要度が高く、満足度が低い）となっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権文化の創造	0.30	0.78
②福祉・介護サービスの充実※	0.30	1.12
③地域の担い手の育成と発掘	-0.15	0.90
④生きがいづくりと交流の促進	0.10	0.76
⑤相談・情報提供体制の充実	0.20	0.85
⑥人権擁護の推進	-0.20	0.73
⑦防災・防犯体制の充実	0.05	1.20
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.88	1.12
⑨就労機会の確保	0.20	0.88
⑩地域の生活課題への対応	0.30	0.98
平均	0.20	0.93

③ 30 歳代 (N=88)

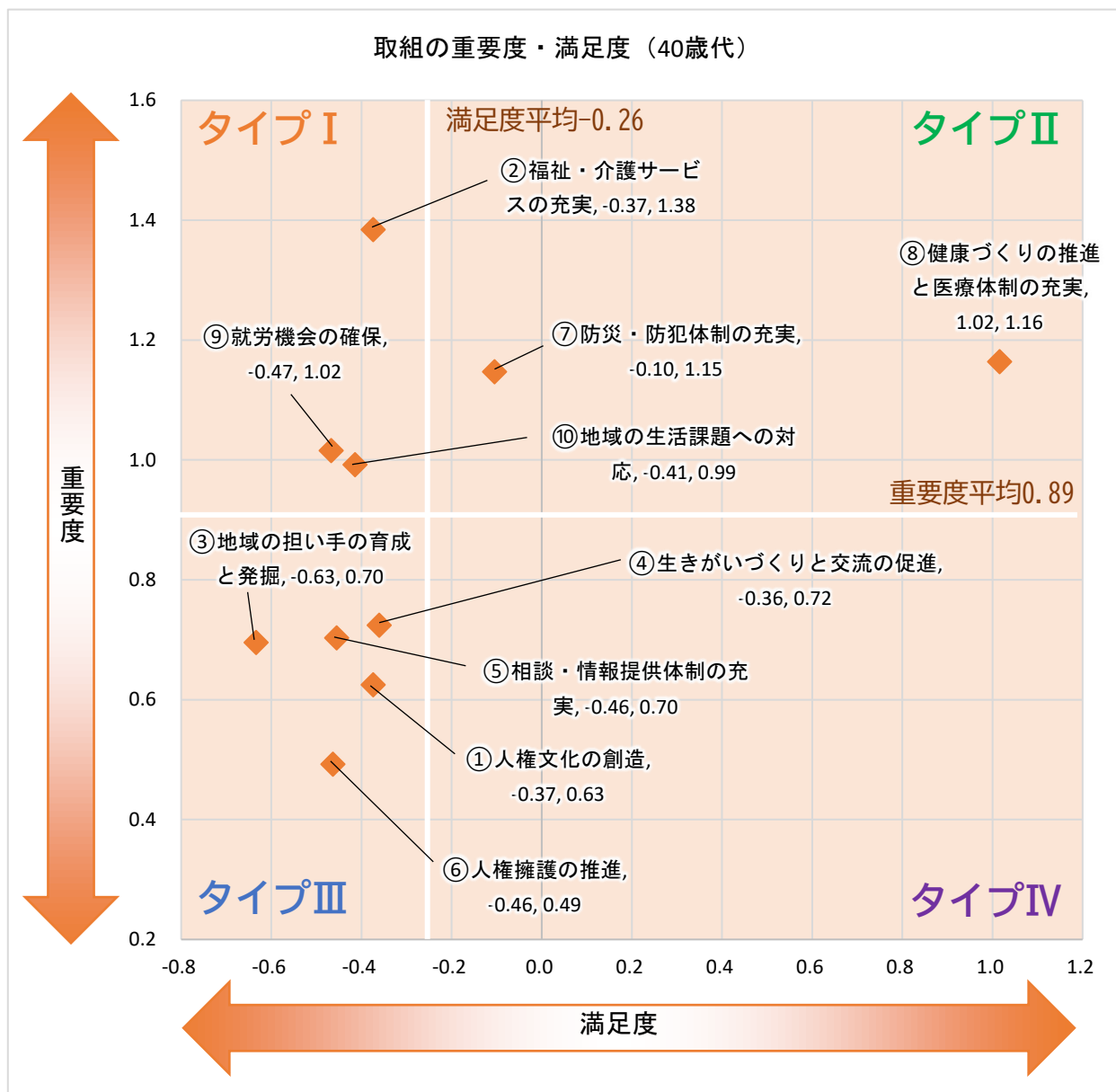
ポートフォリオによる評価については、「②福祉に関する教育の推進」、「⑤相談・情報提供体制の充実」「⑨就労機会の確保」、「⑩地域の生活課題への対応」が、タイプⅠ（重要度が高く、満足度が低い）となっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権文化の創造	-0.11	0.38
②福祉・介護サービスの充実※	-0.11	1.30
③地域の担い手の育成と発掘	-0.22	0.74
④生きがいづくりと交流の促進	-0.10	0.60
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.04	1.12
⑥人権擁護の推進	-0.17	0.35
⑦防災・防犯体制の充実	0.25	1.20
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	1.02	1.09
⑨就労機会の確保	-0.33	1.02
⑩地域の生活課題への対応	-0.23	1.07
平均	0.00	0.89

④ 40 歳代 (N=133)

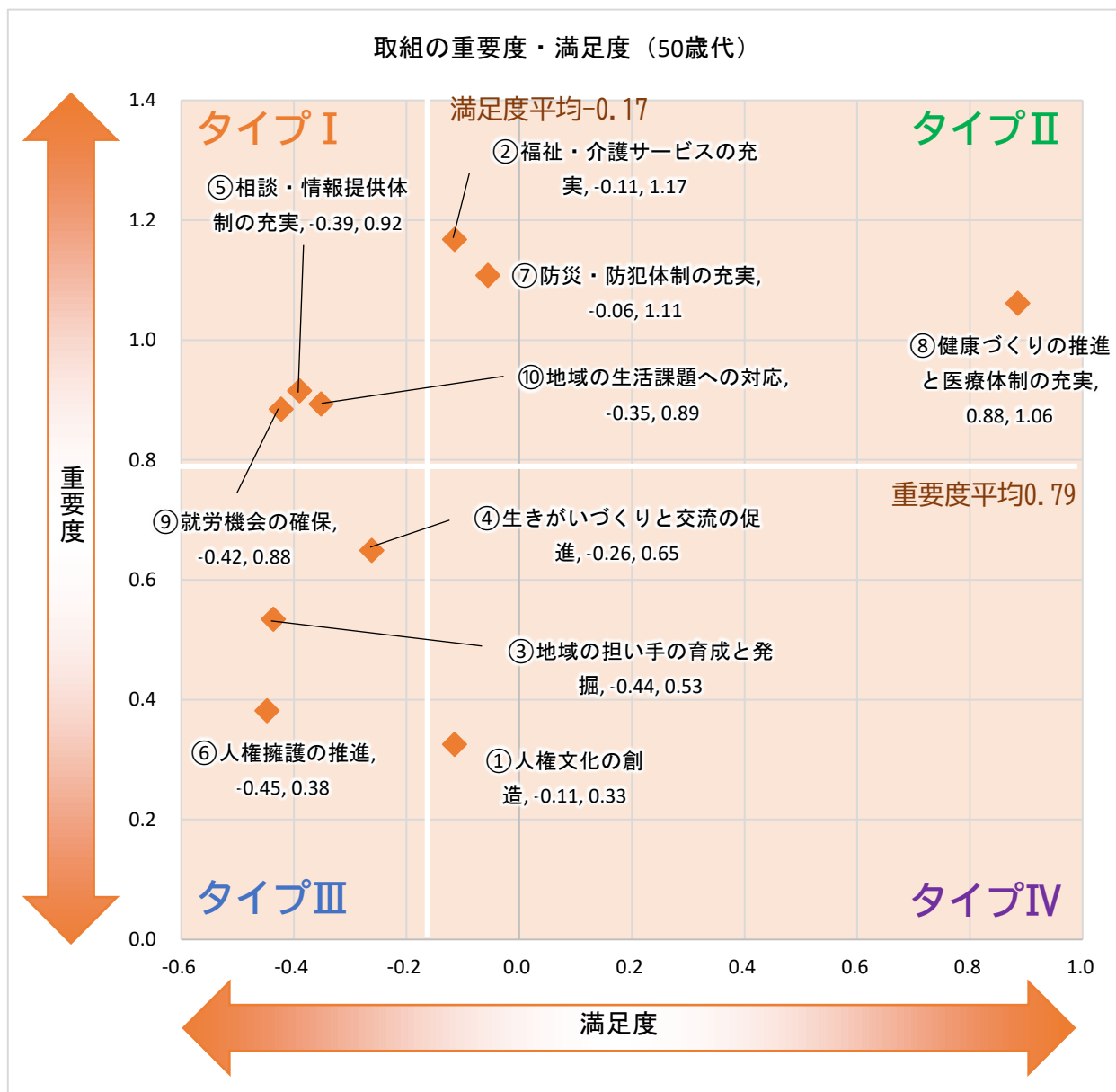
ポートフォリオによる評価については、「②福祉に関する教育の推進」、「⑨就労機会の確保」、「⑩地域の生活課題への対応」が、タイプⅠ（重要度が高く、満足度が低い）となっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権文化の創造	-0.37	0.63
②福祉・介護サービスの充実※	-0.37	1.38
③地域の担い手の育成と発掘	-0.63	0.70
④生きがいづくりと交流の促進	-0.36	0.72
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.46	0.70
⑥人権擁護の推進	-0.46	0.49
⑦防災・防犯体制の充実	-0.10	1.15
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	1.02	1.16
⑨就労機会の確保	-0.47	1.02
⑩地域の生活課題への対応	-0.41	0.99
平均	-0.26	0.89

⑤ 50 歳代 (N=136)

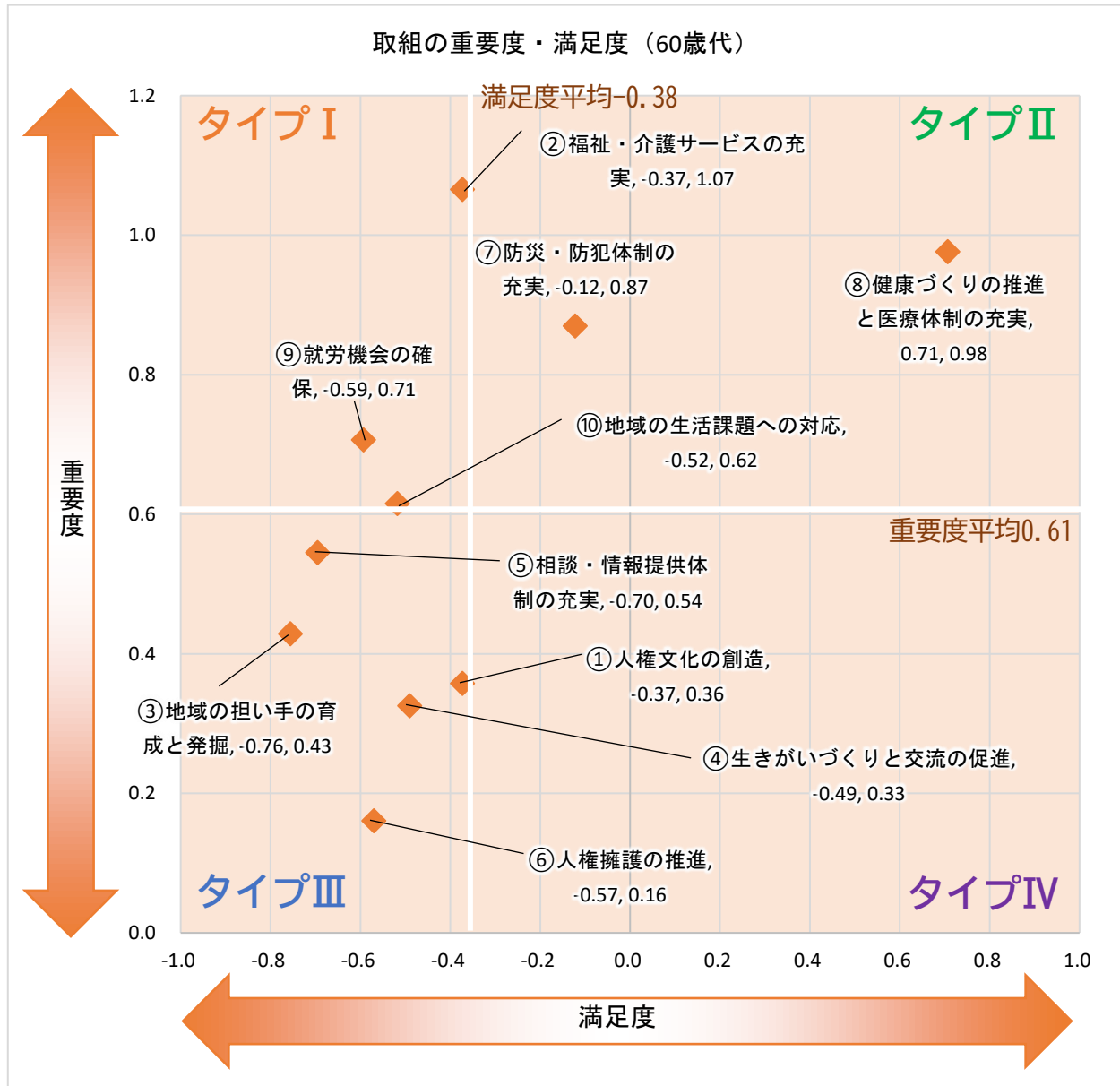
ポートフォリオによる評価については、「⑤相談・情報提供体制の充実」、「⑨就労機会の確保」、「⑩地域の生活課題への対応」が、タイプⅠ（重要度が高く、満足度が低い）となっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権文化の創造	-0.11	0.33
②福祉・介護サービスの充実※	-0.11	1.17
③地域の担い手の育成と発掘	-0.44	0.53
④生きがいづくりと交流の促進	-0.26	0.65
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.39	0.92
⑥人権擁護の推進	-0.45	0.38
⑦防災・防犯体制の充実	-0.06	1.11
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.88	1.06
⑨就労機会の確保	-0.42	0.88
⑩地域の生活課題への対応	-0.35	0.89
平均	-0.17	0.79

⑥ 60 歳代 (N=190)

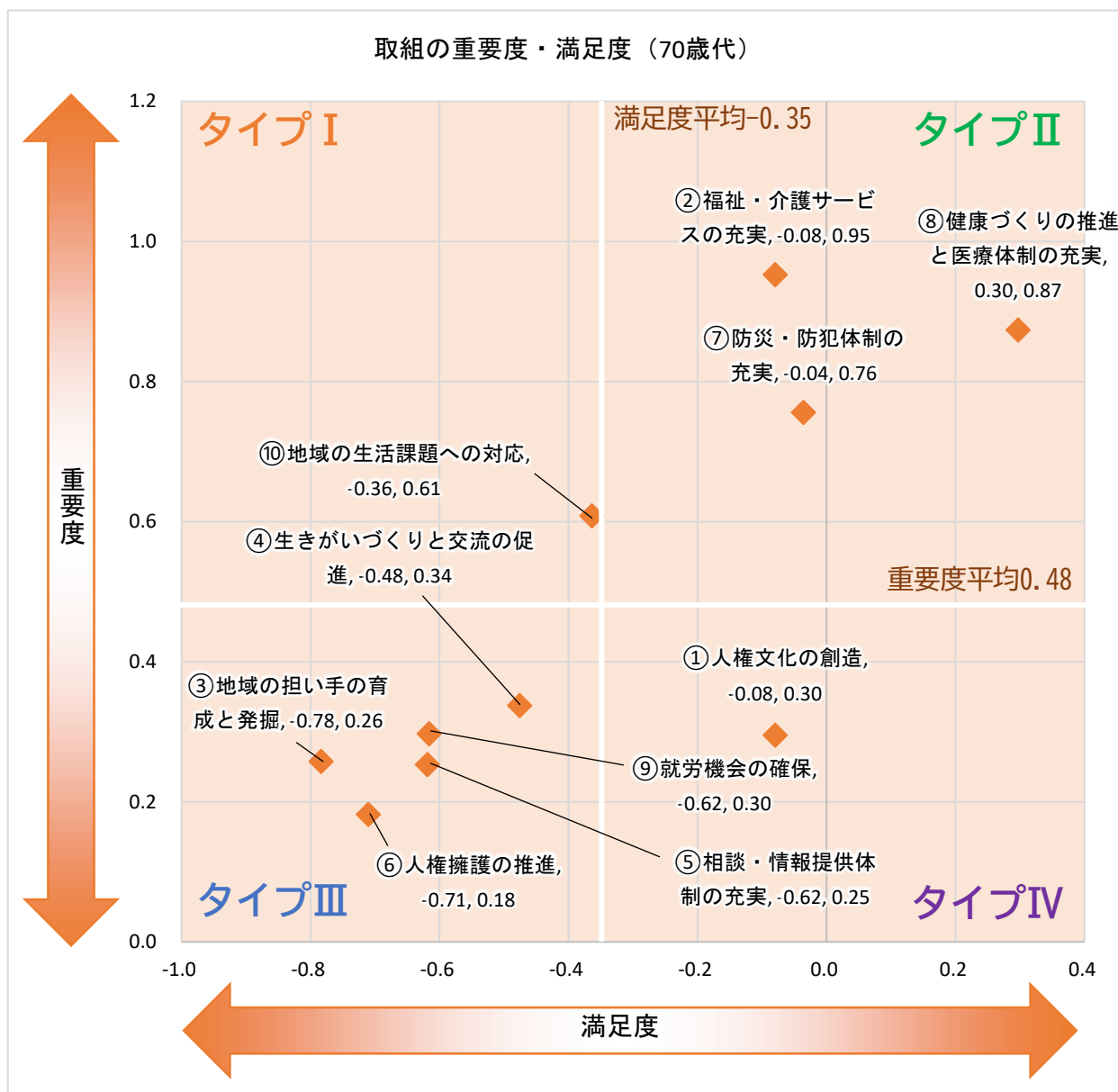
ポートフォリオによる評価については、「②福祉に関する教育の推進」、「⑨就労機会の確保」、「⑩地域の生活課題への対応」が、タイプⅠ（重要度が高く、満足度が低い）となっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権文化の創造	-0.37	0.36
②福祉・介護サービスの充実※	-0.37	1.07
③地域の担い手の育成と発掘	-0.76	0.43
④生きがいをづくりと交流の促進	-0.49	0.33
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.70	0.54
⑥人権擁護の推進	-0.57	0.16
⑦防災・防犯体制の充実	-0.12	0.87
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.71	0.98
⑨就労機会の確保	-0.59	0.71
⑩地域の生活課題への対応	-0.52	0.62
平均	-0.38	0.61

⑦ 70 歳代 (N=213)

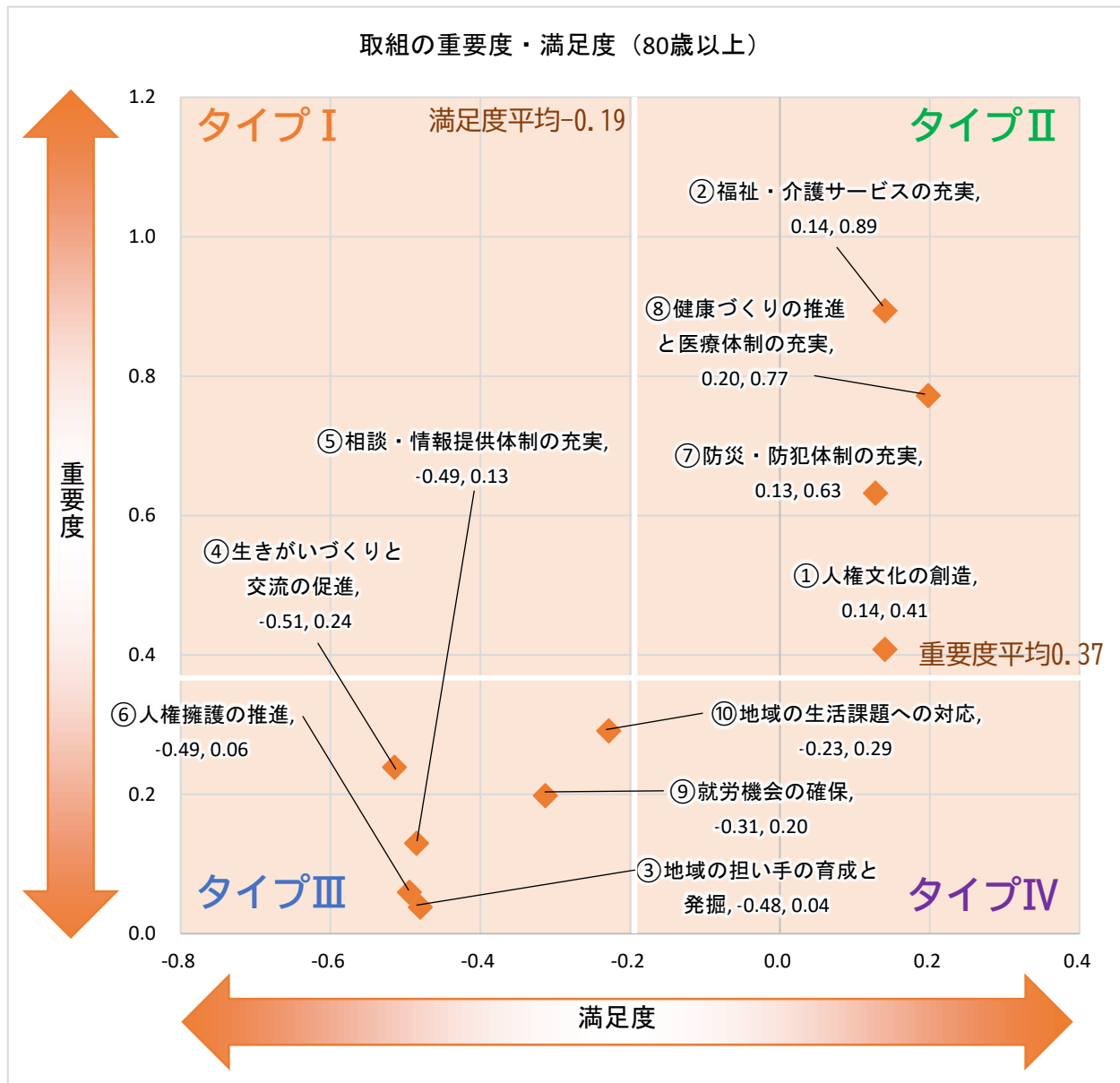
ポートフォリオによる評価については、「⑩地域の生活課題への対応」が、タイプⅠ（重要度が高く、満足度が低い）となっており、事業の強化など改善が求められます。



区分	満足度	重要度
①人権文化の創造	-0.08	0.30
②福祉・介護サービスの充実※	-0.08	0.95
③地域の担い手の育成と発掘	-0.78	0.26
④生きがいをづくりと交流の促進	-0.48	0.34
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.62	0.25
⑥人権擁護の推進	-0.71	0.18
⑦防災・防犯体制の充実	-0.04	0.76
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.30	0.87
⑨就労機会の確保	-0.62	0.30
⑩地域の生活課題への対応	-0.36	0.61
平均	-0.35	0.48

⑧ 80歳以上 (N=150)

ポートフォリオによる評価については、タイプⅠ（重要度が高く、満足度が低い）の項目はありません。

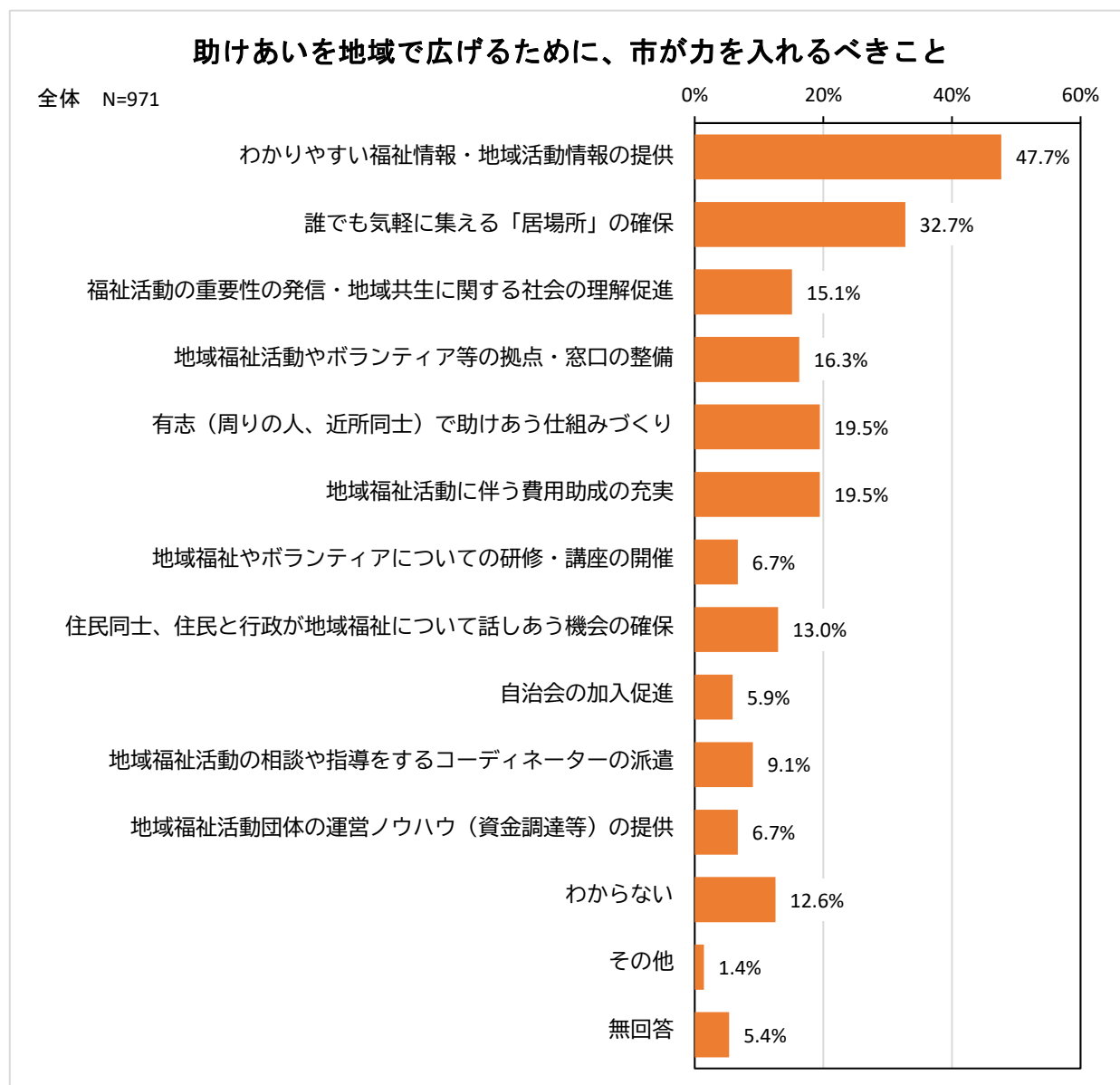


区分	満足度	重要度
①人権文化の創造	0.14	0.41
②福祉・介護サービスの充実※	0.14	0.89
③地域の担い手の育成と発掘	-0.48	0.04
④生きがいづくりと交流の促進	-0.51	0.24
⑤相談・情報提供体制の充実	-0.49	0.13
⑥人権擁護の推進	-0.49	0.06
⑦防災・防犯体制の充実	0.13	0.63
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	0.20	0.77
⑨就労機会の確保	-0.31	0.20
⑩地域の生活課題への対応	-0.23	0.29
平均	-0.19	0.37

	全体 N=971	10 歳代 N=16	20 歳代 N=45	30 歳代 N=88	40 歳代 N=133	50 歳代 N=136	60 歳代 N=190	70 歳代 N=213	80 歳以上 N=150
①人権文化の創造	タイプⅣ	タイプⅣ	タイプⅣ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅣ	タイプⅢ	タイプⅣ	タイプⅡ
②福祉・介護サービスの充実	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅠ	タイプⅠ	タイプⅡ	タイプⅠ	タイプⅡ	タイプⅡ
③地域の担い手の育成と発掘	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ
④生きがいづくりと交流の促進	タイプⅢ	タイプⅣ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ
⑤相談・情報提供体制の充実	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅠ	タイプⅢ	タイプⅠ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ
⑥人権擁護の推進	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ	タイプⅢ
⑦防災・防犯体制の充実	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅠ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ	タイプⅡ
⑨就労機会の確保	タイプⅠ	タイプⅣ	タイプⅢ	タイプⅠ	タイプⅠ	タイプⅠ	タイプⅠ	タイプⅢ	タイプⅢ
⑩地域の生活課題への対応	タイプⅠ	タイプⅢ	タイプⅡ	タイプⅠ	タイプⅠ	タイプⅠ	タイプⅠ	タイプⅠ	タイプⅢ

問 27 住民同士の助け合いを地域で広げるために、市が力を入れるべきこととは何だと考えますか。(〇は3つまで)

「わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供」の割合が47.7%と最も高く、次いで「誰でも気軽に集える「居場所」の確保」の割合が32.7%、「有志（周りの人、近所同士）で助けあう仕組みづくり」・「地域福祉活動に伴う費用助成の充実」の割合が19.5%となっています。



【年代別】

年代別でみると、ほとんどの年代で、「わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供」と「誰でも気軽に集える「居場所」の確保」の割合が高くなっています。

10歳代と30歳代では、他の年代と比べて、「有志（周りの人、近所同士）で助けあう仕組みづくり」の割合が低くなっています。

区分	有効回答数(件)	わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供	誰でも気軽に集える「居場所」の確保	福祉活動の重要性の発信・地域共生に関する社会の理解促進	福祉活動の拠点・窓口の整備	地域福祉活動やボランティア等の「有志（周りの人、近所同士）で助けあう仕組みづくり」	地域福祉活動に伴う費用助成の実	地域福祉やボランティアについての研修・講座の開催	住民同士、住民と行政が地域福祉について話しあう機会の確保	自治会の加入促進	地域福祉活動の相談や指導をするコーディネーターの派遣	地域福祉活動団体の運営ノウハウ（資金調達等）の提供	わからない	その他	無回答
全体	971	47.7%	32.7%	15.1%	16.3%	19.5%	19.5%	6.7%	13.0%	5.9%	9.1%	6.7%	12.6%	1.4%	5.4%
10歳代	16	62.5%	37.5%	0.0%	12.5%	6.3%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%
20歳代	45	37.8%	26.7%	20.0%	17.8%	13.3%	15.6%	4.4%	11.1%	2.2%	6.7%	6.7%	22.2%	2.2%	0.0%
30歳代	88	54.5%	40.9%	12.5%	18.2%	9.1%	18.2%	6.8%	8.0%	3.4%	6.8%	6.8%	13.6%	0.0%	5.7%
40歳代	133	47.4%	30.1%	12.8%	18.8%	18.0%	20.3%	6.0%	9.0%	4.5%	9.0%	8.3%	13.5%	1.5%	1.5%
50歳代	136	48.5%	27.2%	16.9%	16.9%	14.0%	21.3%	2.9%	11.8%	2.9%	10.3%	10.3%	16.2%	3.7%	2.2%
60歳代	190	53.2%	28.4%	14.7%	18.9%	20.0%	18.9%	6.3%	9.5%	6.8%	10.0%	4.7%	7.9%	1.6%	5.8%
70歳代	213	42.3%	36.2%	16.4%	15.0%	25.4%	22.5%	9.9%	16.0%	8.0%	8.5%	6.1%	13.1%	0.9%	4.7%
80歳以上	150	45.3%	37.3%	16.0%	10.7%	26.0%	15.3%	7.3%	22.7%	8.7%	10.0%	5.3%	10.0%	0.7%	14.0%

問 28 地域における健康づくり、高齢者・子ども・障害がある方への支援など、市民のみなさんが支え合いながら、安心して暮らしていくためのまちづくりについて、ご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、自由にお書きください。

自由記述については、217 人の方から、245 件の意見が得られました。

「地域コミュニティ」や「地域住民同士の交流」に関する意見が 64 件で最も多くなっています。

内 容	件数
人権文化の創造(差別や偏見をなくすための講座開催)、福祉教育	18
福祉・介護サービスの充実(福祉・介護人材の確保、サービスの質向上)	26
地域の担い手の育成と発掘(ボランティアの発掘・育成など)	21
地域コミュニティ、交流の促進(高齢者や障害のある人などの居場所づくり、地域行事の実施による住民の交流)、生きがいづくり、子供の遊び場	64
相談・情報提供体制の充実(情報の入手のしやすさ)	37
防災・防犯体制の充実(防災訓練への参加、悪質商法への注意喚起)	11
健康づくりの推進、医療体制の充実(保険・医療・福祉の連携)、介護予防	7
就労機会の確保(高齢者、ひとり親、障害のある人などの就労ニーズへの対応)	2
地域の生活課題への対応(ゴミ捨てなど)	8
バリアフリー、ユニバーサルデザイン、外出や買物への支援、公共交通など	20
生活の不安(将来の事・金銭面など)	11
その他	20
合 計	245

Ⅲ 参考資料

1 アンケート調査用紙

【案内文】

地域福祉に関するアンケート調査ご協力をお願い

～ あなたの思いを福知山市の地域福祉に活かします！ ～

市民の皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

福知山市では、今年度「第4次福知山市地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

地域福祉とは、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、住民や社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の生活課題の解決に向けて取り組むことです。

このアンケート調査は、第4次地域福祉計画の策定に先立ち、市民の皆さまの地域福祉に対するご意見をうかがい、計画策定のための基礎資料として使わせていただくために実施します。

実施にあたりまして、令和4年8月1日現在で、本市在住の18歳以上の方の中から年代別に無作為に合計2,000名の方をお願いしています。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年8月

福知山市長 大橋 一夫

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。
- ・令和4年8月1日現在の内容でご記入ください。
- ・各質問への回答は、この調査票に直接記入してください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・誠に勝手ながら、質問によっては、回答できる数を指定させていただいております。
必ず、指定の数を守ってお答えください。
※指定の数以上の回答があった場合、その回答は無効となります。
- ・「その他」を選択する場合は、「その他」の番号を○で囲み、()内になるべく具体的な内容をお書きください。
- ・調査でご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的以外に使用することはございません。

◇調査票の回収について

- ・ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、9月6日（火）までに返送していただきますようお願いいたします。（切手は不要です）
- ・本調査はウェブでの回答も可能です。
ウェブブラウザのURL欄に下記URLを入力してください。

URL: <https://forms.gle/mFzEV7BTgLfUNLZP9>

スマートフォンで回答される場合は、右記の二次元コードを読み取り、アクセスしてください。



◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

福知山市役所 福祉保健部社会福祉課 電話：0773-24-7088 FAX：0773-22-6610
E-mail: shafuku@city.fukuchiyama.lg.jp

1 あなた自身のことについておうかがいします

F 1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

F 2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 10 歳代 | 3. 30 歳代 | 5. 50 歳代 | 7. 70 歳代 |
| 2. 20 歳代 | 4. 40 歳代 | 6. 60 歳代 | 8. 80 歳以上 |

F 3 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 単身世帯 | 4. 三世帯世帯（親と子と孫） |
| 2. 夫婦のみの世帯 | 5. その他（ ） |
| 3. 二世帯世帯（親と子） | |

F 4 あなたの職業は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 自営業 | 4. 学生 |
| 2. 常勤の勤め人 | 5. 無職 |
| 3. パート・アルバイト・非常勤の勤め人 | 6. その他（ ） |

F 5 あなたの福知山市（旧三和町、旧夜久野町、旧大江町を含む）での居住年数はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|--------------|-----------|
| 1. 5 年未満 | 3. 10～15 年未満 | 5. 20 年以上 |
| 2. 5～10 年未満 | 4. 15～20 年未満 | |

F 6 あなたの居住地区はどちらですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|------------|------------|------------|
| 1. 惇明地区 | 9. 下川口地区 | 17. 金山地区 | 25. 上夜久野地区 |
| 2. 昭和地区 | 10. 上豊富地区 | 18. 雲原地区 | 26. 美河地区 |
| 3. 大正地区 | 11. 上六人部地区 | 19. 佐賀地区 | 27. 美鈴地区 |
| 4. 雀部地区 | 12. 中六人部地区 | 20. 菟原地区 | 28. 有仁地区 |
| 5. 遷喬地区 | 13. 下六人部地区 | 21. 細見地区 | 29. わからない |
| 6. 成仁地区 | 14. 上川口地区 | 22. 川合地区 | |
| 7. 庵我地区 | 15. 金谷地区 | 23. 下夜久野地区 | |
| 8. 下豊富地区 | 16. 三岳地区 | 24. 中夜久野地区 | |

（「29. わからない」場合はお住いのご住所の「福知山市」の続きをお書きください。）

例：福知山市字内記

福知山市

F 7 あなたには、今、抱えておられる生活上の心配ごとや困りごとはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. ある → F 8-1 へ | 3. わからない |
| 2. ない | 4. その他 () |

◆ F 8 F 7で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

F 8-1 抱えておられる心配ごとや困りごとはどんな内容ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. ご自身の体調不良 | 6. 孤立感がある |
| 2. 家族の体調不良 | 7. 学業や仕事に関すること |
| 3. 子育てに関すること | 8. 経済的なこと |
| 4. 看病や介護の疲れ | 9. 将来への不安 |
| 5. 人間関係 | 10. その他 () |

F 8-2 抱えておられる生活上の心配ごとや困りごとは、誰に(どこに)相談していますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 家族や親族 | 8. 地域の民間福祉団体 |
| 2. 友人や知人 | 9. ボランティア団体や NPO 団体 |
| 3. 同じ悩みや問題を持つ仲間 | 10. 市役所(各々の担当窓口) |
| 4. 自治会や近所の住民 | 11. 誰にも相談しない |
| 5. 民生委員・児童委員 | 12. 相談できる人や場所はない |
| 6. 社会福祉協議会 | 13. その他 |
| 7. 地域包括支援センター(コミセン内ほか) | () |

F 9 福知山市では、市民憲章「幸せを生きる」を実現するため、住民の福祉の向上を目指しています。あなたは、今の暮らしの中で、どれくらい幸せと感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 非常に幸せである → F 10-1 へ | 4. あまり幸せではない → F 10-2 へ |
| 2. ある程度幸せである | 5. 全然幸せではない |
| 3. どちらともいえない | |

◆ F 9で「1. 非常に幸せである」「2. ある程度幸せである」と回答した方におうかがいします。

F 10-1 あなたが幸せと感じている理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 健康面 | 5. 経済面 |
| 2. 仕事や学業に関すること | 6. 趣味の活動 |
| 3. 子どもや孫の成長 | 7. 友人・知人との交流 |
| 4. 人間関係に不和がない | 8. その他 () |

◆F9で「4. あまり幸せではない」「5. 全然幸せではない」と回答した方におうかがいします。

F10-2 あなたが幸せと感じられない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 健康面 | 5. 経済面 |
| 2. 仕事や学業に関すること | 6. 趣味の活動 |
| 3. 子育てや介護の負担が大きい | 7. 友人・知人との交流 |
| 4. 人間関係に不和がある | 8. その他 () |

2 お住まいの地域についておうかがいします

問1 あなたと隣近所とのつきあいはどの程度ですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 日ごろからすぐ助け合える関係 | 4. あいさつをする程度 |
| 2. お互いに訪問しあう関係 | 5. ほとんどつきあいはない |
| 3. 立ち話をする程度 | |

問2 住みよいまちづくりに向けて、あなたはどの程度の近所づきあいが必要だと思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 日ごろからすぐ助け合える関係 | 4. あいさつをする程度 |
| 2. お互いに訪問しあう関係 | 5. つきあいは必要ない |
| 3. 立ち話をする程度 | |

問3 現在お住まいの地域に愛着や誇りを感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても感じている | 3. あまり感じていない |
| 2. ある程度感じている | 4. まったく感じていない |

問4 現在お住まいの地域の課題は何だと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. 隣近所のつきあいの希薄化 | 8. 孤立している人がいる |
| 2. コロナなどによる地域行事の中断 | 9. 買物や通院に行く手段がない |
| 3. 災害への不安が大きい | 10. 自治会役員や民生委員・児童委員などの
なり手不足 |
| 4. 危険な箇所がある | 11. ゴミや空家などの環境問題 |
| 5. 子どもの遊び場がない | 12. その他 () |
| 6. 障害がある人の活躍する場がない | |
| 7. 高齢者の集う場がない | |

1. 自分の住む地域のことで、積極的に関わりたい
2. 熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい
3. 住民の力では解決できないので、行政（市、府、国）に任せるべき
4. 関わりたくない
5. わからない
6. その他()

1. 加入している 2. 加入していない 3. わからない

1. はい → 問7-1へ 2. いいえ → 問7-2へ

問7-1 加入している組織・団体は何ですか。(該当するものすべてに○)

- 問7-2 加入していない理由は何ですか。
(該当するものすべてに○)

1. 時間的な余裕がない
2. 精神的な余裕がない
3. すでに参加している人を見ると大変
そうだから
4. 体力に自信がないため
5. あまり人と関わりたくない
6. 興味・関心がない
7. 組織・団体について知らない
8. 加入方法が分からない
9. その他 ()

問8 地域で行う行事や、組織・団体の活動には、どの程度参加したいですか。(○は1つ)

1. 企画や運営などに積極的に参加したい
2. 企画や運営に熱心な人の手伝いとして参加したい
3. 企画や運営ではないが参加したい
4. 時間に余裕があるときだけ参加したい
5. あまり参加したくない
6. 全く参加したくない
7. わからない

3 地域福祉を支える組織や制度についておうかがいします

問9 福知山市社会福祉協議会・地区福祉推進協議会をご存知ですか。
(該当する数字に○/○はそれぞれ1つ)

	1. 名前も活動内容も知っている	2. 名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない	3. 名前も活動内容も知らない
9-1 福知山市社会福祉協議会	1	2	3
9-2 地区福祉推進協議会	1	2	3

◎社会福祉協議会とは

地域の住民やボランティア、福祉・保健などの関係者、行政機関の協力を得て「福祉のまちづくり」を推進する民間の団体です。福知山市社会福祉協議会は昭和27年に発足し、昭和44年4月に社会福祉法人として認可を受け、現在に至っています。

◎地区福祉推進協議会とは

地域福祉を住民の皆さん自身が推進していくために小学校区単位につくられた自主組織で、自治会・民生委員・老人クラブ・子ども会などの団体で構成されています。現在、市内20地区の皆さんの運営により、地域事情に合わせてさまざまな事業に取り組まれています。

問10 あなたがお住まいの地域の民生委員・児童委員をご存知ですか。(○は1つ)

1. 地域の担当者も活動内容も知っている
2. 地域の担当者は知っているが活動内容はよくわからない
3. 活動内容は知っているが地域の担当者は知らない
4. 地域の担当者も活動内容も知らない

4 地域での手助け・助け合い・ボランティア活動についておうかがいします

問 11 あなたは地域の福祉情報をどこから入手していますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 隣近所の人と話 | 8. SNS・ネット記事 |
| 2. 職場の人と話 | 9. 市の広報誌 |
| 3. 友人・知人と話 | 10. 市のホームページ |
| 4. 全国紙の中丹地区ページ | 11. 社会福祉協議会の広報誌 |
| 5. 両丹日日新聞 | 12. 社会福祉協議会のホームページ |
| 6. テレビ・ラジオ | 13. その他 () |
| 7. 地元タウン誌 | |

問 12 あなたは、地域で困っている人に、手助けや助け合いをしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-----------------|
| 1. ある | 2. ない →問 12-1 へ |
|-------|-----------------|

◆問 12 で「2. ない」と回答した方におうかがいします。

問 12-1 地域での手助けや助け合いをしたことがない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 地域で困っている人がいないから |
| 2. 地域で手助けや助け合いを求められたことがないから |
| 3. 家族の協力・理解が得られないから |
| 4. 仕事や家事・育児などで時間がないから |
| 5. 体力的に自信がないから |
| 6. 人間関係が難しそうだから |
| 7. どのように手助けすればよいかわからないから |
| 8. 関わりたくないから |
| 9. その他 () |

問 13 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. ある →問 13-1、問 13-2 へ | 2. ない |
|------------------------|-------|

問 13-1 どのようなことが動機でしたか。(該当するものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 地域社会をよくしたい | 5. 新しい人と出会いたい |
| 2. 困っている人を助けたい | 6. 何か新しく感動できる体験をしたい |
| 3. 自分のやりたいことを発見したい | 7. 自分の健康を維持していきたい |
| 4. 自分の技術、能力、経験を活かしたい | 8. その他 () |

問 13-2 現在活動している、もしくは以前に活動したことのあるボランティアはどのような内容でしたか。(該当するものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 高齢者支援に関する活動 | 9. 障害がある人の支援に関する活動 |
| 2. 子育て支援に関する活動 | 10. 健康づくり・医療に関する活動 |
| 3. 地域の清掃・美化に関する活動 | 11. 街の活性化などに関する活動 |
| 4. 防犯・交通安全に関する活動 | 12. 消防・防災・災害支援に関する活動 |
| 5. 自然環境保護に関する活動 | 13. 各種スポーツ指導に関する活動 |
| 6. 青少年育成・支援に関する活動 | 14. 芸術・文化振興や伝統継承に関する活動 |
| 7. 国際交流・国際協力に関する活動 | 15. 消費者問題に関する活動 |
| 8. 人権・平和・女性問題に関する活動 | 16. その他 () |

問 14 あなたは今後、地域での手助け・助け合い活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. ぜひ参加したい | 4. あまり参加したいとは思わない |
| 2. 仲間がいれば参加したい | 5. 参加したくない |
| 3. 誘い、きっかけ、時間があれば参加したい | 6. わからない |

問 15 地域での手助け・助け合い活動やボランティア活動で参加したい活動はありますか。(該当するものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 高齢者支援に関する活動 | 9. 障害がある人の支援に関する活動 |
| 2. 子育て支援に関する活動 | 10. 健康づくり・医療に関する活動 |
| 3. 地域の清掃・美化に関する活動 | 11. 街の活性化などに関する活動 |
| 4. 防犯・交通安全に関する活動 | 12. 消防・防災・災害支援に関する活動 |
| 5. 自然環境保護に関する活動 | 13. 各種スポーツ指導に関する活動 |
| 6. 青少年育成・支援に関する活動 | 14. 芸術・文化振興や伝統継承に関する活動 |
| 7. 国際交流・国際協力に関する活動 | 15. 消費者問題に関する活動 |
| 8. 人権・平和・女性問題に関する活動 | 16. その他 () |

問 16 たくさんの人に地域での手助け・助け合い活動やボランティア活動に参加してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 活動自体を楽しく、興味のある内容にする |
| 2. 活動した分の見返りがもらえるしくみをつくる |
| 3. 長く活動できるためのしくみをつくる |
| 4. 人のために働く「奉仕の心」の大切さを広く知らせる |
| 5. 活動時間をできるだけ自由にする |
| 6. 活動を始めるきっかけをたくさん用意する |
| 7. わからない |
| 8. その他 () |

5 「こころの健康づくり」・「いのち支える」まちづくりについておうかがいします

問 17 ゲートキーパーをご存知ですか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

◎ゲートキーパーとは

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のこと。

問 18 福知山市では、福知山市自殺対策計画を策定し「いのち支えるまちづくり」に取り組んでいます。次の中から、知っているものに○をつけてください。

(該当するものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 自殺対策基本法 | 5. ゲートキーパー養成研修 |
| 2. 自殺予防週間（毎年 9 月 10 日～16 日） | 6. 電話相談（京都いのちの電話、よりそい |
| 3. 自殺対策強化月間（毎年 3 月） | ホットライン、心の電話相談、京都府自 |
| 4. 福知山城グリーンライトアップ | 殺ストップセンターなど） |

◎自殺対策基本法とは

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して制定された法律。

基本理念として、自殺対策が社会的な取り組みとして実施されなければならないこと、国や地方公共団体、医療機関などの各団体が密接に連携しなければならないことなどを掲げています。

◎福知山城グリーンライトアップとは

自殺対策強化月間に合わせて、自殺対策マークのカラーの一つで、リラックス効果や安心感などの心理効果があるグリーンで福知山城を照らしています。

問 19 悩みの相談先として知っている窓口はどこですか。(該当するものすべてに○)

* 選択肢にない窓口をご存知の場合は、「13. その他」にその名称を記入してください。

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. いのちの電話相談ほか電話相談サービス | 8. 人権相談（市役所内） |
| 2. 各種メール・SNS 相談 | 9. 心配ごと相談（3 支所内） |
| 3. かかりつけ医療機関 | 10. ふれあい福祉相談（社会福祉協議会内） |
| 4. 子育て総合相談窓口（市役所内） | 11. 地域包括支援センター |
| 5. 学校・職場の相談窓口・カウンセラー | 12. 相談支援事業所 |
| 6. ハローワークなど就労相談 | 13. その他（ ） |
| 7. 生活としごとの相談窓口（市役所内） | |

6 災害についておうかがいします

問 20 本市は甚大な豪雨災害を何度も経験しましたが、水害などの災害に備えて日ごろの生活の中で心がけたり、実施していることはありますか。(該当するものすべてに○)

1. 避難方法を確認しておくこと
2. 家族間での連絡方法を確認しておくこと
3. ご近所同士で助け合える関係を構築しておくこと
4. 地域の防災訓練に参加すること
5. 地域の要配慮者を把握し、共有しておくこと
6. 防災・減災に関する知識を取得しておくこと
7. 食料、飲料水などの非常持出品を準備しておくこと
8. 特にない
9. その他 ()

◎要配慮者とは

自らを守るために安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとる時に、支援を要する人々のこと(高齢者、障害のある人、外国籍の人、乳幼児、妊婦など)。

問 21 平成 29 年台風 21 号、平成 30 年 7 月豪雨災害の当時やそれ以降、大雨時や台風接近時など、どのような手段で避難情報などを知りましたか。(該当するものすべてに○)

1. 家族や親族からの連絡
2. 消防団などの広報車
3. 防災・安全メール(登録制)
4. 気象庁ホームページなどインターネット
5. 京都 FM 丹波(79.0MHz)
6. スマホアプリ LINE
7. 緊急速報メール
8. 自治会長や民生委員・児童委員による訪問・連絡
9. 防災行政無線(屋外スピーカー、戸別受信機)
10. 福知山市公式防災アプリ「福知山市防災」
11. テレビ放送
12. 福知山市のホームページ
13. 特に情報収集していない
14. その他 ()

問 22 災害が起こった時に最も不安に思うことはどれですか。(○は1つ)

1. 災害が迫っているときに適切な情報が入手できるか
2. 安否確認や避難支援に来てくれる人がいるか
3. タイミングを逃さずに避難できるか
4. 安全に避難場所まで行けるか
5. 住宅・家屋が被災しないか
6. 災害時の炊き出しや後片付け、その他の助け合い活動が得られるか
7. 被災した住宅・家屋の修理や再建ができるか
8. その他 ()

問 23 あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。
(○は3つまで)

1. 日ごろからのあいさつ、声かけやつきあい
2. 地域での防災訓練・防災学習会
3. 地域の要配慮者の把握
4. 災害ボランティアの育成
5. 要配慮者向けの避難施設（車椅子対応トイレや乳幼児対応設備があるなど）の確保
6. 危険箇所の把握
7. 地域における支援体制の構築
8. 要配慮者への情報の伝達方法
9. その他 ()

問 24 災害が起きた時、あなたは誰を（どこを）頼りにしますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 同居している家族・親族 | 7. 民生委員・児童委員 |
| 2. 別居の家族・親族 | 8. 自治会・自主防災組織・消防団 |
| 3. 近くにいる友人・知人 | 9. 市役所 |
| 4. 遠くにいる友人・知人 | 10. 社会福祉協議会 |
| 5. 職場の上司・同僚 | 11. 頼りにする人はいない |
| 6. 近所の人 | 12. その他 () |

問 25 あなたは、日頃から地域の防災訓練などに参加していますか。(○は1つ)

1. 参加している
2. 都合が合えば参加している
3. 防災訓練の実施は知っているが参加していない
4. 防災訓練の実施を知らない
5. 防災訓練は行われていない

7 福知山市の地域福祉の取組についておうかがいします

問 26 福知山市が、誰もが安心して暮らし続けることができるまちになるためには、次の①～⑩の項目について、どの程度重要だと思いますか。また、あなたは現在の福知山市の状況について、どの程度満足されていますか。あなた自身のお考えにもっともあてはまる箇所を、重要度と満足度からそれぞれ1つずつ選んでください。

地域福祉の取組	重要度 (○は1つ)				満足度 (○は1つ)			
	1 高	2 やや 高	3 やや 低	4 低	1 高	2 やや 高	3 やや 低	4 低
(記入例) ○○○○○○○○	☒	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐
①人権文化の創造 (差別や偏見をなくすための講座開催)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
②福祉・介護サービスの充実 (福祉・介護人材の確保、サービスの質向上)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
③地域の担い手の育成と発掘 (ボランティアの発掘・育成など)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
④生きがいづくりと交流の促進 (高齢者や障害がある人などの居場所づくり、地域行事の実施による住民の交流)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑤相談・情報提供体制の充実 (支援者や行政との関係づくり、情報の入手のしやすさ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑥人権擁護の推進 (権利擁護、成年後見制度など)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑦防災・防犯体制の充実 (防災訓練への参加や、悪質商法への注意喚起)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑧健康づくりの推進と医療体制の充実 (病気や要介護状態になりにくくする取組、保健・医療・福祉の連携)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑨就労機会の確保 (高齢者、ひとり親、障害のある人などの就労ニーズへの対応)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑩地域の生活課題への対応 (ゴミ捨てや買物弱者への支援など)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

◎権利擁護とは

自分の権利を表明することが困難な寝たきりの高齢者や、認知症の高齢者、障害がある人の権利や要求の表明を支援し、代弁する取組。

◎成年後見制度とは

知的障害、精神障害、認知症などにより不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その人を援助してくれる後見人を付けてもらう制度。

問 27 住民同士の助け合いを地域で広げるために、市が力を入れるべきこととは何だと考えますか。(〇は3つまで)

1. わかりやすい福祉情報・地域活動情報の提供
2. 誰でも気軽に集える「居場所」の確保
3. 福祉活動の重要性の発信・地域共生に関する社会の理解促進
4. 地域福祉活動やボランティアなどの拠点・窓口の整備
5. 有志（周りの人、近所同士）で助け合う仕組みづくり
6. 地域福祉活動に伴う費用助成の充実
7. 地域福祉やボランティアについての研修・講座の開催
8. 住民同士、住民と行政が地域福祉について話し合う機会の確保
9. 自治会の加入促進
10. 地域福祉活動の相談や指導をするコーディネーターの派遣
11. 地域福祉活動団体の運営ノウハウ（資金調達など）の提供
12. わからない
13. その他（ ）

問 28 地域における健康づくり、高齢者・子ども・障害がある方への支援など、市民のみなさんが支え合いながら、安心して暮らしていくためのまちづくりについて、ご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、自由にお書きください。

[illegible]

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

地域福祉に関するアンケート調査

～ あなたの思いを福知山市の地域福祉に活かします！ ～

[Google](#) にログインすると作業内容を保存できます。[詳細](#)

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

福知山市では、今年度「第4次福知山市地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

地域福祉とは、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、住民や社会福祉関係者らがお互いに協力して地域社会の生活課題の解決に向けて取り組むことです。

このアンケート調査は、第4次地域福祉計画の策定に先立ち、市民のみなさまの地域福祉に対するご意見をうかがい、計画策定のための基礎資料として使わせていただくために実施します。

実施にあたりまして、令和4年8月1日現在で、本市在住の18歳以上の方の中から年代別に無作為に合計2,000名の方をお願いしています。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年8月
福知山市長 大橋 一夫

1 あなた自身のことについておうかがいします

F 1 あなたの性別はどちらですか。

- ☐ 1. 男性
- ☐ 2. 女性
- ☐ 3. 答えたくない

地域福祉に関するアンケート調査
ご協力のお礼ならびに回答のお願い

日頃は、福知山市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。また、この度は地域福祉に関するアンケート調査にご協力をいただき誠にありがとうございました。

本調査で寄せられた皆さまのご意見は、第4次地域福祉計画策定に当たっての大切な資料とさせていただきます。

なお、アンケート調査のご回答をいただいていない方は、**9月6日(火)**までにウェブまたは郵送によりご回答くださいますようお願い申し上げます。

また、本状と行き違いで、すでにご回答いただいた方につきましては、何卒、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

集計結果は、後日、市公式ウェブサイトなどでお知らせする予定です。

時節柄、体調にはくれぐれもお気をつけいただきますとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止につきましても引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

ウェブでのご回答はこちらから



〈お問い合わせ先〉

福知山市役所 福祉保健部 社会福祉課

TEL：(0773)24-7088 FAX：(0773)22-6610

E-mail：shafuku@city.fukuchiyama.lg.jp

2 福知山市地域祉計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 社会福祉法（昭和26年法律第45号）107条の規定及び京都府地域福祉支援計画に基づき、本市における市民・地域団体・行政等が一体となつて実現すべき目的と取り組み方策を明らかにする福知山市地域福祉計画（以下「計画」という）を策定するため、計画を立案する組織として福知山市地域福祉計画策定委員会（以下「委員会」という）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、30名以内の委員をもつて組織する。

- 2 委員は、福知山市に在住、在勤又は在学している者の中から市長が委嘱する。ただし、市長が必要と認める場合は、この限りではない。
- 3 前項において在学している者とは、学校教育法に定める高等学校、中等教育学校後期課程、大学、高等専門学校及び専修学校に在学している者をいう。

(任期)

第3条 委員の任期は、委嘱の日から計画策定の年の年度末までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によつてこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は必要に応じて委員長が招集し、会議を進行する。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、福祉保健部地域福祉課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は事務局が別に定める。

附則

この要綱は、平成24年7月1日から施行する。

この要綱の施行後最初の委員会の招集は、第5条の規定にかかわらず、市長が行う。

この要綱は、平成28年12月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

3 福知山市地域福祉計画策定委員会委員名簿

No	氏名	所属	備考
1	荒木 早苗	福知山民間社会福祉施設連絡協議会	
2	植田 孝太郎	福知山市身体障害者団体連合会	
3	大野 森志	成仁地区福祉推進協議会	
4	岡野 和樹	大江まちづくり住民協議会	
5	小坂 晴	市民一般公募（高校生・大学生）	
6	関 三千彦	福知山市民生児童委員連盟	
7	塚本 直矢	福知山ボランティア連絡協議会	
8	西垣 哲哉	福知山医師会	
9	西村 勝	福知山市自治会長運営委員連絡協議会	
10	長谷川 豊	京都府立大学	委員長
11	原田 寿樹	京都府中丹西保健所	
12	松下 正美	三和地域協議会	
13	松本 清香	市民一般公募	
14	森川 朋子	福知山市男女共同参画審議会	
15	森本 千代子	市民一般公募	
16	夜久 昭広	夜久野みらいまちづくり協議会	
17	夜久 豊基	福知山市社会福祉協議会	副委員長
18	柳井津 佑健	福知山商工会議所	
19	山本 正一	部落解放同盟京都府連合会福知山地区協議会	